326
152

始

内國産煙草ノ起源及分類調査

專賣局

326-152
帝國圖書館藏
寄贈本
大正 5. 7. 4 寄贈

內國產煙草ノ起源及分類調查

凡例

一種類ハ告示種名ヲ基トシ內容種二種以上アルモノニ對シテハ其ノ內主要ナルモノノ一種又ハ二種ニ依レリ

一系統類別ハ主トシテ其ノ葉形ニ依リ之ヲ區分シ各區分ニ屬スル種類中就中世人ニ膾炙セラルルモノノ名稱ヲ冠スルコトトシ之ヲ「水府葉系」「達磨葉系」「秦野葉系」及「國分葉系」ノ四ニ類別シタルモ植物學上ノ分類トハ何等ノ關係ヲモ有セザルモノナリ

一主產地名ハ現時ノ耕作地域中主要產地ノ縣郡名ノミヲ掲ケ町村名ハ之ヲ省略セリ

一起源、解說及圖解ハ主トシテ各專賣支局ノ調查ニ依レルモ中ニハ本局調查ノ結果ニ依リ變更ヲ加ヘタルモノアリ

大正五年三月

專賣局

內國產煙草ノ起源及分類調査

目次

一、總論……一頁
二、各種類ニ對スル起源及解說……九
(1) 淺草專賣支局管內產……九
イ、桐ヶ作葉……九
ロ、龍王葉……一一
ハ、三浦葉……一三
(2) 水戶專賣支局管內產……一五
イ、水府葉(肩怒)……一五
ロ、同(大葉)……一七
ハ、達磨葉……一九
(3) 茂木、宇都宮兩專賣支局管內產……二一

イ、達磨葉……二一頁
(4) 高崎專賣支局管內產……二三
イ、蓮華葉……二三
ロ、薄葉……二五
ハ、赤塚葉……二七
ニ、生坂葉……二九
(5) 郡山專賣支局管內產……三一
イ、松川葉……三一
ロ、會津葉……三三
(6) 仙臺專賣支局管內產……三五
イ、東山葉……三五
ロ、南部葉……三七
(7) 山形專賣支局管內產……三九
イ、東根葉……三九
ロ、丸葉……四一
ハ、米澤葉……四三
(8) 秦野專賣支局管內產……四五
イ、秦野葉……四五
(9) 見付專賣支局管內產……四七
イ、遠州葉……四七
(10) 名古屋專賣支局管內產……四九
イ、大草葉……四九
ロ、上地葉……五三
ハ、中野葉……五五
(11) 金澤專賣支局管內產……五七
イ、鶴來葉……五七
ロ、勝山葉……五九
ハ、金津葉……六一
(12) 大阪專賣支局管內產……六三
イ、新田葉……六三

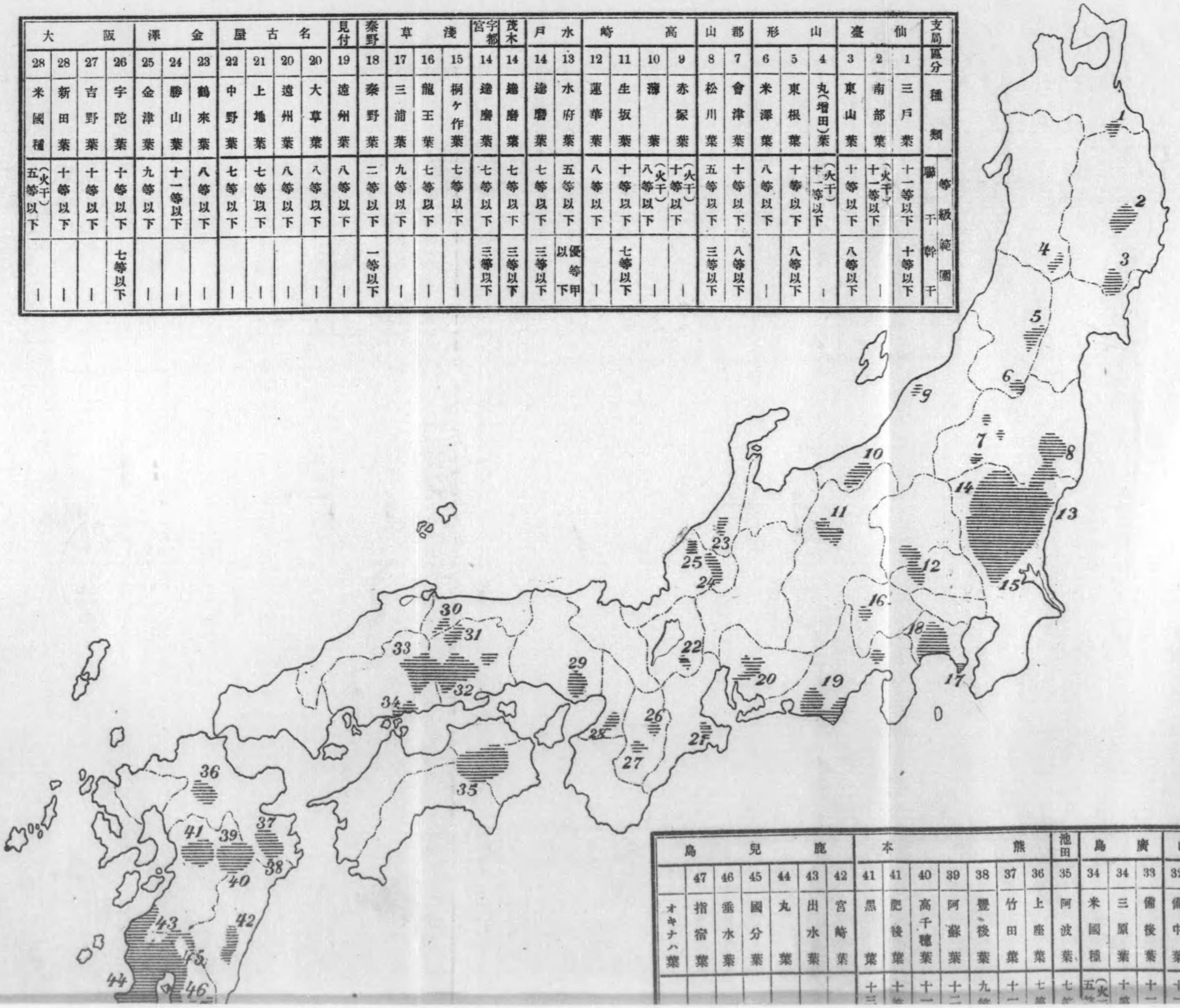
頁
ロ、吉野葉……六五
ハ、宇陀葉……六七
ニ、米國種……（神戸專賣支局管內產ノ部ニ掲出）
(13) 神戸專賣支局管內產……六九
イ、米國種（エルローオロノコ）……六九
ロ、同（ブライトエルロー）……七一
(14) 岡山專賣支局管內產……七三
イ、備中葉……七三
ロ、作州葉……七五
ハ、日野葉（大葉）……七七
ニ、同（立葉）……七九
(15) 廣島專賣支局管內產……八一
イ、備後葉……八一
ロ、三原葉……八三
ハ、米國種……（神戸專賣支局管內產ノ部ニ掲出）

(16) 池田專賣支局管內產……八五
イ、阿波葉……八五
(17) 熊本專賣支局管內產……八七
イ、肥後葉……八七
ロ、上座葉……八九
ハ、黑葉……九一
ニ、阿蘇葉……九三
ホ、豐後葉……九五
ヘ、竹田葉……九七
ト、高千穗葉……九九
(18) 鹿兒島專賣支局管內產……一〇一
イ、丸葉……一〇一
ロ、宮崎葉……一〇三
ハ、國分葉……一〇五
ニ、垂水葉……一〇七

ホ、指宿菜……一〇九頁
ヘ、出水菜……一一一
ト、オキナハ菜……一一三

目次終

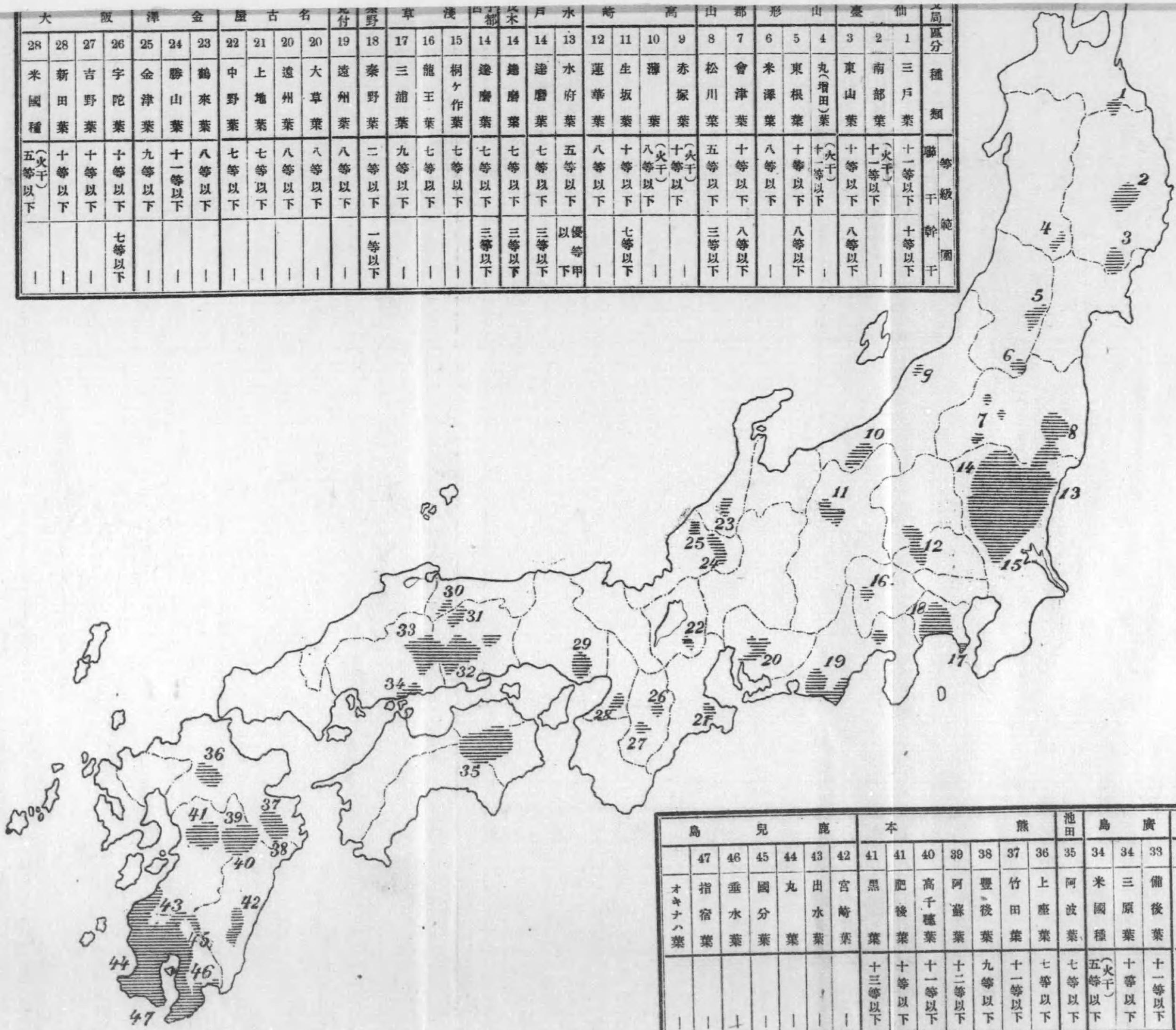
葉煙草産地圖



支局	區分	種類	等級範圍 聯	等級範圍 幹干
仙臺	1	三戸葉	十一等以下	十等以下
仙臺	2	南部葉	(火干)十一等以下	—
仙臺	3	東山葉	十等以下	八等以下
山形	4	丸(增田)葉	(火干)十一等以下	—
山形	5	東根葉	十等以下	八等以下
山形	6	米澤葉	八等以下	—
郡山	7	會津葉	十等以下	八等以下
郡山	8	松川葉	五等以下	三等以下
高崎	9	赤塚葉	(火干)十等以下	—
高崎	10	薄葉	(火干)八等以下	—
高崎	11	生坂葉	十等以下	七等以下
高崎	12	蓮華葉	八等以下	—
水戸	13	水府葉	五等以下	優等甲以下
水戸	14	達磨葉	七等以下	三等以下
茂木	14	達磨葉	七等以下	三等以下
宇都宮	14	達磨葉	七等以下	三等以下
淺草	15	桐ケ作葉	七等以下	—
淺草	16	龍王葉	七等以下	—
淺草	17	三浦葉	九等以下	—
秦野	18	秦野葉	二等以下	一等以下
見付	19	遠州葉	八等以下	—
名古屋	20	大草葉	八等以下	—
名古屋	20	遠州葉	八等以下	—
名古屋	21	上地葉	七等以下	—
名古屋	22	中野葉	七等以下	—
金澤	23	鶴來葉	八等以下	—
金澤	24	勝山葉	十一等以下	—
金澤	25	金津葉	九等以下	—
大阪	26	宇陀葉	十等以下	七等以下
大阪	27	吉野葉	十等以下	—
大阪	28	新田葉	十等以下	—
大阪	28	米國種	(火干)五等以下	—

支局	區分	種類
神戸	29	米國種
岡山	30	日野葉
岡山	31	作州葉
岡山	32	備中葉
廣島	33	備後葉
廣島	34	三原葉
廣島	34	米國種
池田	35	阿波葉、
熊本	36	上座葉
熊本	37	竹田葉
熊本	38	豐後葉
熊本	39	阿蘇葉
熊本	40	高千穗葉
熊本	41	肥後葉
熊本	41	黒葉
鹿兒島	42	宮崎葉
鹿兒島	43	出水葉
鹿兒島	44	丸葉
鹿兒島	45	國分葉
鹿兒島	46	垂水葉
鹿兒島	47	指宿葉
鹿兒島		オキナハ葉

葉煙草産地圖



支局	區分	種類	等級範圍 聯干	等級範圍 幹干
仙臺	1	三戸葉	十一等以下	十等以下
仙臺	2	南部葉	(火干)十一等以下	—
仙臺	3	東山葉	十等以下	八等以下
山形	4	丸(增田)葉	(火干)十一等以下	—
山形	5	東根葉	十等以下	八等以下
山形	6	米澤葉	八等以下	—
郡山	7	會津葉	十等以下	八等以下
郡山	8	松川葉	五等以下	三等以下
高崎	9	赤塚葉	(火干)十等以下	—
高崎	10	藤葉	(火干)八等以下	—
高崎	11	生坂葉	十等以下	七等以下
高崎	12	蓮華葉	八等以下	—
水戸	13	水府葉	五等以下	優等甲以下
水戸	14	達磨葉	七等以下	三等以下
栃木	14	達磨葉	七等以下	三等以下
宇都宮	14	達磨葉	七等以下	三等以下
淺草	15	桐ヶ作葉	七等以下	—
淺草	16	龍王葉	七等以下	—
淺草	17	三浦葉	九等以下	—
秦野	18	秦野葉	二等以下	一等以下
見付	19	遠州葉	八等以下	—
名古屋	20	大草葉	八等以下	—
名古屋	20	遠州葉	八等以下	—
名古屋	21	上地葉	七等以下	—
名古屋	22	中野葉	七等以下	—
金澤	23	鶴來葉	八等以下	—
金澤	24	勝山葉	十一等以下	—
金澤	25	金津葉	九等以下	—
大阪	26	宇陀葉	十等以下	七等以下
大阪	27	吉野葉	十等以下	—
大阪	28	新田葉	十等以下	—
大阪	28	米國種	(火干)五等以下	—

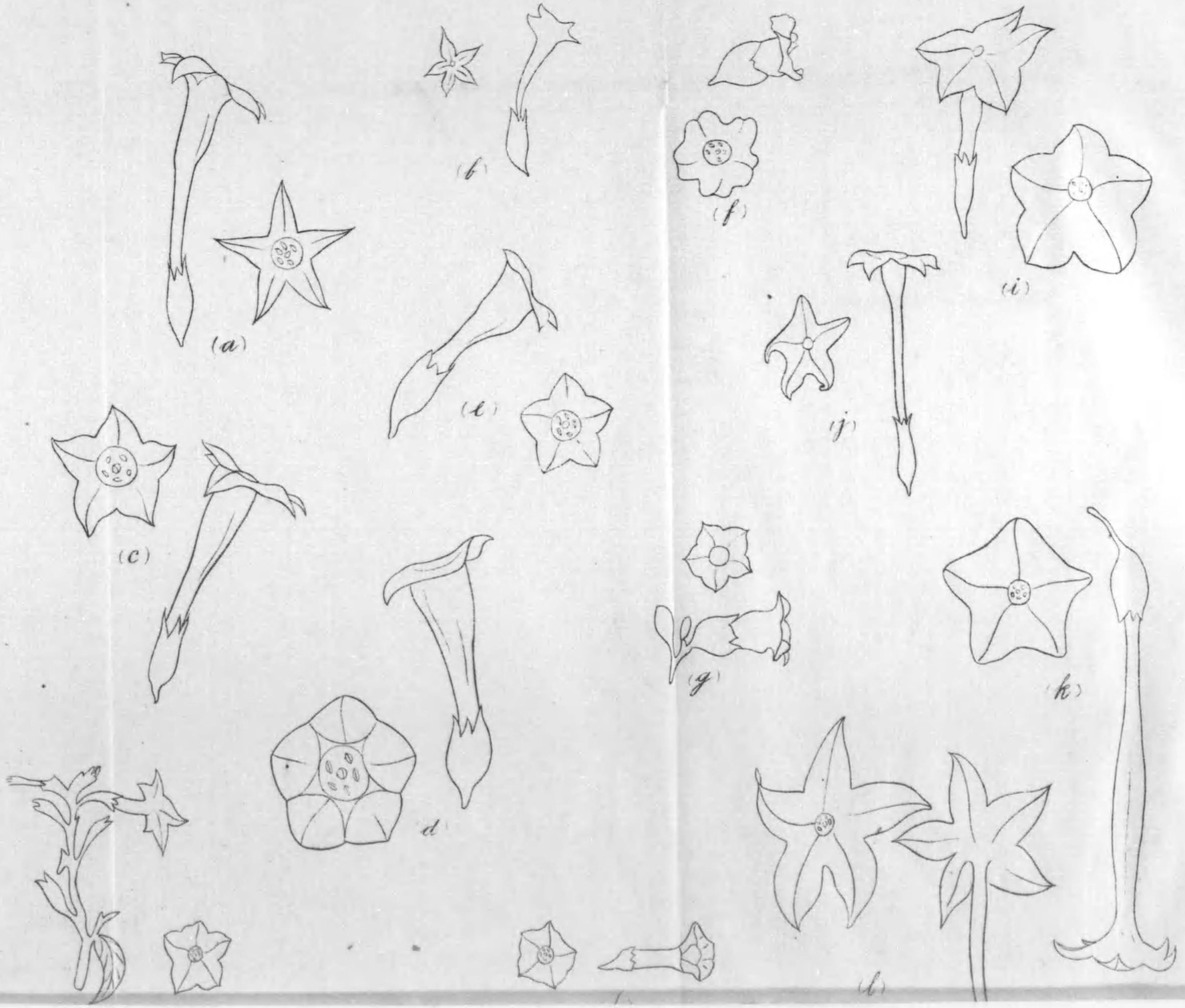
支局	區分	種類	等級範圍 聯干	等級範圍 幹干
神戸	29	米國種	(火干)五等以下	—
岡山	30	日野葉	(火干)八等以下	—
岡山	31	作州葉	(火干)七等以下	—
岡山	32	備中葉	十一等以下	—
廣島	33	備後葉	十一等以下	—
廣島	34	三原葉	十等以下	—
廣島	34	米國種	(火干)五等以下	—
池田	35	阿波葉	七等以下	—
熊本	36	上座葉	七等以下	—
熊本	37	竹田葉	十一等以下	—
熊本	38	豐後葉	九等以下	—
熊本	39	阿蘇葉	十二等以下	—
熊本	40	高千穗葉	十一等以下	—
熊本	41	肥後葉	十等以下	—
熊本	41	黑葉	十三等以下	—
鹿兒島	42	宮崎葉	—	優等乙以下
鹿兒島	43	出水葉	—	特等以下
鹿兒島	44	丸葉	—	特等以下
鹿兒島	45	國分葉	—	特等以下
鹿兒島	46	垂水葉	—	特等以下
鹿兒島	47	指宿葉	—	特等以下
鹿兒島		オキナハ葉	—	九等以下

目次

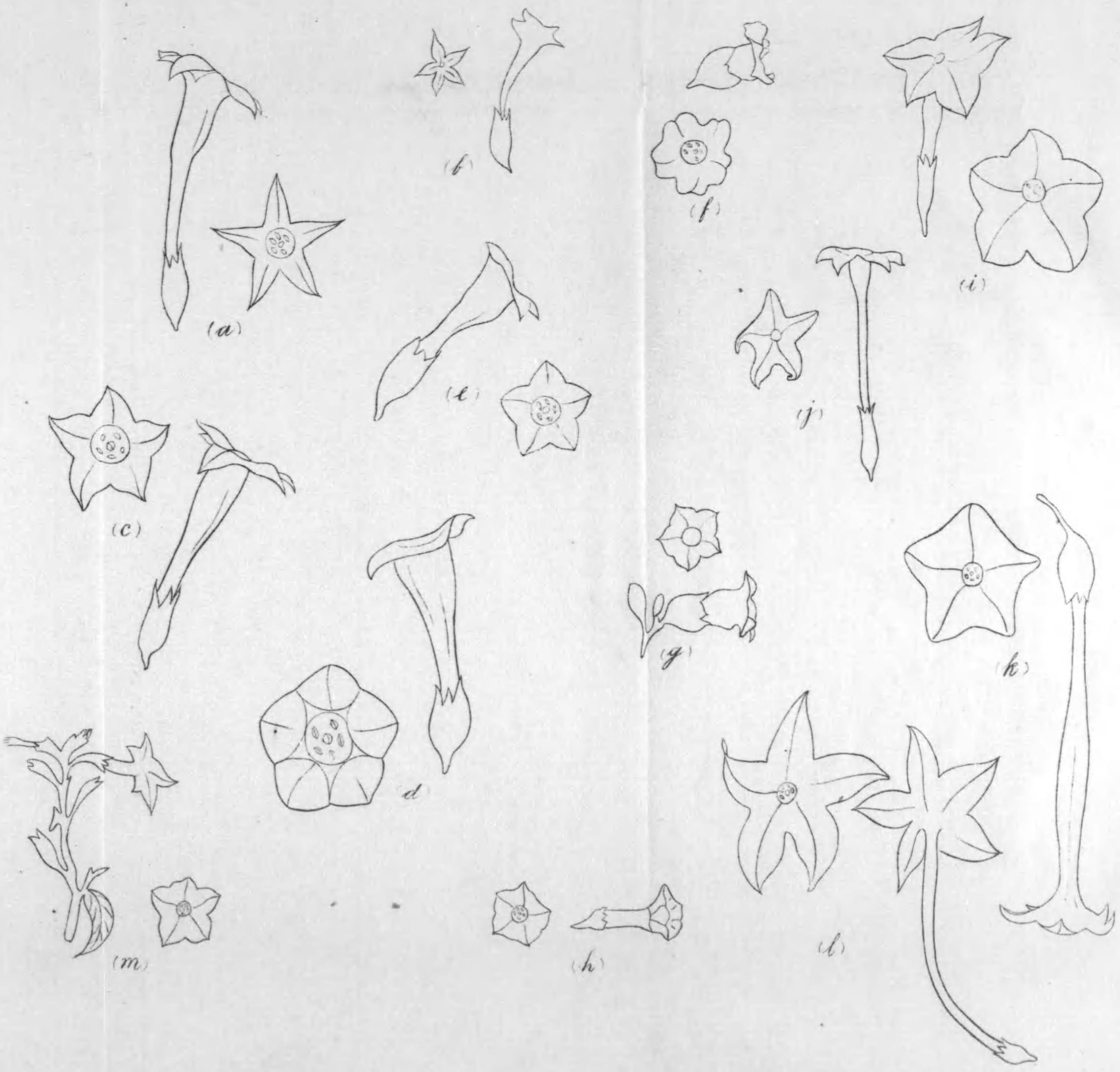
終

煙草花形態ノ一例

(a) Nicotiana Tabacum Fruticosa.
(b) 〃 〃 Lantifolia.
(c) 〃 〃 Virginica. (Petiolataモ同シ)
(d) 〃 Macrophylla.
(e) 〃 Tabacum Brasiliensis.
(f) 〃 Rustica Brasilia.
(g) 〃 〃 Tamaicensis.
(h) 〃 Langsdorffii.
(i) 〃 Forgetiana.
(j) 〃 Plumbaginifolia.
(k) 〃 Sylvestris.
(l) 〃 Longiflora.
(m) 〃 Forgetiana.



(a) Nicotiana Tabacum Fruticosa.
(b) „ „ Lantifolia.
(c) „ „ Virginica. (Petiolataモ同シ)
(d) „ Macrophylla.
(e) „ Tabacum Brasiliensis.
(f) „ Rustica Brasilia.
(g) „ „ Tamaicensis.
(h) „ Langsdorffii.
(i) „ Forgetiana.
(j) „ Plumbaginifolia.
(k) „ Sylvestris.
(l) „ Longiflora.
(m) „ Forgetiana.

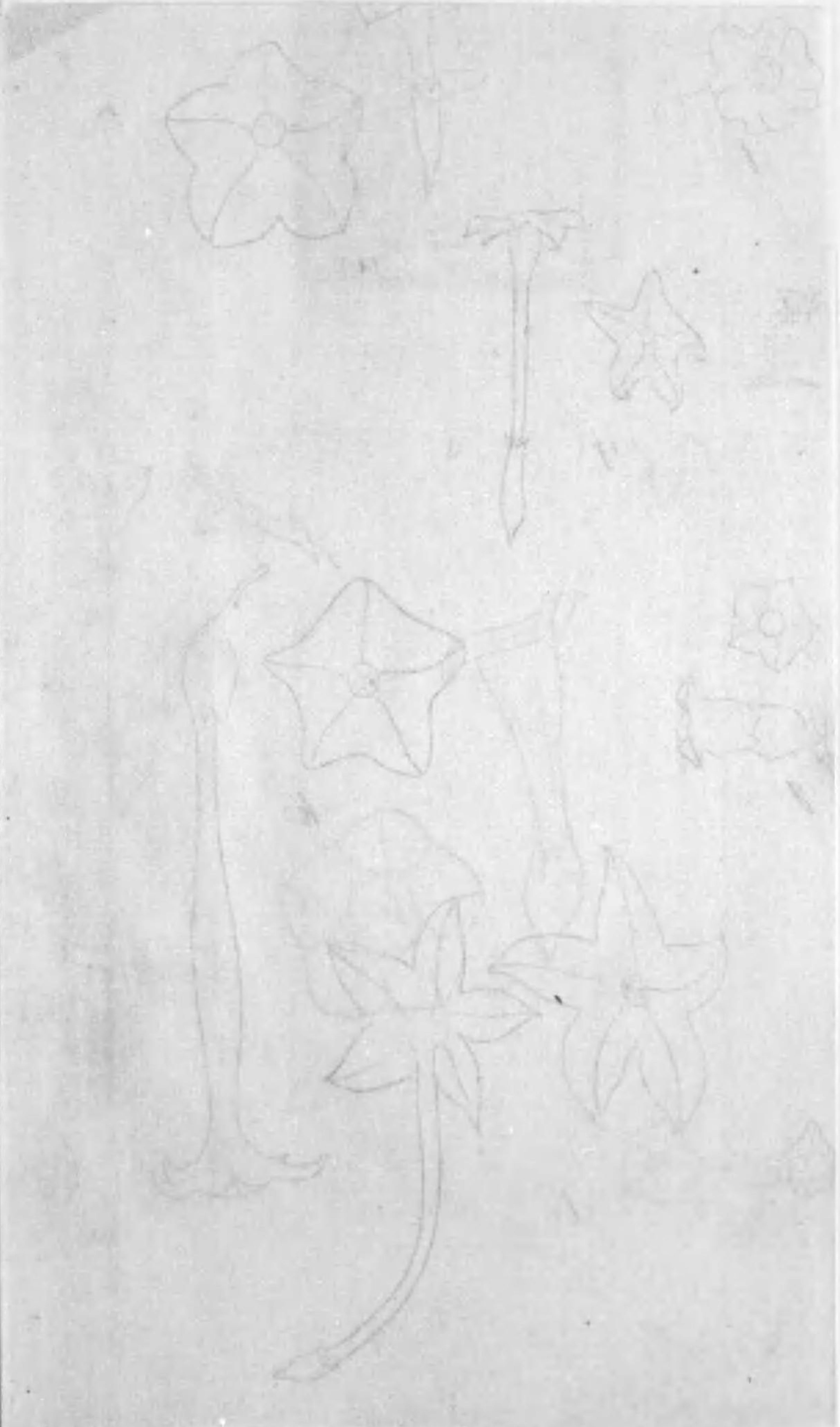


[library seal stamp]

內國產煙草ノ起源及分類調查

一 總論

現時本邦ニ存在セル煙草ハ之ヲ其ノ各種類ニ對スル起源竝沿革ニ徵シ案スルニ何レモ遠ク慶長年間又ハ其ノ以後ニ於テ直接外船ヨリ移入セルモノニ基ケルモノノ如シ而シテ現時專賣制度ノ下ニ耕作セル種類ハ實ニ四十餘種ノ多キニ亘ルト雖是等ノ大部分ハ其ノ生產地方ノ氣候土質及其ノ他耕作方法ノ異ナルニ依リ其ノ當初ハ同一種類ナリシモノモ長年月ヲ經過スルニ從ヒ自ラ其ノ形態ニ差異ヲ來シ一見恰モ別種類ノ觀ヲ呈スルニ至レルモノ多シ今植物學上ノ分類法ニ基キ之カ類別ヲ試ミルニ遠ク傳來當初ニ於ケル移入種類ハ其ノ數極メテ少ク僅々二三種類ニ過キサルモノノ如シ、即チ今回各種類ニ付キテ親シク調查セル實物、解說、寫眞竝起源沿革等ニ徵シ鑑ミルニ現時本邦ニ存在セル數多ノ煙草種類ハ結局之ヲ二ツノ異ナル種類（甲）及（乙）ニ分チ（甲）種ハ更ニ之ヲ（乾）及（坤）ノ二亞種ニ類別シ得ルニ過キス惟フニ本邦各種類ノ起源ハ其ノ大多數ハ由來極メテ遠ク從テ之ニ關スル記錄等ハ殆ント一モ就テ見ルヘキモノナク唯僅ニ口碑又ハ古老ノ言ニ依リ漸ク之ヲ辿ルノ止ムナキ狀況ナルヲ以テ今得テ適確ナル斷定ヲ下シ難キモ更ニ其ノ沿革ヲモ總合シテ案スルニ本邦ニ於テ初メテ煙草種子ヲ移入セシ開港地ハ三ケ



所ナリト推測シ得ヘキカ如シ即チ一ハ薩摩國指宿港(慶長年間)ニシテ現時ノ乾亞種(Nicotiana Tabacum Petiolata 東印度煙草)一ハ長崎港(慶長年間)ニシテ現時ノ坤亞種(Nicotiana Tabacum Virginica バージニア煙草)及乙種(Nicotiana Macrophylla Purpurae マリーランド煙草)ノ祖先ヲ移入シ他ノ一ハ浦賀港(寶曆年間)ニシテ是亦坤亞種(Nicotiana Tabacum Virginica バージニア煙草)ノ祖先ヲ移入セシモノノ如シ尤之以外最近明治年間ニ至リ北米合衆國ヨリ黄色煙草ノ種子ヲ我神戸及横濱港ニ移入セシハ皆世人ノ熟知スル所ニシテ本種ハ分類上又坤亞種(ニ入ルヘキモノナリ

現時本邦ニ存在セル煙草ノ分類ヲ行フニ當リ主トシテ獨逸國キツスリング、バーボー伊國コメス博士其ノ他伊國スカフアチー煙草試驗場學術報告等ニ基キ左記八項ヲ重要ナル諸點ト認メ專ラ之ニ從ヒ本邦煙草ノ分類ヲ行フコトトセリ即チ

一、花ノ色

煙草種類ノ異ナルニ從ヒ夫々花ノ色ヲ異ニスルコト多シ例ヘハ N. Tabacum 及 N. Macrophylla ニ屬スル各種類ハ何レモ其ノ花瓣ハ紅色又ハ薄紅色ヲ呈スレトモ N. Rustica ニ屬スル各種類ハ何レモ黄綠色ヲ呈ス其ノ他賞翫用煙草中ニハ或ハ白色ナルアリ或ハ紅色ナルアリ或ハ黄色ナルアリテ一々其ノ花色ノ異ナルニ依リ各々其ノ類別ヲ異ニス一時本邦ニ於テ點々栽培ヲ試ミラレタルコトアリシ紅色長花煙草ハ Nicotiana Sanderae ニシテ又白色長花煙草ハ Nicotiana Affinis. Nicotiana Alate. Nicotiana Persica 等ナリキ

二、花ノ形態

種類ニ依リ夫々花ノ形態ヲモ異ニスルコト多シ例ヘハ N. Tabacum 及 N. Macrophylla ニ屬スル各種類ハ一般ニ長漏斗狀ヲ呈スレトモ N. Rustica ニ屬スル各種類ハ花筒ノ長サ極メテ短ク且花ノ基部概シテ太シ其ノ他賞翫用煙草中ニハ概シテ著シク細長キ花筒ヲ有スルモノ多シ又花部側面觀ハ等シク長漏斗狀又ハ短漏斗狀ヲ呈シ同一ノ形狀ヲ有スルモノモ之ヲ上面ヨリ觀ル時ハ其ノ花瓣ノ部ニ於テ又互ニ幾分ノ相違ヲ見ルコト多シ之ニ從ヒ夫々學名ヲ異ニスルコト普通ナリ (別圖參照)

三、蒴果ノ形態

種類ニ依リ夫々蒴果ノ形態ヲモ異ニス例ヘハ N. Tabacum 及 N. Macrophylla ニ屬スル各種類ハ一般ニ卵圓形乃至長卵圓形ヲ呈スレトモ N. Rustica ニ屬スル各種類ハ概シテ圓形ニシテ且頂端ニ於テ幾分凹窪ヲ有ス其ノ他賞翫用煙草ニアリテハ大體披針狀ヲ呈スルコト普通ナリ

四、莖幹カ上半部ヨリ分岐セルヤ又ハ地上面ヨリ直ニ分岐セルヤ

N. Tabacum 及 N. Macrophylla ニ屬スル各種類ハ其ノ莖幹必ス上半部ヨリ分岐シ繖形ヲ爲シテ果實ヲ附著スルコト普通ナレトモ之ニ反シ N. Rustica 及賞翫用煙草ノ大部分ハ地上面ヨリ直ニ分岐スルコト普通ナリ

五、著葉ノ粗密

各種類ニ依リ夫々莖幹ニ對スル著葉ノ粗密ヲ異ニス例ヘハ N. Tabacum ニ屬スル各種類ハ著葉平均距離一般ニ密ニシテ N. Macrophylla ニ屬スル各種類ハ前者ニ比シ粗ナルヲ普通トス又 N. Rustica ニ屬スル種類ハ著葉尙粗ニシテ且著葉ノ狀況比較的亂雜ノ觀ヲ呈ス其ノ他賞翫用煙草ニアリテハ一見園藝用花卉ニ等シキモノ多ク中ニハ全然是尙煙草屬ナルヤヲ疑ハシムルモノ稀ナラス

六、著葉ノ有柄ナルヤ無柄ナルヤ

同一種類中ニモ有柄ナルアリ無柄ナルアリテ之ニ依リ更ニ之ヲ區分シ夫々學名ヲ異ニスルコト普通ナリ尤 N. Rustica ニ屬スル各種類ハ何レモ長キ有柄種ノミニシテ全ク無柄種ヲ缺如ス

七、著葉ノ形態

著葉面積ノ大小ハ同一種類ト雖其ノ年ノ天候、肥料ノ種類及用量、其ノ他耕作法等ノ異ナルニ依リ常ニ幾分ノ相違ヲ來スコト普通ナレトモ其ノ縱橫寸尺ノ比例ヨリ來レル形態ニアリテハ各種類トモ大體固有ノ貌觀ヲ呈スルカ如シ N. Tabacum ニ屬スルモノノ中ニハ長楕圓形、披針形又ハ心臟形ノモノ普通ニシテ N. Macrophylla ニ屬スルモノハ大體楕圓形又ハ幅ノ廣キ楕圓形ヲ呈シ又 N. Rustica ニ屬スル種類ニ在リテハ概シテ卵圓形ヲ呈ス其ノ他賞翫用煙草ニアリテハ其ノ形態實ニ異樣ナルモノ多ク著葉形態ノ異ナルニ從ヒ夫々學名ヲ異ニスルコト多シ

八、中骨ノ支骨ニ對スル角度ノ鋭鈍

前項著葉ノ形態ト密接ナル關係ヲ有ス N. Macrophylla ハ總テノ他ノ種類ニ比シ支骨一般ニ中骨ニ對シ鈍角ヲ有スト云ヒ得ヘシ

以上各項ニ基キ本邦現存煙草ノ分類ヲ行ヘルニ

一、日本煙草ハ各種類ヲ通シ何レモ莖幹ハ上半部ヨリ分岐シ繖形ヲ爲シ決シテ地上面ヨリ直ニ分岐スルコトナク且花ハ何レモ長漏斗狀薄紅色ニシテ葉ハ互ニ順序能ク莖ニ附著シ葉形ハ普通楕圓形、長楕圓形、披針形又ハ心臟形ヲ呈シ蒴果亦卵圓形乃至長卵圓形ヲ有ス之ヲ以テ我日本煙草ハ必ス N. Tabacum 又ハ N. Macrophylla 中ニ包含セラルル或ル種類タラサルヘカラス（N. Rustica ニ屬スルモノハ何レモ莖幹ハ地上面ヨリ直ニ分岐シ花ハ短漏斗狀ニシテ且黃綠色ヲ呈ス著葉比較的亂脈ニシテ蒴果ハ何レモ圓形ヲ呈シ且尖端幾分凹ム又彼ノ賞翫用煙草ハ極メテ少數種類ヲ除クノ外ハ N. Rustica ト同シク莖幹ハ地上部ヨリ直ニ分岐シ花部ハ大多數ハ頗ル細長キ漏斗狀ヲ呈シ著葉狀態ハ一見草本類似ノ觀ヲ呈スルモノ多ク全ク園藝用植物ト見ルヲ至當トシ蒴果亦一般ニ披針狀ヲ呈ス本邦煙草ニシテ之ニ該當スルモノ全然無シ）

二、前項ニ依リ日本煙草ハ全部 N. Tabacum 又ハ N. Macrophylla 中ニ包含セラレタル種類ナルコト確實ナリ仍テ更ニ本邦各種類ニ付キ一々之カ特性ヲ調査シ進ンテ其ノ亞種ノ分類ヲ行ヒタルニ次ノ

（乙）本邦ニハ無柄種ノミニシテ有柄種ナシ

日本煙草中唯一ノ現存種類ニシテ江州中野葉之ナリ莖幹ハ大體垂直ニシテ葉ハ互生順序能ク莖ニ附著シ著葉平均葉間廣ク大體三寸五分ニ達シ葉先少シク垂下シ莖ノ上半部ハ分岐シテ織形ヲ爲シ中位著葉ハ一般ニ楕圓形ニシテ托葉著シク發達シ中骨ニ對シ支骨大體正鈍角ヲナシ花部蕚ハ普通鐘形ニシテ五分裂アリ花冠ハ長漏斗狀ヲ呈シ五箇ノ裂片ヲ有ス然レトモ其ノ裂目極メテ淺ク上面ヨリ見ルニ恰モ五角形ト圓形トノ中間ノ形ヲ呈ス色ハ薄紅色ニシテ内部ニ雄蕊五箇雌蕊一箇ヲ含有シ蒴果普通卵圓形ニシテ内部ニ二箇ノ區劃アリ

N. Macrophylla Purpurea ノ解說ト符合ス

日本煙草ニシテ有柄種ニ屬スルモノハ三十餘種ノ多キニ亘リ各種類共其ノ特性ニ於テ幾分ノ相違アレトモ何レモ氣候土質及耕作法等ノ相違ニ基ケルモノニシテ其ノ差異少ク植物學分類上之ヲ別種ニ區分スル事能ハス味アリ色ハ薄紅色ニシテ内部ニ雄蕊五箇雌蕊一箇ヲ含有ス蒴果ハ普通卵圓形ニシテ内部ニ二箇ノ區劃アリ

結果ヲ得タリ

日本煙草

花ノ構造、葉形、平均著葉距離ノ粗密、支骨ノ中骨ニ對スル角度ノ鋭鈍ニ依リ更ニ之ヲ二分類スルヲ要ス

- **（甲）** 有柄ナルト無柄ナルトニ依リ更ニ之ヲ二分類スルヲ要ス
  - **（乾）亞種（有柄種）**

    日本煙草ニシテ有柄種ニ屬スルモノハ三十餘種ノ多キニ亘リ各種類共其ノ特性ニ於テ幾分ノ相違アレトモ何レモ氣候土質及耕作法等ノ相違ニ基ケルモノニシテ其ノ差異少ク植物學分類上之ヲ別種ニ區分スル事能ハス總括スルニ莖幹ハ大體垂直ニシテ葉ハ互生何レモ正角ヲナシテ順序能ク莖ニ附着シ著葉平均距離狹ク大體三寸以内ニシテ葉先少シク垂下シ莖ノ上半部ハ分岐シテ繖形ヲ爲シ中位著葉ハ一般ニ長又ハ短心臟形ヲ呈シ中骨ニ對シ支骨大體正鋭角ヲ爲シ花部蕚ハ普通鐘形ニシテ五分裂アリ花冠ハ長漏斗狀ヲ呈シ五箇ノ裂片ヲ有シ且其ノ先端幾分卷返リタル氣味アリ色ハ薄紅色ニシテ内部ニ雄蕊五箇雌蕊一箇ヲ含有ス蒴果ハ普通卵圓形ニシテ内部ニ二箇ノ區劃アリ

    附言、伊國コメス博士ハ本種ニ對シN. Tabacum petiolata Japonicumト命名シ居レリ本種ハ其ノ特性トシテ土性幷ニ耕作法ノ如何ニ依リ時トシテ著シク廣厚重粘ノ葉煙草ヲ生産スル種類ニ突變スルコトアリ、我南部葉、黒葉及舊東城葉ハ何レモ本特性ヲ發揮セルモノト見ルヘキカ

    N. Tabacum Petiolata ノ解説ト符合ス
  - **（坤）亞種（無柄種）**

    日本煙草中無柄種ニ屬スルモノハ十六種類ヲ數ヘ其ノ内一種（即チ（乙）種）ヲ除クノ外ハ全部大體本種ニ屬セシムヘキモノニシテ總括スルニ莖幹ハ大體垂直ニシテ葉ハ互生何レモ順序能ク莖ニ附著シ著葉平均葉間狹ク大體三寸以内ニ止マリ葉先少シク垂下シ莖ノ上半部ハ分岐シテ繖形ヲ爲シ中位著葉ハ一般ニ長楕圓形披針狀ヲ呈シ中骨ニ對シ支骨大體正鋭角ヲ爲シ花部蕚ハ普通鐘形ニシテ五分裂アリ花冠ハ長漏斗狀ヲ呈シ五箇ノ裂片ヲ有シ且其ノ先端幾分卷返リタル氣味アリ色ハ薄紅色ニシテ内部ニ雄蕊五箇雌蕊一箇ヲ含有ス蒴果ハ普通卵圓形ニシテ内部ニ二箇ノ區劃アリ

    N. Tabacum Virginica ノ解説ト符合ス
- **（乙）** 本邦ニハ無柄種ノミニシテ有柄種ナシ

  日本煙草中唯一ノ現存種類ニシテ江州中野葉之ナリ莖幹ハ大體垂直ニシテ葉ハ互生順序能ク莖ニ附著シ著葉平均葉間廣ク大體三寸五分ニ達シ葉先少シク垂下シ莖ノ上半部ハ分岐シテ繖形ヲ爲シ中位著葉ハ一般ニ楕圓形ニシテ托葉著シク發達シ中骨ニ對シ支骨大體正鈍角ヲナシ花部蕚ハ普通鐘形ニシテ五分裂アリ花冠ハ長漏斗狀ヲ呈シ五箇ノ裂片ヲ有ス然レトモ其ノ裂目極メテ淺ク上面ヨリ見ルニ恰モ五角形ト圓形トノ中間ノ形ヲ呈ス色ハ薄紅色ニシテ内部ニ雄蕊五箇雌蕊一箇ヲ含有シ蒴果普通卵圓形ニシテ内部ニ二箇ノ區劃アリ

  N. Macrophylla Purpurea ノ解説ト符合ス

水府大葉及小出雲薄葉ハ同一產地ニ(乾)亞種及(坤)亞種ヲ永年ニ亘リ雜耕セル結果遂ニ其ノ中間雜種(Imtermediare Hybrid)ヲ形成セルモノヨリ傳來セルモノノ如シ從テ分類上前記何レニモ屬セシムヘキモノニ非ス然レトモ其ノ偏差ノ度合ヨリ前者ニハ N. Tabacum Pet. Virginica 後者ニハ N. Tabacum Virg. Petiolata ノ學名ヲ附スルコトトセリ

二　各種類ニ對スル起源及解説

(1) 淺草專賣支局管内産

(イ) 桐ケ作葉

内容種　柳葉（達磨葉系）

學名　Nicotiana Tabacum Var. Virginica

主産地　千葉縣東葛飾郡　茨城縣猿島郡

起源　記録ノ徴スヘキモノナキモ古老其ノ他ノ語ル所ニ依レハ文化文政ノ頃下野國大山田地方ヨリ千葉縣野田町附近桐ケ作村ニ種子ヲ齎シ來リ自家用トシテ栽培セシニ起因スルモノノ如ク明治ニ至ルマテハ尚原料供給ヲ下野ニ仰キ需用者自ラ截刻シテ飲料ニ供スル者アリシカ明治初年頃ヨリ漸次各地方ニ傳播スルニ至レリ

解説

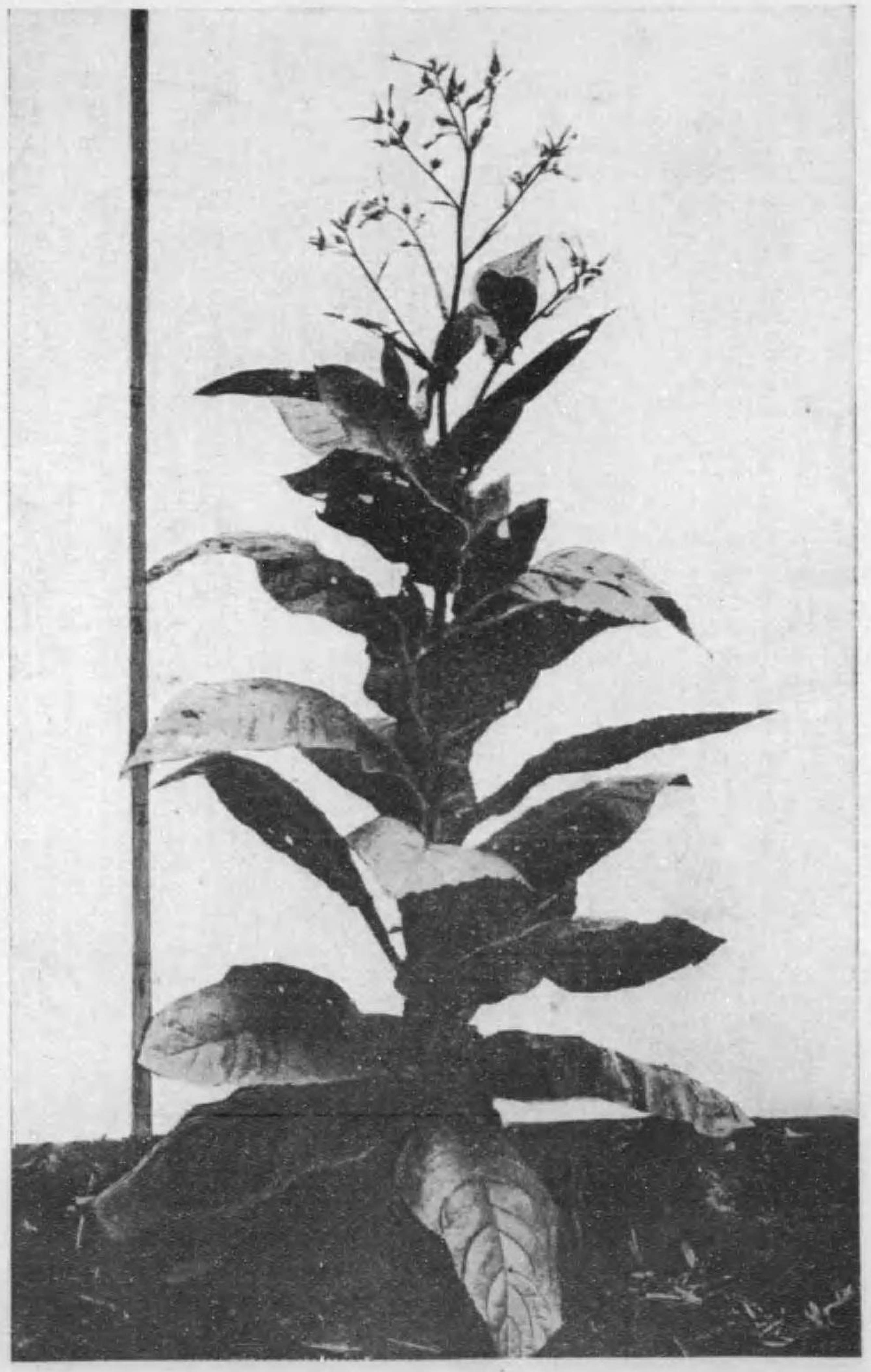
（イ）樹勢　莖幹ハ垂直ニシテ草丈凡ソ五尺五寸餘ニ達シ葉ハ互生ニシテ平均葉間約二寸二分著葉約二十枚ヲ算シ概ネ順序正シク正角ヲ爲シテ莖ニ附着ス其ノ未熟ノモノニアリテハ葉先稍同上ノ

傾アルモ適熟期ニ達セハ少シク垂下ス而シテ莖ノ上部ハ數多ニ分岐シ繖形ヲ爲シ之ニ花實ヲ附着ス

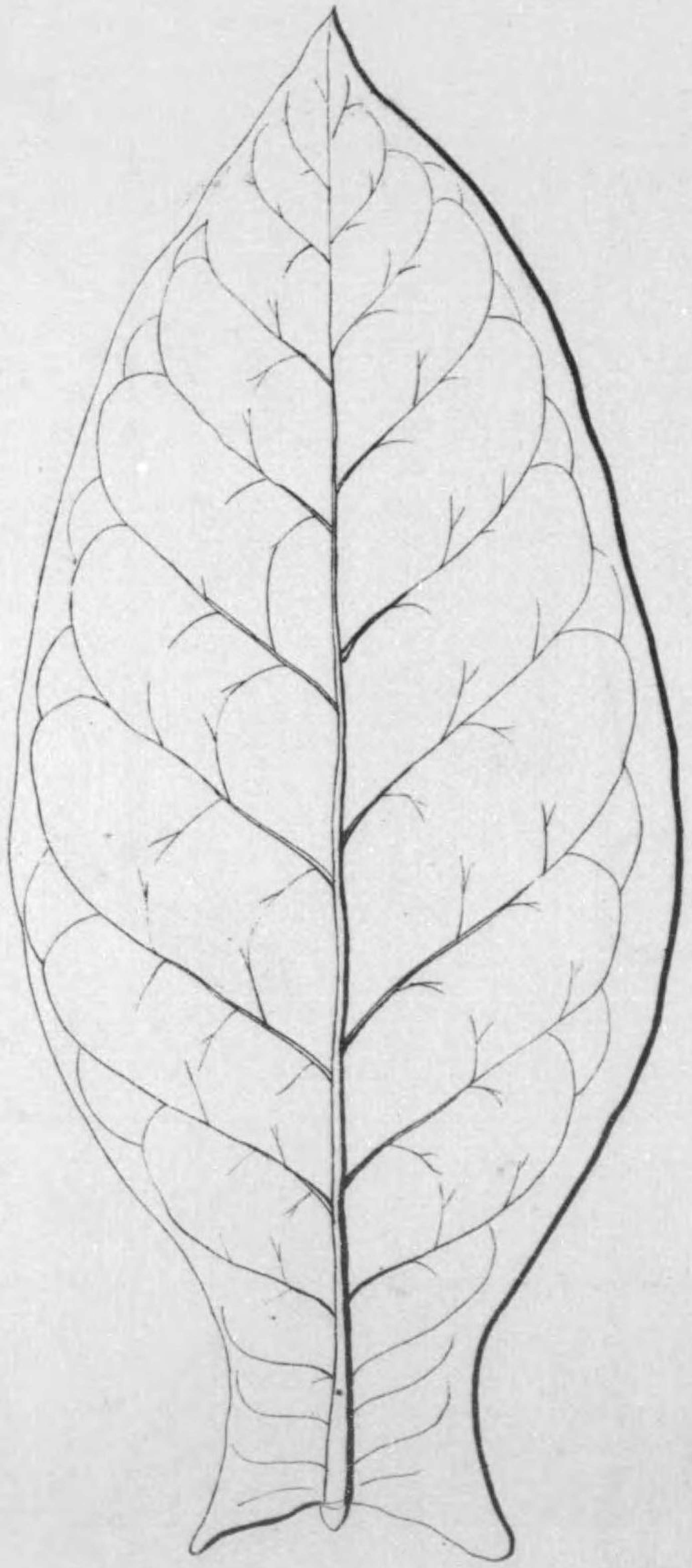
(ロ)中位著葉　葉ハ無柄ニシテ披針狀ヲ呈シ長サ約一尺八寸巾約八寸五分ニ對シ全緣ヲ爲シ中骨ニ對シ支骨一般ニ鋭正角ヲ有シ葉肉概ネ中庸ナリ

(ハ)花部　萼ハ普通鐘形ニシテ綠色ヲ呈シ五分裂ヲ爲ス其ノ花冠ハ長漏斗狀ニシテ上緣ニ於テ薄紅色ヲ呈シ萼ノ附着點少シク膨張シ五箇ノ裂片ヨリ成リ內ニ雄蕊五箇雌蕊一箇ヲ含有シ又下部ニ一箇ノ子房ヲ藏ス

(ニ)蒴果　長楕圓形ニシテ長徑約七分短徑約五分五厘內部ニ二箇ノ區劃アリ



桐ケ作葉
(內容種柳葉)



桐ヶ作葉

（内容種柳葉）

(ロ) 龍王葉

內容種 丸葉（水府葉系）

學名 Nicotiana Tabacum Var. Petiolata

主産地 山梨縣中巨摩郡

起源 口碑ノ傳フル所ニ依レハ寶永年間龍王村ノ住人丹澤玄黃ナル者常陸國ヨリ水戸煙草ノ種子ヲ携ヘ來リ試作セシニ起源セルモノノ如シ

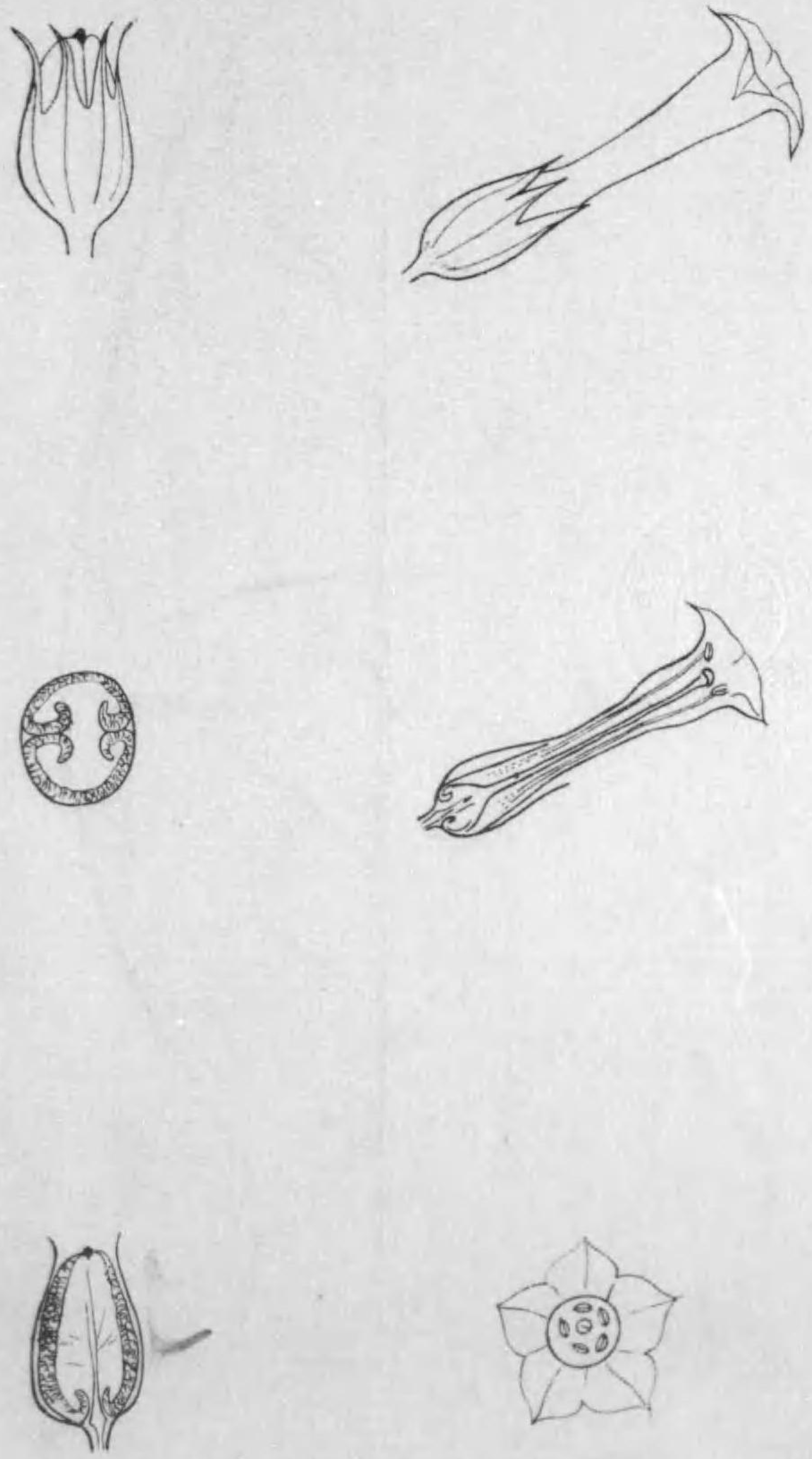
解說

（イ）樹勢　莖幹ハ垂直ニシテ草丈凡ソ五尺八寸ニ達シ葉ハ互生ニシテ正角ヲ以テ莖ニ附着ス而シテ其ノ平均葉間ハ約二寸著葉普通二十二枚ヲ算シ葉先少シク垂下シ莖ノ上部ハ分岐シテ繖形ヲ爲シ之ニ花實ヲ附著ス

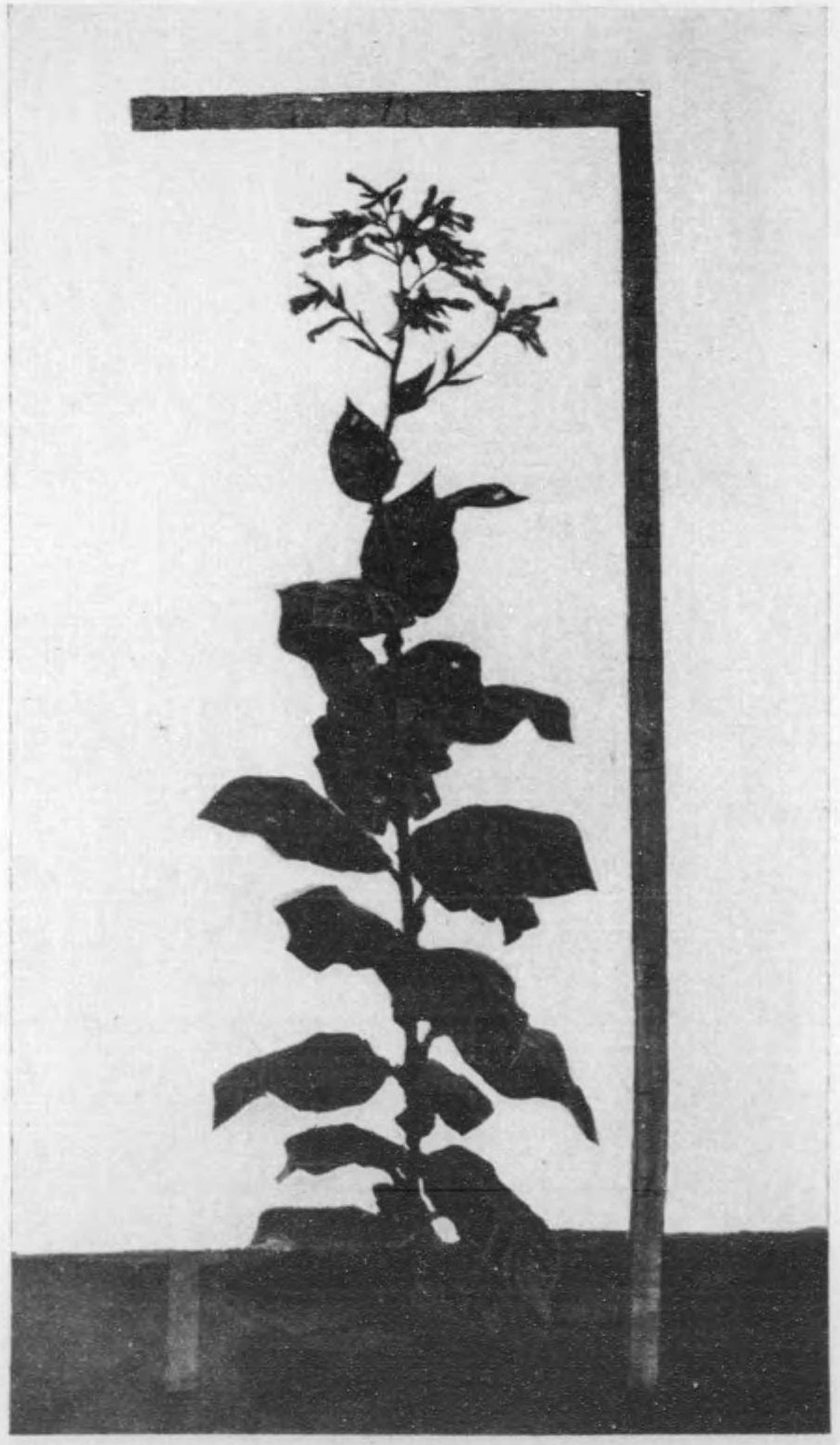
（ロ）中位著葉　葉ハ有柄長心臓形ニシテ長サ約一尺二寸幅五寸五分乃至六寸ニ達シ全緣ヲ爲シ中骨ニ對シ支骨ハ概ネ鋭正角ヲ有シ葉肉概ネ厚シ

（ハ）花部　萼ハ普通鐘形ニシテ五分裂アリ花冠ハ長漏斗狀ヲ呈シ萼ノ附著點ニ於テ膨脹シ五箇ノ裂片ヲ有ス其ノ上部ハ薄紅色ニシテ内ニ雄蕊五箇雌蕊一箇ヲ含有シ下部ニ一箇ノ子房ヲ藏ス

（ニ）蒴果　普通卵圓形ニシテ下部少シク膨大シ長徑約六分五厘短徑約三分五厘内部ハ二箇ノ區

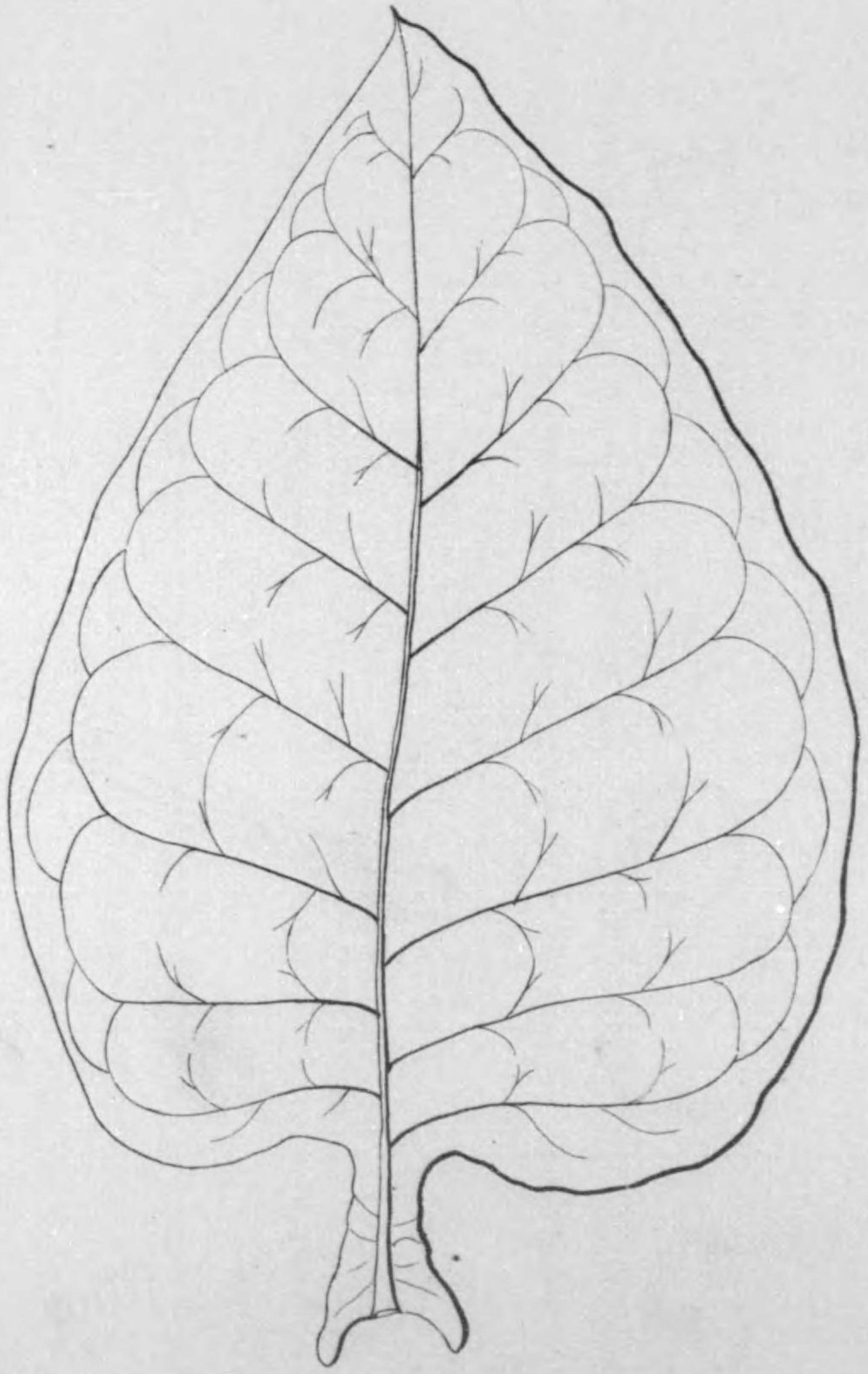


劃ヨリ成ル



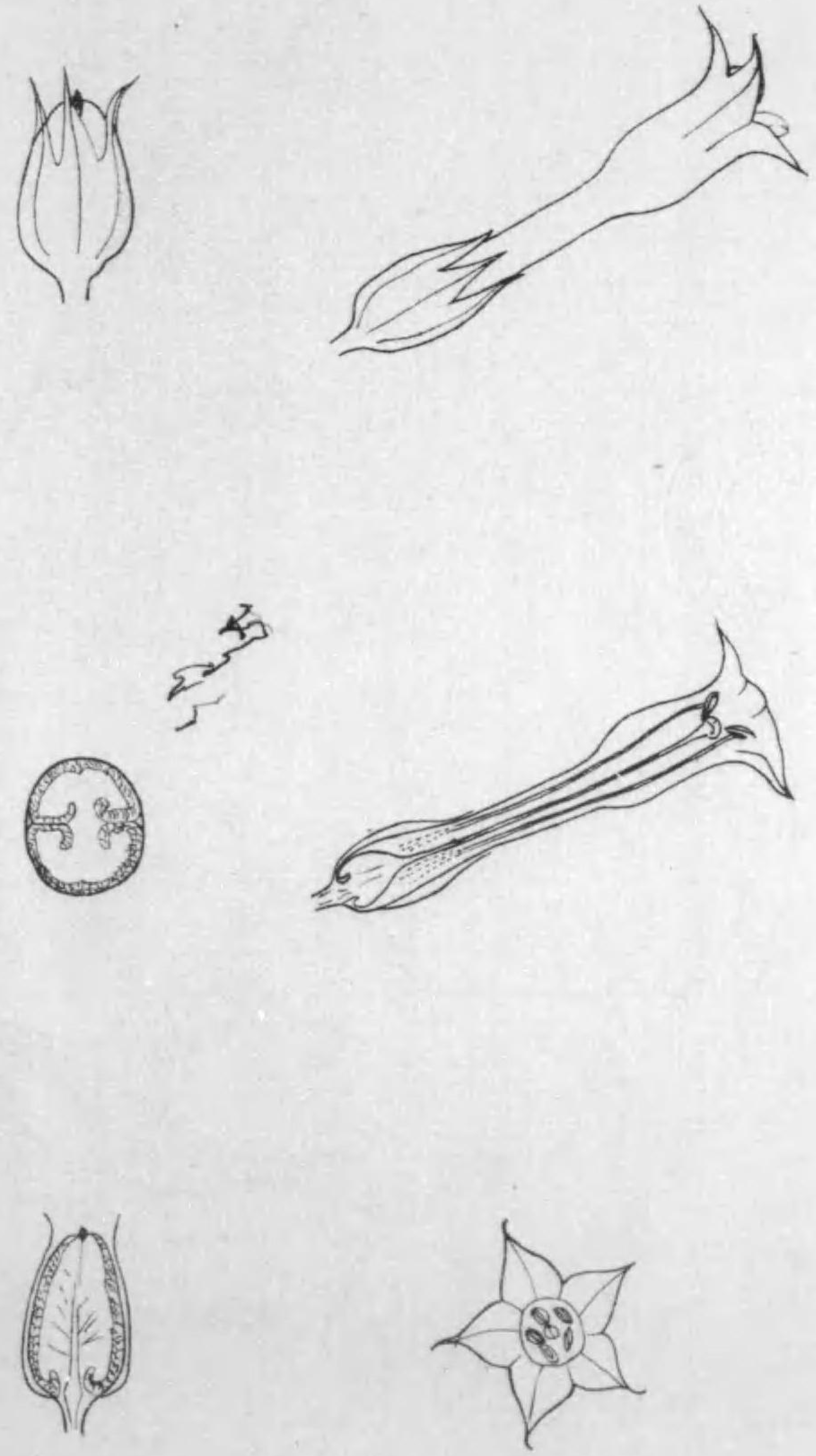
龍王葉

（内容種丸葉）



龍王葉

(内容種丸葉)



（ハ）三浦葉（達磨葉系）

內容種　ザモンド

學名　Nicotiana Tabacum Var. Virginica

主產地　神奈川縣三浦郡

起源　不幸文獻ノ徵スヘキモノナク唯口碑ニ依リ錄スルニ過キサレトモ想フニ寶曆ノ頃煙草種子ヲ浦賀外船ニ得ルモノアリ自家喫用トシテ今ノ初聲村大字和田ノ唐口及古ノ谷邊ニ播種シ栽培ヲ試ミタリ之今日三浦葉ノ濫觴ナルモノノ如シ本種ヲ一名「ざもんど」ト稱スルニ徵スルモ直接舶來種タルヲ窺フニ足ル

解説

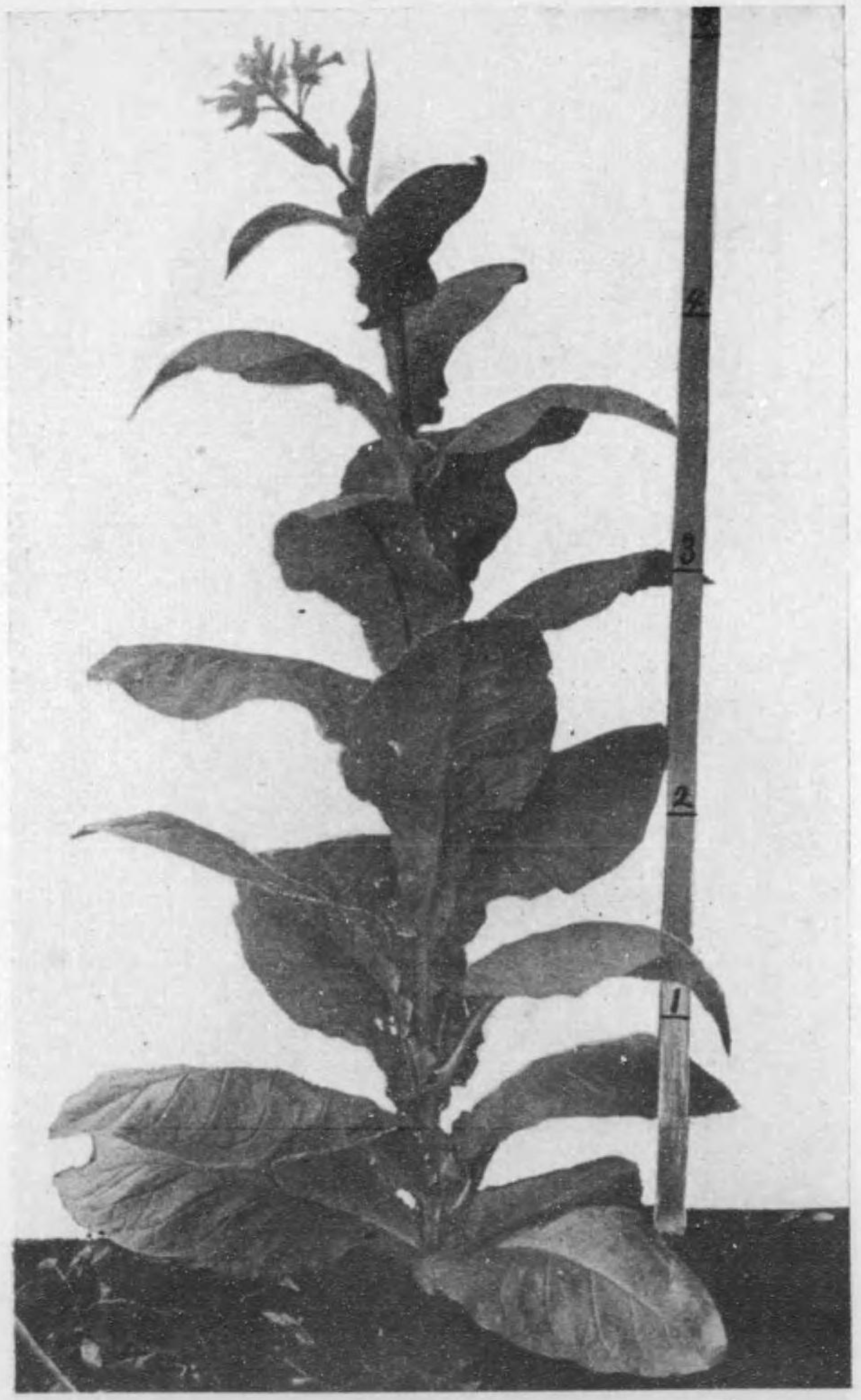
（イ）樹勢　莖幹ハ垂直ニシテ草丈五尺ニ達シ葉ハ互生ニシテ正角ヲ以テ莖ニ附著ス而シテ共ノ平均葉間ハ約二寸五分著葉約十八枚ヲ算シ葉先少シク垂下シ莖ノ上部ハ分岐シテ繖形ヲ爲シ之ニ花實ヲ附著ス

（ロ）中位著葉　葉ハ無柄披針狀ニシテ長サ約一尺六寸五分幅約八寸八分ニ達シ全緣ヲ爲シ中骨ニ對シ支骨ハ概ネ鋭正角ヲ爲シ葉肉稍厚ケレトモ含水量多キ爲乾燥後ハ比較的薄クナルヲ常トス

（ハ）花部　萼ハ普通鐘形ニシテ五分裂ヲ爲シ花冠ハ長漏斗狀ヲ爲シ五箇ノ裂片ヲ有シ薄紅色ヲ

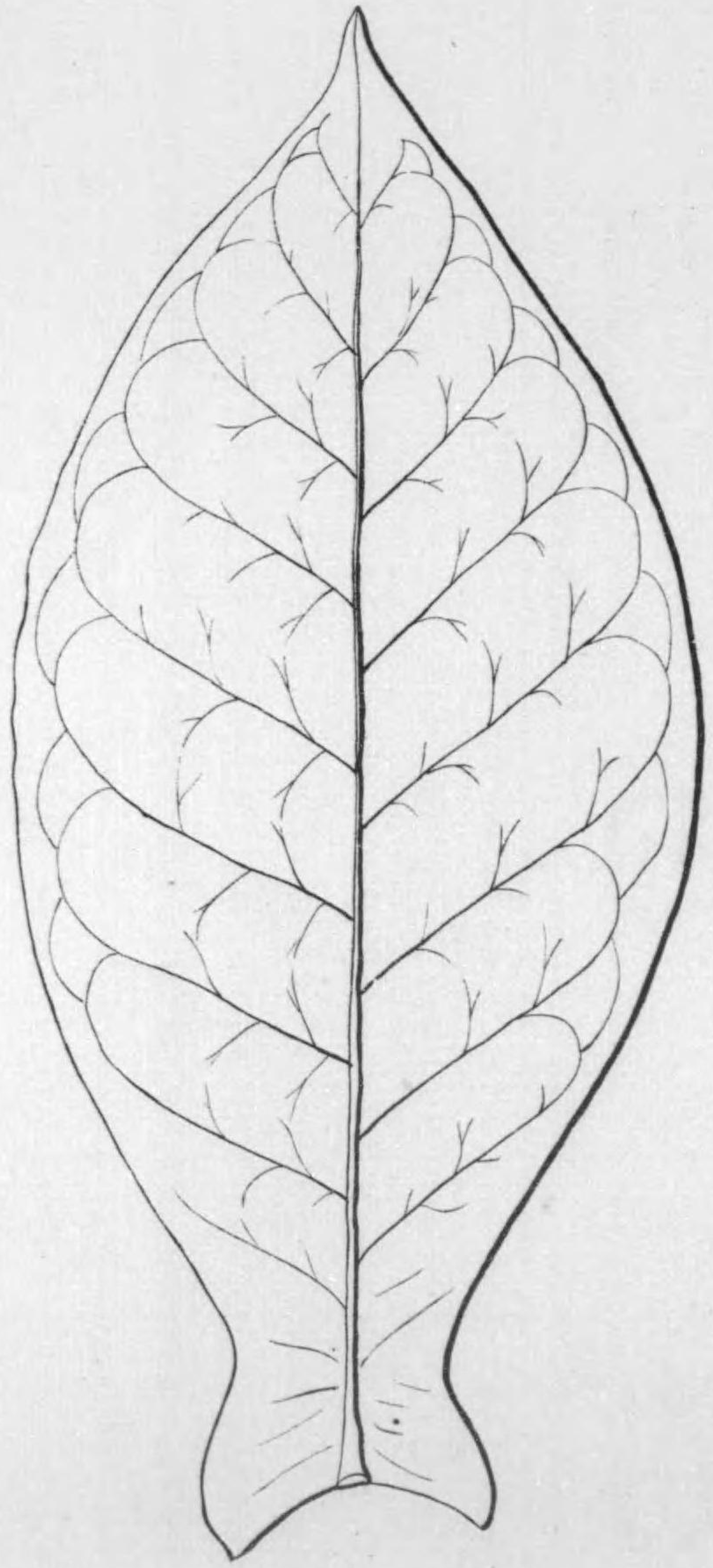
呈ス其ノ蕚ノ附著點少シク膨大シ內ニ五箇ノ雄蕊及一箇ノ雌蕊ヲ含有シ下部ニ一箇ノ子房ヲ藏ス

（二）蒴　果　普通卵圓形ニシテ長徑約八分五厘短徑約五分內部ニ二箇ノ區劃アリ



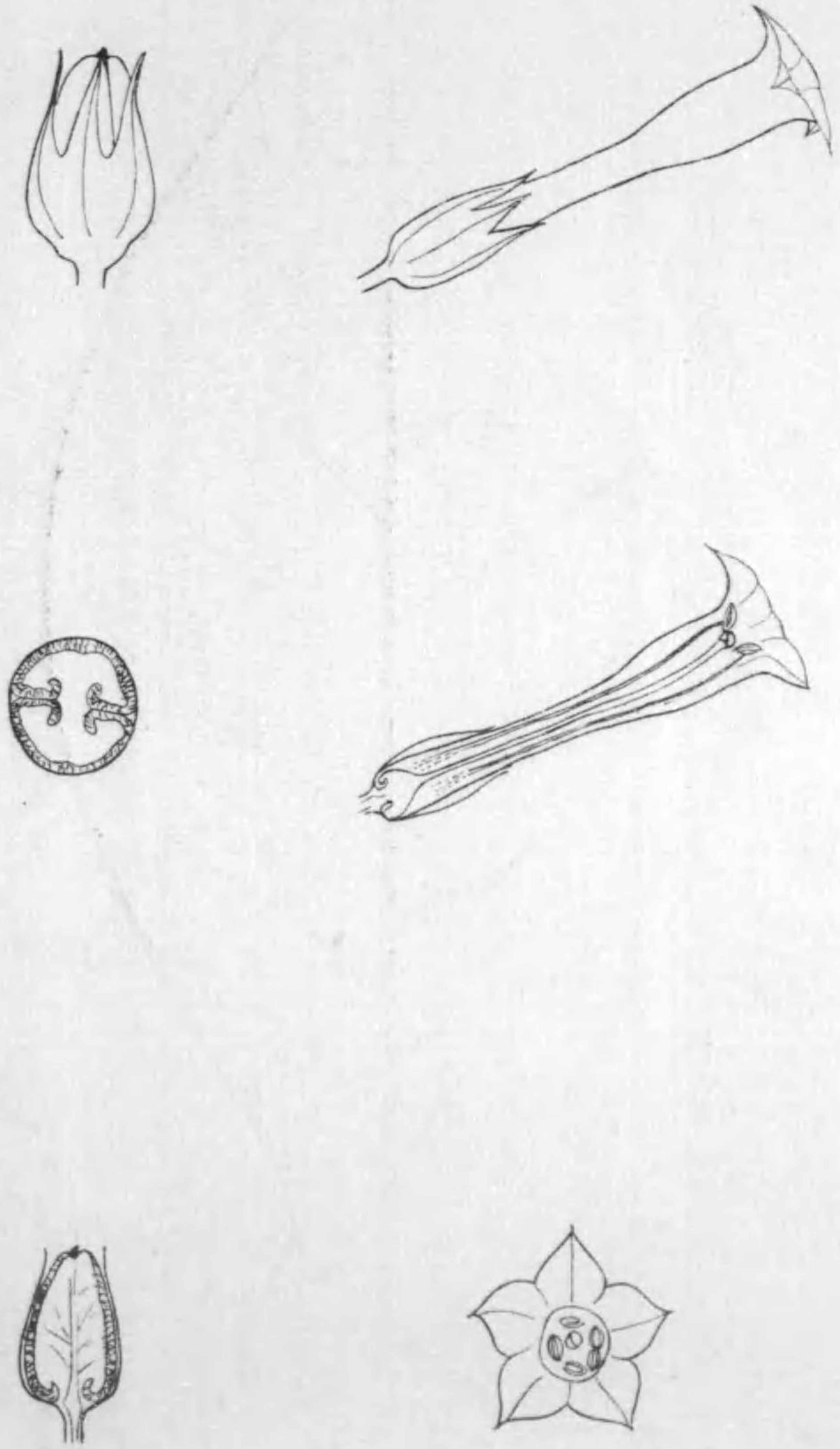
三　浦　葉

（內容種ザモンド）



三浦葉

(内容種ザモンド)



(2) 水戸專賣支局管內產

(イ) 水府葉

內容種　肩　恕（水府葉本系）

學　名　Nicotiana Tabacum Var. Petiolata

主產地　茨城縣久慈郡

起　源　當地方ニ於ケル煙草栽培ノ起源ニ付テハ口碑ノ傳フル所一ナラス或ハ慶長年間ニアリト云ヒ又一說ニハ萬治二年ノ頃ナリト傳フ然レトモ文獻ノ徵スヘキモノニ乏シク今得テ之ヲ詳悉スルニ由ナシト雖羅山文集ニ水戸羽林家ヨリ常陸ノ國赤土ニ產セル煙草ヲ林羅山ニ送リシヲ謝セル文アリ其ノ中ニ「三品羽林源君賜赤土莨蕩幾多束一筥厚荷之至謝而有餘赤土者君封國內之腴土此草良產之勝區也嘗之則尋常煙火食之所不及也」云々トアルニ徵スルニ萬治以前旣ニ赤土煙草ノ聲譽頗ル高カリシヲ知ルヘク栽培起源モ亦慶長年間ニアリシヲ眞ニ近シト爲スヲ得ヘシ然レトモ其ノ當時ハ極メテ粗惡ノ種類ノミヲ栽培シツツアリシニ偶々天保二年多賀郡川尻濱ニ琉球人漂著セルアリ其ノ喫スルトコロノ煙草極メテ芳香ニ富ミ在來ノ產ニ比スルニ喫味佳良品質卓逸ナリシヲ以テ其ノ所產ヲ問ヒ初メテ大隅國分種ナルコトヲ知レリ爾後幾何モナク薩藩吏是等漂流人引取ノ爲來藩センカ

ハ水藩吏某請フテ歸國後右國分種ノ分與ヲ約セリ藩吏歸國ノ後約ノ如ク車田、伊勢屋敷、龍王、砂走リノ四種ヲ寄贈セルニ依リ之ヲ久慈郡町屋村久ノ和田治兵衛ナル者ニ命シ試植セシム之實ニ本種類ノ起源ナルモノノ如シ

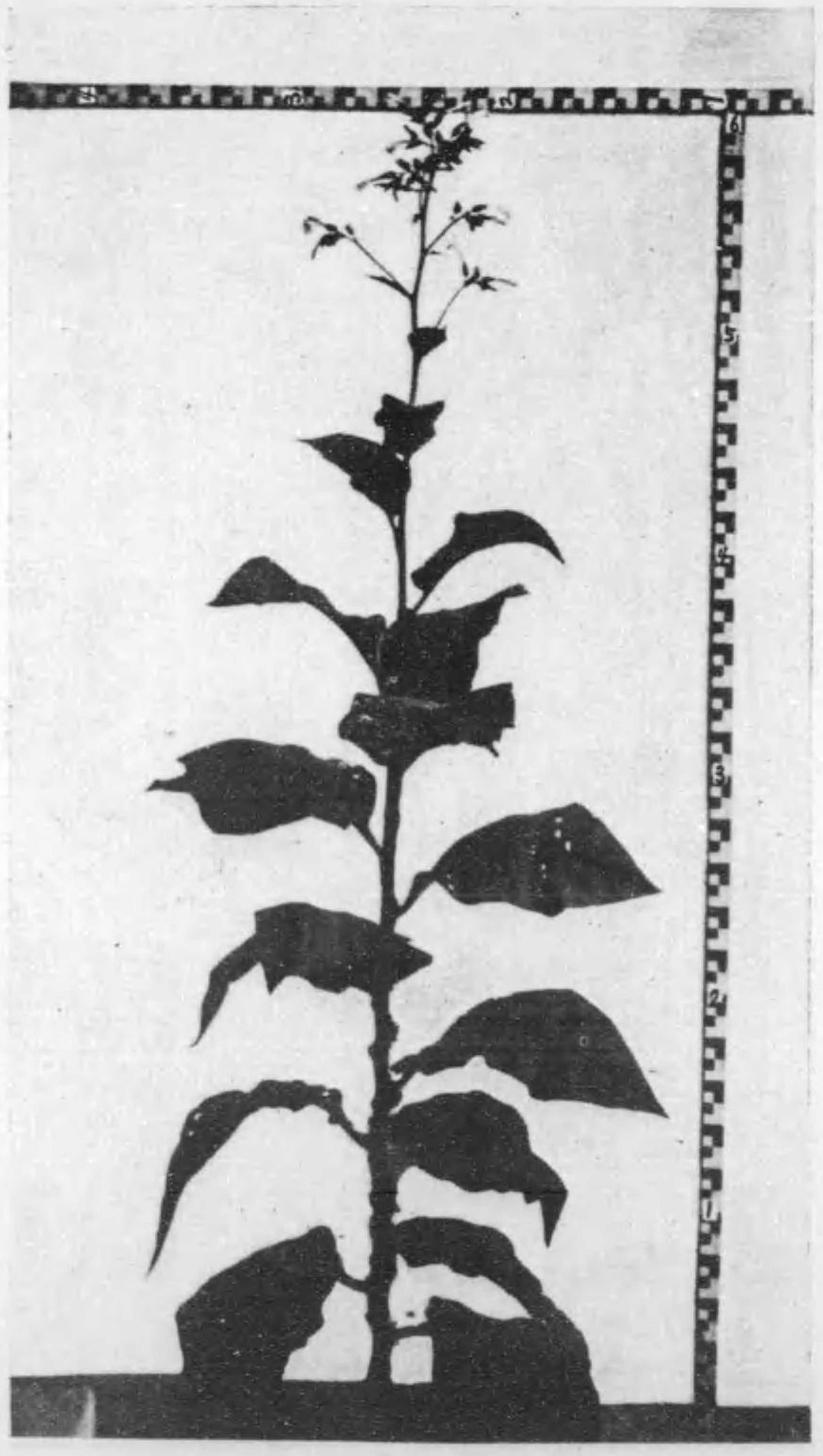
解　說

（イ）樹　勢　莖幹ハ垂直ニシテ草丈六尺內外ニ達シ葉ハ互生ニシテ平均葉間約二寸五分一株當平均十七、八枚ヲ算ス各葉殆ント正角ヲ爲シテ莖ニ附著シ葉先少シク垂下ス莖ノ上部ハ分岐シ繖形ヲ爲シ花實ヲ附著ス

（ロ）中位著葉　葉ハ約一寸五分內外ノ葉柄ヲ有シ長心臟形ニシテ肩張リ長サ平均一尺五寸幅八寸七分內外全緣ヲ爲シ中骨ニ對シ支骨一般ニ鋭正角ヲ有シ葉肉中庸ニシテ多少ノ縮皺アリ中支骨細シ

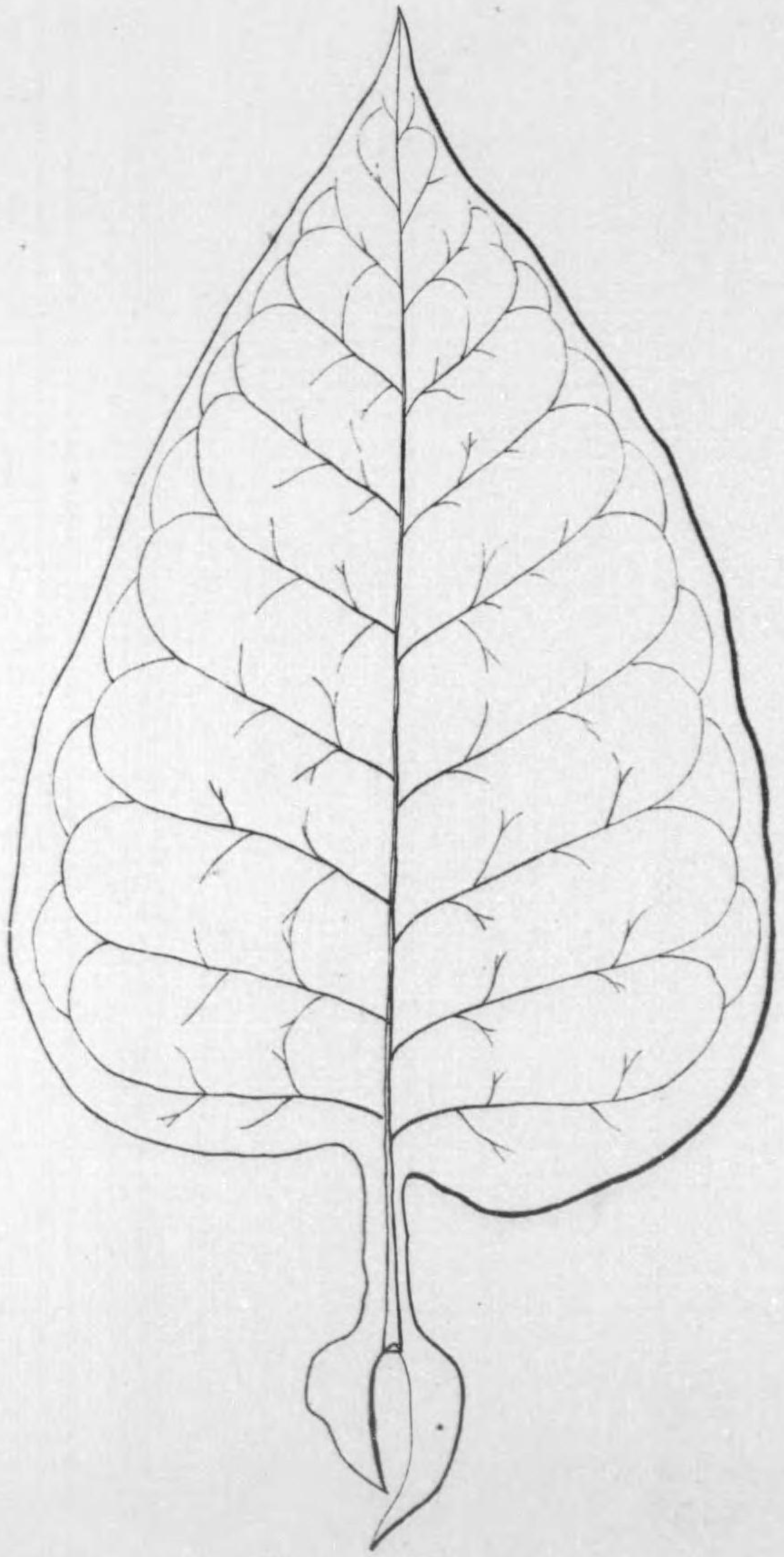
（ハ）花　部　蕚ハ鐘形ニシテ五分裂アリ花冠ハ長漏斗狀ヲ呈シ蕚ノ附著點幾分膨脹セリ五箇ノ裂片ヲ有シ淡紅色ヲ呈シ內ニ雄蕊五箇雌蕊一箇ヲ含有ス

（ニ）蒴　果　卵圓形ニシテ長徑七分短徑四分五厘內外トス內部ニ二箇ノ區劃アリ



水府葉

（內容種肩怒）



水府葉

(内容種肩怒)

(ロ) 水府葉

內容種　大葉（水府、達磨葉系）

學名　Nicotiana Tabacum Var. Pet. × Virginica

主產地　茨城縣久慈郡北部

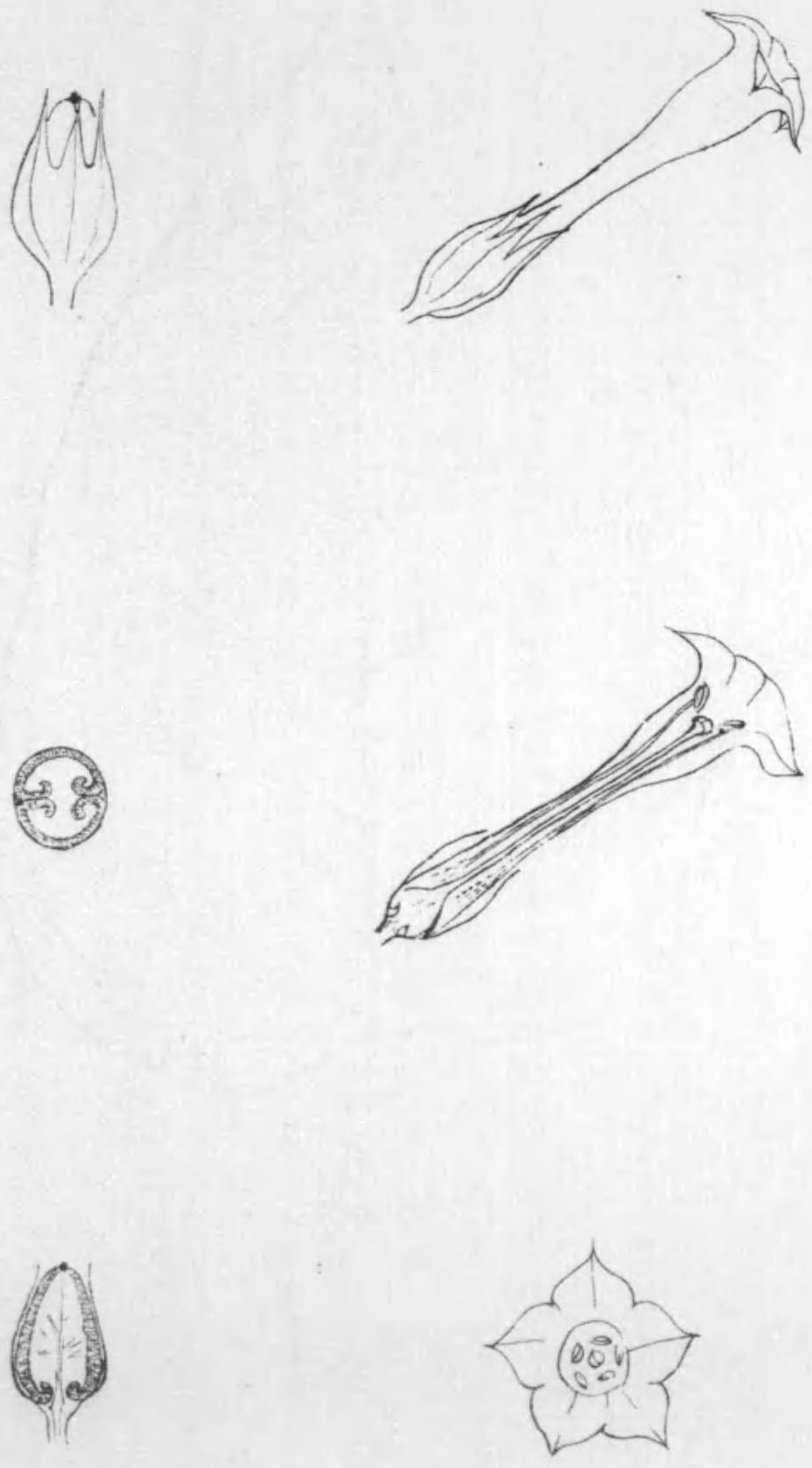
起源　古老ノ言ニ依レハ今ヲ去ル僅ニ數十年前即チ安政萬延ノ頃初メテ煙草ノ栽培ヲ試ミタルモノニシテ下野國達磨種ヨリ起リ之ニ當時併セテ耕作セル秦野種ヲ交雜セシメタルモノナルヘシ

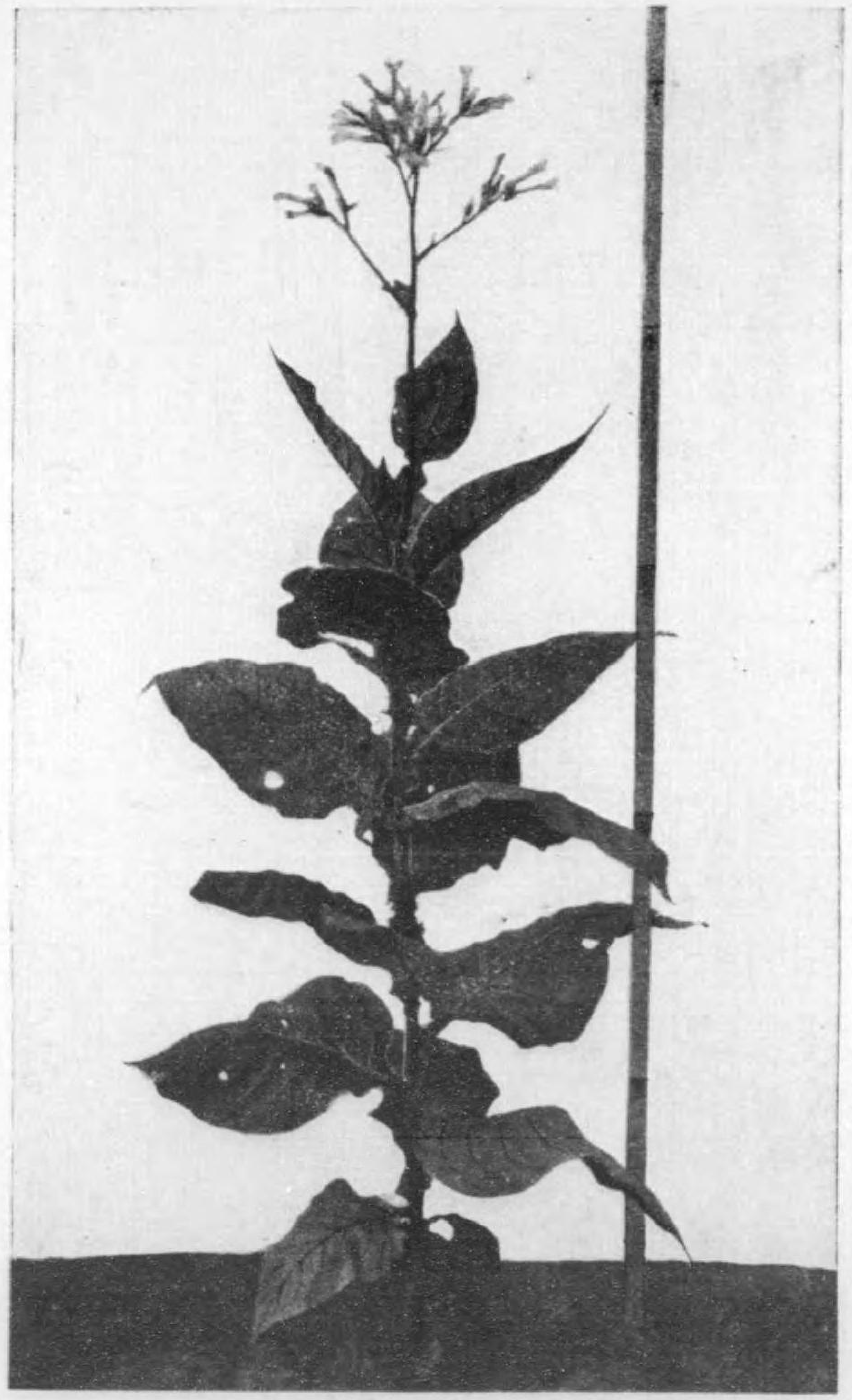
解說

（イ）樹勢　莖幹ハ垂直ニシテ多少屈曲性ヲ帶ヒ草丈五尺內外葉ハ互生ニシテ平均葉間二寸三分內外一株當リ著葉十五六枚ヲ算シ各葉殆ント正角ヲ爲シテ莖ニ附著ス成熟ニ從ヒ垂下スルコト肩怒種ニ同シ又本葉以上ハ急激ニ葉形小變ス莖ノ上部分岐シテ纖形ヲ爲シ花實ヲ附著ス

（ロ）中位著葉　葉ハ慥ニ有柄ナレトモ又無柄ノ觀ヲ呈ス葉形ハ大體長心臟形ヲ呈スレトモ葉脚狹シ長サ約一尺四寸三分幅約七寸三分全緣ヲ爲シ中骨ニ對シ支骨一般ニ鋭正角ヲ爲シ葉肉稍厚ク多少ノ皺縮ヲ有ス中支骨稍太シ

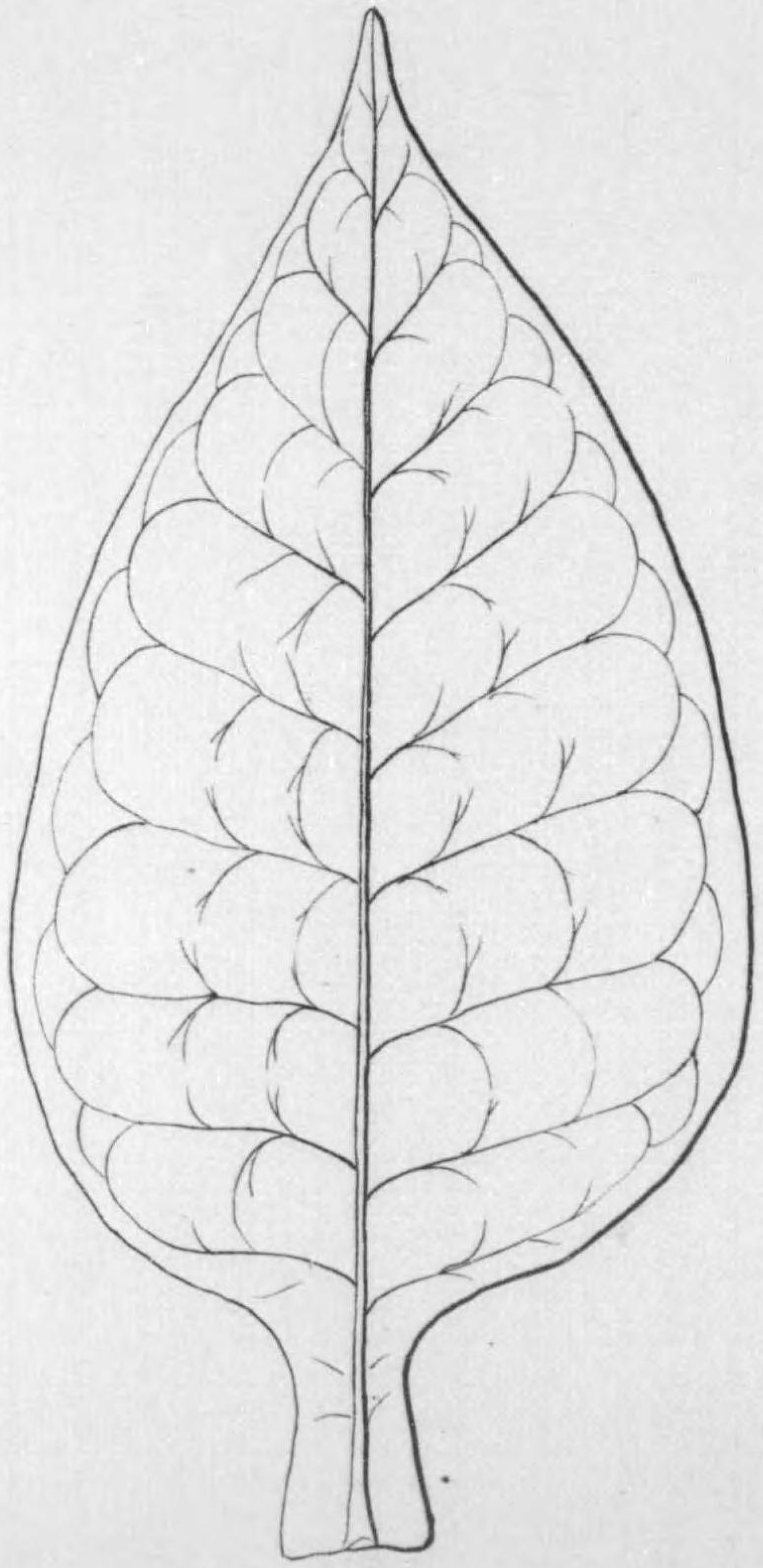
（ハ）花部　肩怒種ニ同シ





水　府　葉
（內容種大葉）

(ニ)　蒴　果　普通卵圓形ニシテ長徑六分五厘短徑四分內外、內部ニ二箇ノ區劃アリ



水府葉

（内容種大葉）

(ハ) 達磨葉

内容種　中達磨（達磨葉本系）

學名　Nicotiana Tabacum Var. Virginica

主産地　茨城縣東茨城郡、那珂郡

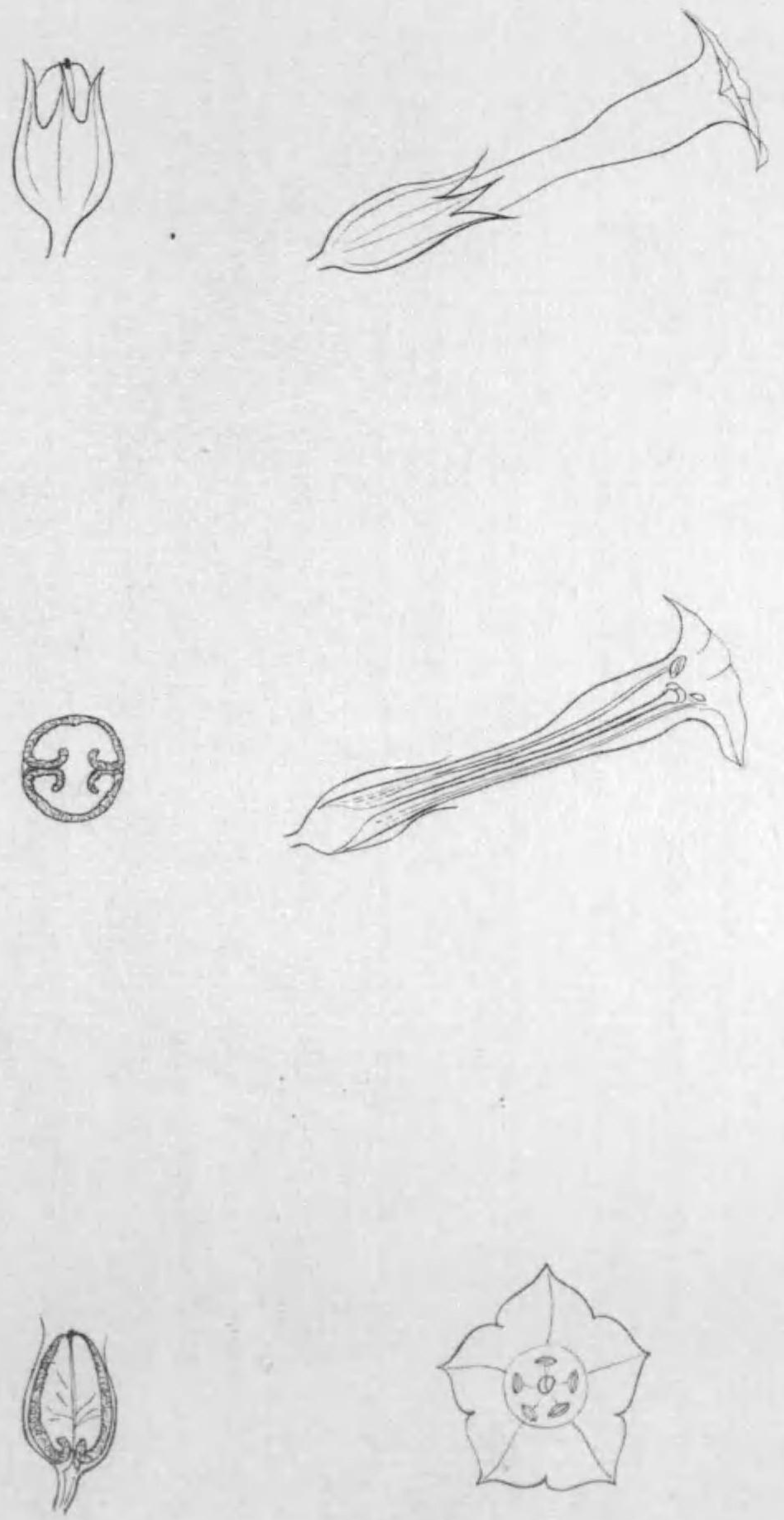
起源　口碑ノ傳フル所ニ依レハ萬延文久ノ頃那珂郡西部即チ現今ノ鹽田、八里兩村等ニ於テ下野國ヨリ種子ヲ移入シ栽培セルヲ本種ノ當産地起源トスルモノノ如シ

解説

（イ）樹勢　莖幹ハ垂直ニシテ草丈五尺七寸ヨリ六尺ニ達シ中央部ニ於テ幹周二寸五分葉ハ互生ニシテ平均葉間約二寸三分著葉一株當リ十七、八枚ヲ算ス著葉角度及成熟ニ伴フ垂下ノ程度ハ水府種ニ比シ幾分大ナリ莖ノ上部ハ分岐シ繖形ヲ爲シテ花實ヲ附著ス

（ロ）中位著葉　葉ハ無柄ニシテ托葉著シク發達シ葉形尖楕圓形ヲ呈シ中腹迄比較的廣キモ肩張リ少ク中腹ヨリ葉先マテ次第ニ細ク先端稍尖リ長サ一尺七寸ヨリ一尺九寸ニ達シ幅九寸ヨリ一尺ニ及フ全縁ニテ中骨ニ對シ支骨一般ニ鋭正角ヲ爲シ葉肉概シテ厚ク多少ノ皺縮アリ中支骨太シ

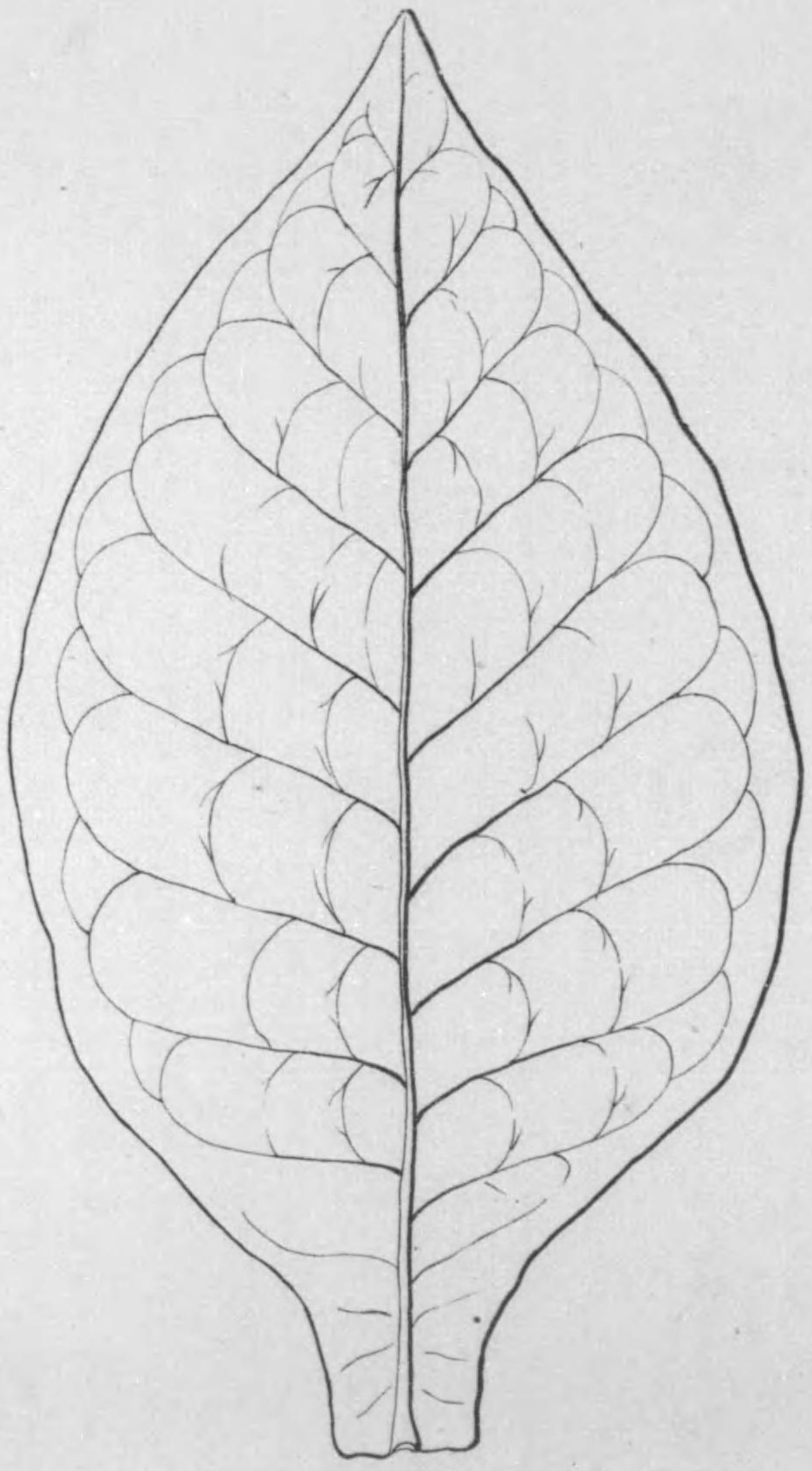
（ハ）花部　萼ハ普通鐘狀ニシテ五分裂ノ萼片アリ花冠ハ長漏斗狀ヲ呈シ萼ノ附著點幾分膨脹セリ五箇ノ裂片ヲ有シ淡紅色ニシテ内ニ雄蕊五箇雌蕊一箇ヲ含有ス概シテ水府種ヨリ幾分大ナリ雄雌



達磨葉
（内容種中達磨）

蕊ノ狀態ハ水府種ト同様ナリ

（ニ）蒴　果　普通卵圓形ニシテ長徑約七分短徑約五分内外内部ニ二箇ノ區劃アリ



達磨葉

(内容種中達磨)

(3) 茂木宇都宮兩專賣支局管內產

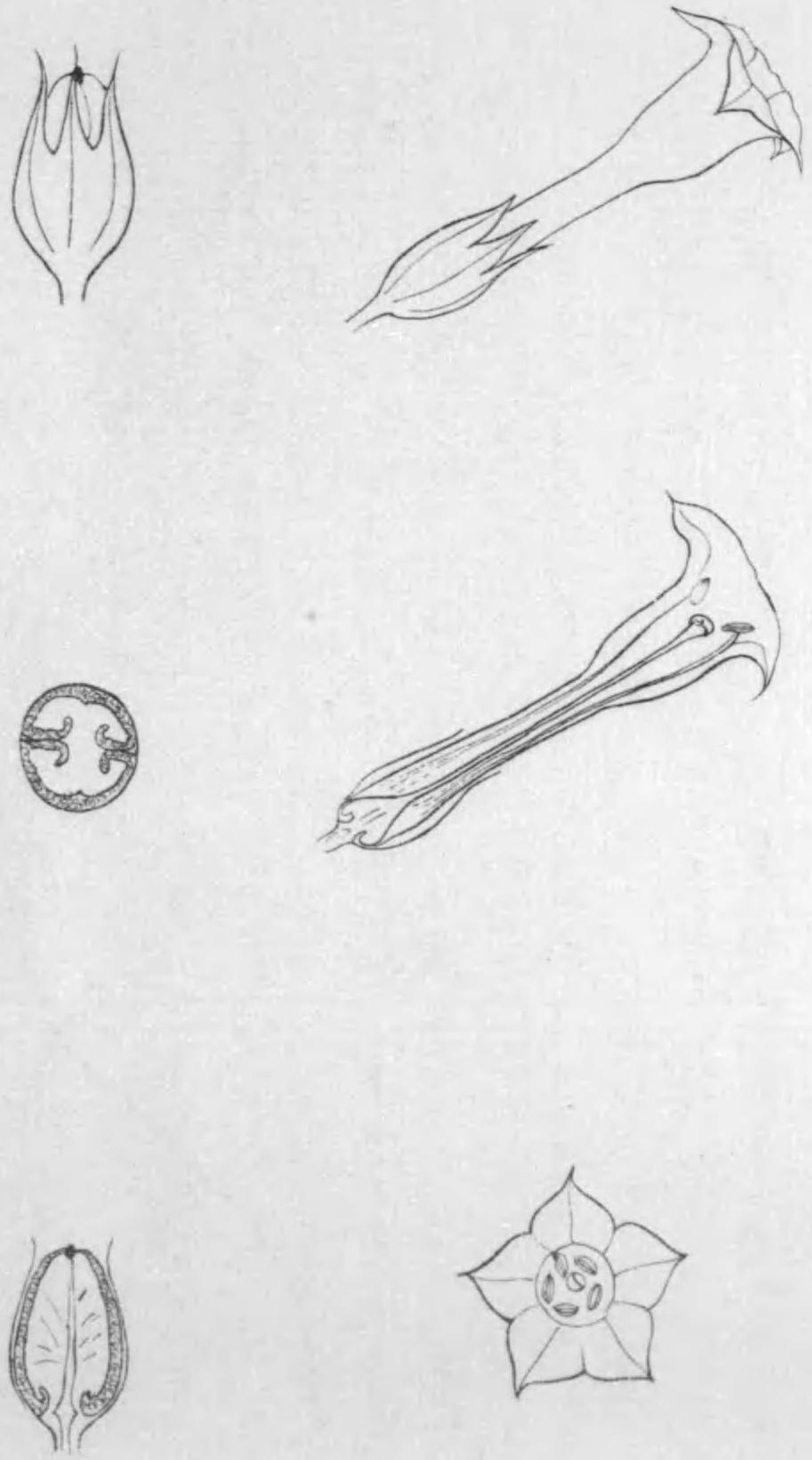
(イ) 達磨葉

内容種　大達磨（達磨葉本系）

學名　Nicotiana Tabacum Var. Virginica

主產地　栃木縣芳賀郡、那須郡、鹽谷郡

起源　何等記錄ノ徵スヘキモノナシト雖口碑ノ傳フル所ニ依レハ元和二年馬頭香林寺住職相阿和尚ナル者アリ上州綠野郡山名鄉ノ光臺寺境內ニ試植セシ上州館葉ノ種子ヲ携ヘ來リ香林寺地內字中畑ヘ移植セシニ地味頗ル適當シ其ノ香味佳良ニシテ寺中煙草ノ名漸ク世ニ顯ハレ寬永十二年德川三代將軍家光公全國有名ノ產物ヲ取調アリシトキ該煙草ヲ出品シ高評ヲ得爾後益寺中煙草ノ名四方ニ傳ハリ遂ニ近隣爭フテ之ヲ栽培スルニ至レリト之蓋シ本縣煙草耕作ノ濫觴ナルヘシ幕政ノ頃大山田鄉ノ附近ハ舊水戶領ニ屬シ藩主意ヲ拓殖ニ用ヰ開墾ヲ勸メ此所ニ煙草ヲ植エシメタリシハ眞ニ近カルヘク蓋シ寺中煙草ノ栽培後四十年計リヲ經タルモノノ如シ（寺中煙草ト同一種類ナルヘシ）後天和年間大山田產煙草若干ヲ領主ニ献セシニ頗ル賞讃ヲ得爾後御前煙草ト稱シ領主ニ買ヒ上ケラルル慣例トナリ其ノ名聲高ク何時カ寺中煙草ノ名ハ世人ニ忘レラルルニ至リ獨リ大山田煙草ノ名ノミ殘ルコトトナレリ而シテ土地自然ノ恰適ハ水藩ノ保護ト相俟テ耕作漸ク盛ニ產地益擴張シ獨リ水



戶領大山田附近ニ止マラス西ハ那珂川ヲ越ヘ大田原地方ニ及ヒ南ハ芳賀郡茂木地方ニ亘リ其ノ產葉ノ需要地モ擴張シ遂ニ現今ノ如キ大產地ヲ形成スルニ至レリ

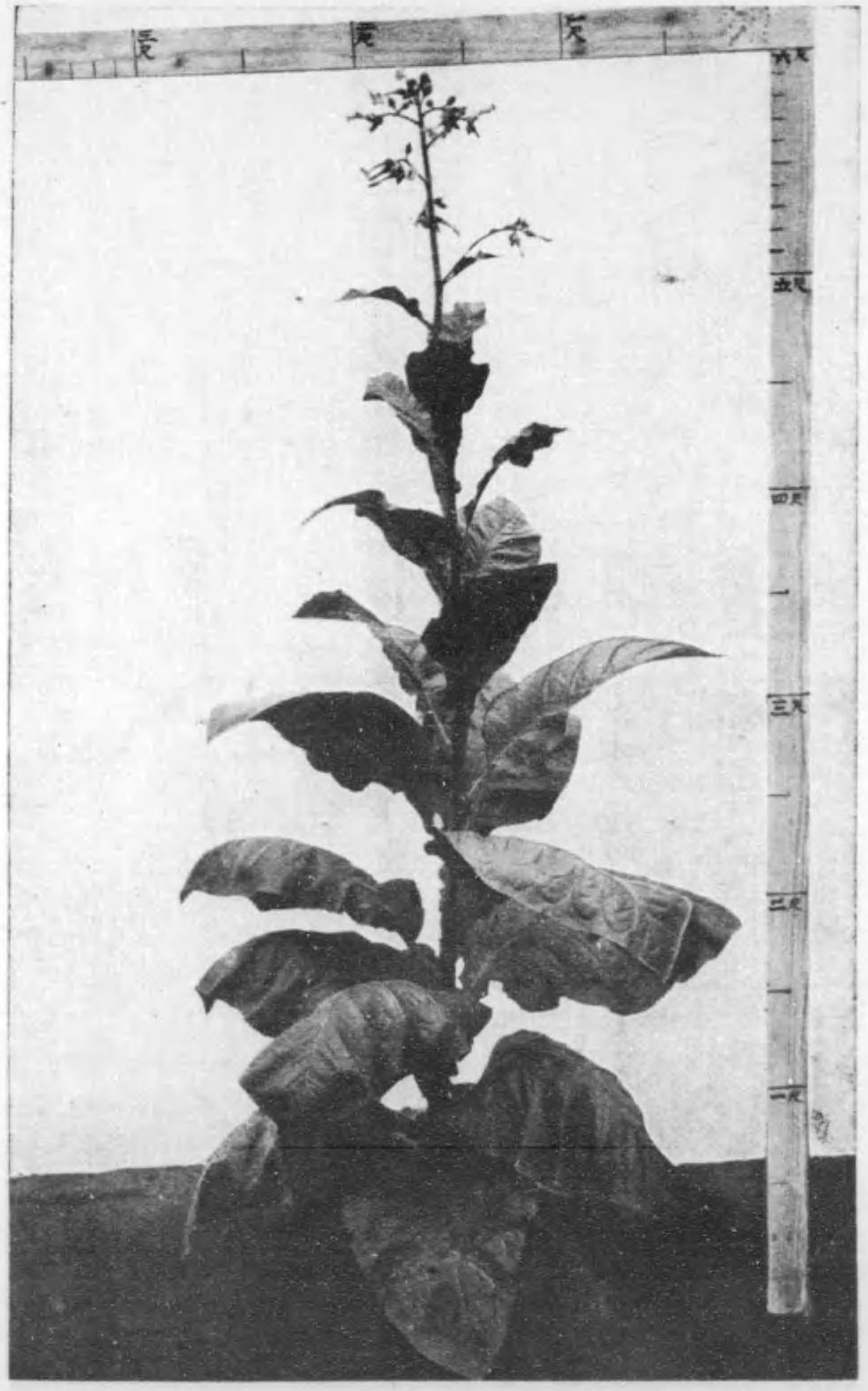
解　說

（イ）樹　勢　莖幹ハ多少屈曲性ヲ帶フルモ略垂直ニ伸張スルヲ普通トス幹長凡ソ六尺ニ達シ莖ノ上部ハ普通七箇ニ分岐シ繖形ヲ爲シテ花實ヲ附著ス葉ハ互生ニシテ托葉ヲ有シ殆ント正角ヲ爲シテ莖ニ附著シ其ノ數約二十枚ヲ算ス莖ノ下部ヨリ中央部迄ハ著葉距離密ニシテ上部ニ至ルニ從ヒテ稍粗ナリ平均葉間約二寸五分葉尖ハ垂下シ成熟スルニ從ヒ其ノ度ヲ增ス根ハ繁生シ强固ニシテ分枝少ク殆ント同大ノ纖根ヲ有ス生育比較的速ニシテ成熟中庸ニ又病害ノ抵抗力弱シ

（ロ）中位著葉　葉ハ長楕圓形ニシテ長徑約一尺八寸幅約一尺一寸ニ達ス葉脚漸次狹窄シテ幹ニ及ヒ托葉ニ連リテ葉柄ヲ缺キ葉身ト托葉トハ其ノ境界分明ナラス托葉著シク發達シ葉先尖リ葉肉概シテ厚ク中支骨太ク支脈鋭正角ナリ

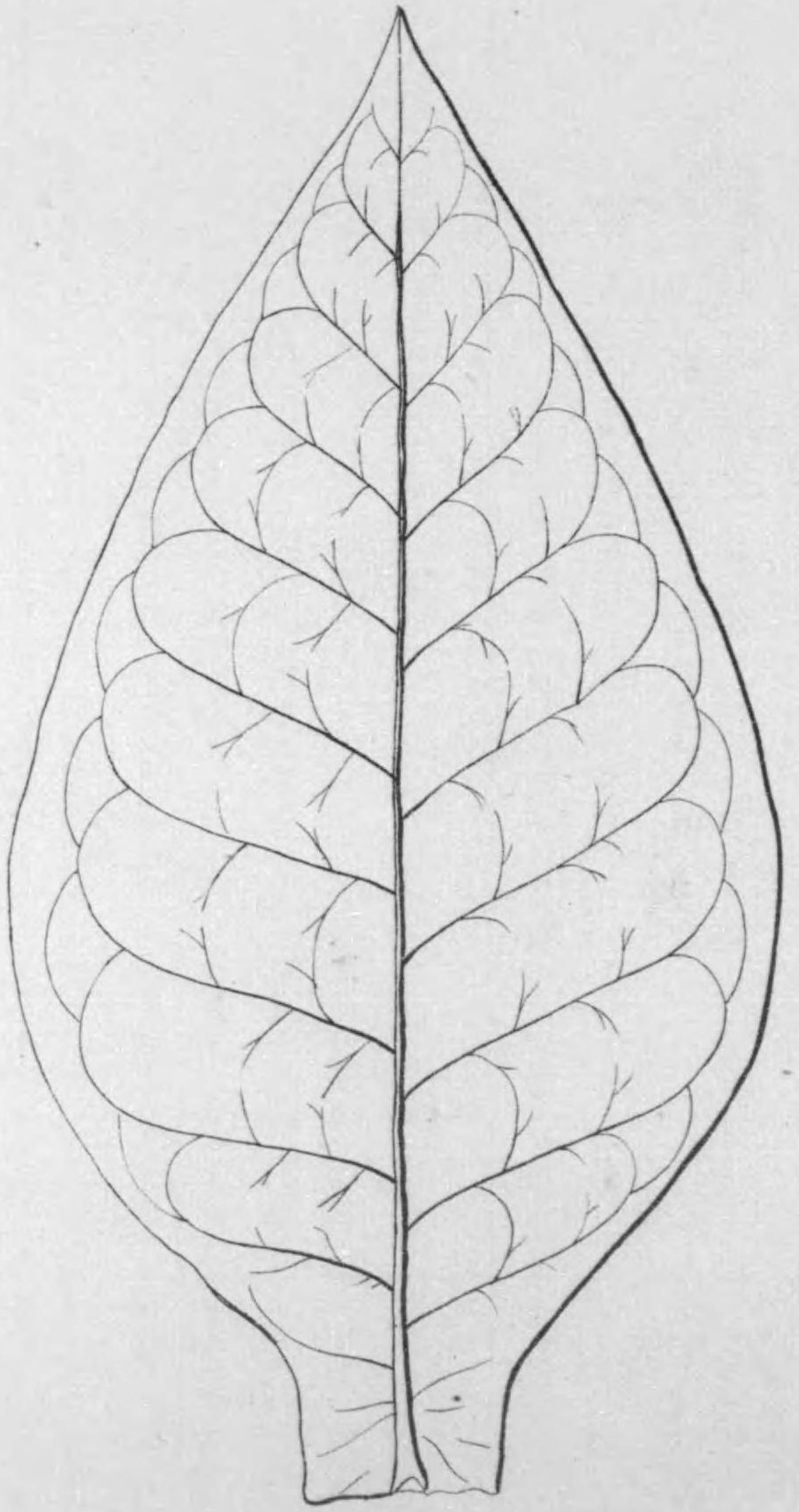
（ハ）花　部　花ハ樹梢ニ生シ萼ハ鐘形ニシテ尖端五箇ニ分岐シ長徑約六分幅約四分綠色ニシテ多クノ毛茸ヲ生シ花冠ハ長漏斗狀ヲ爲シ長サ約一寸七分ニシテ五箇ノ裂片アリ花口ハ直徑約七分ニシテ薄紅色ヲ呈シ約一寸四分五厘ノ雄蕊五箇ト約一寸五分ノ雌蕊一箇トヲ有ス

（ニ）蒴　果　卵圓形ニシテ長徑約七分短徑四分五厘內部ニ二箇ノ區劃アリ



達　磨　葉

（內容種大達磨）



達磨葉

(内容種大達磨)

(4) 高崎專賣支局管內產

(イ) 蓮華葉

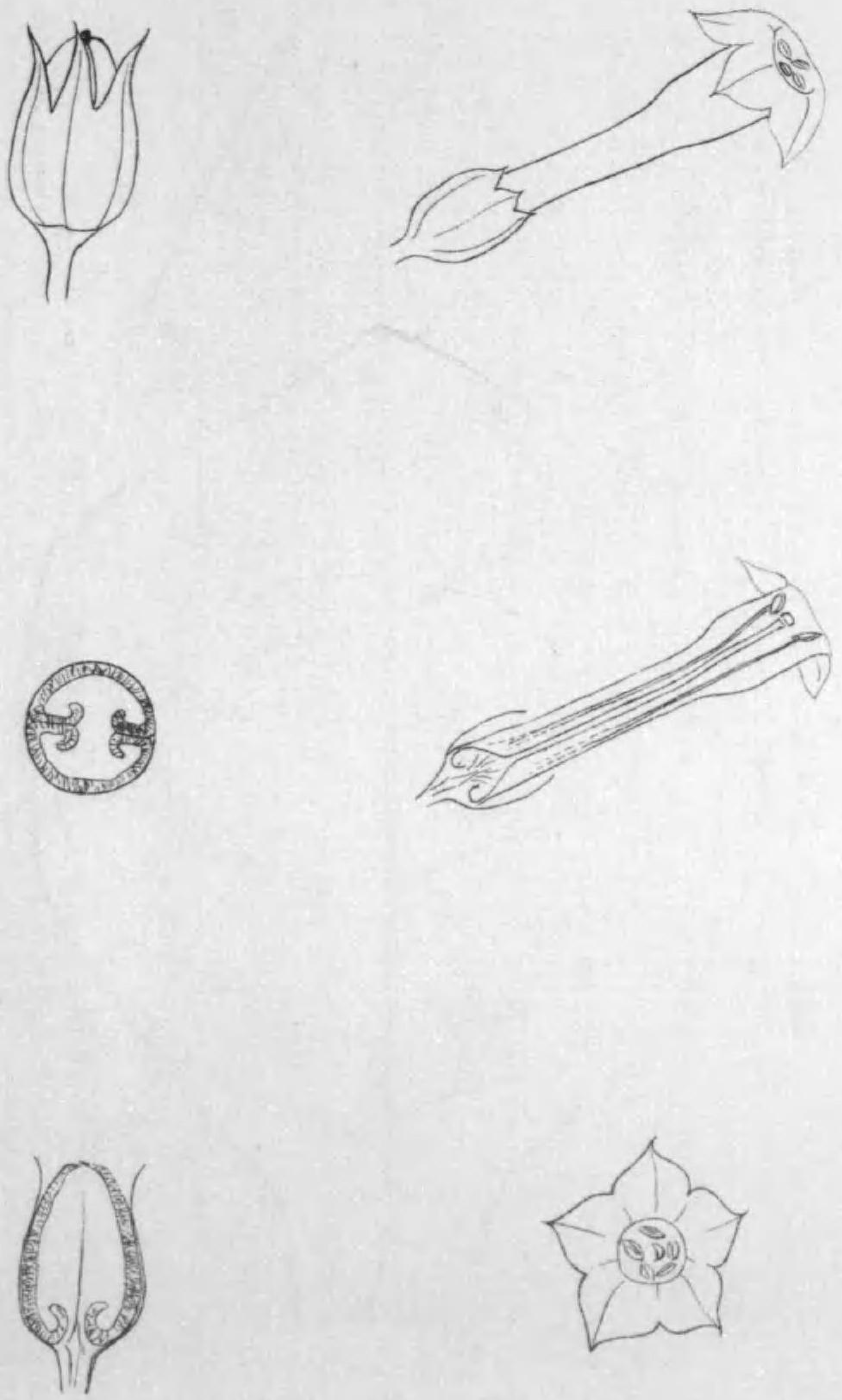
內容種　白花蓮華（達磨葉系）

學名　Nicotiana Tabacum Var. Virginica

主產地　群馬縣多野郡　埼玉縣秩父郡

起源　口碑ノ傳フル所ニ依レハ文祿ノ頃佐藤治部少輔ノ子孫何レヨリカ煙草種子ヲ携ヘ來タリ群馬郡片岡村大字寺尾館ノ臺ニテ栽培ヲ試ミタルカ當地方ニ於ケル煙草耕作ノ濫觴ナルカ如シ當時之ヲ上州館葉ト稱シ品質極メテ良好ナリシヲ以テ一時ハ薩摩ノ國分種ト併稱セラルルニ至リシモ如何セン收量ノ甚少キ缺點アリシニ偶々多野郡入野村字比良村ニ馬夫ヲ業トシ常ニ武州下仁田間ヲ往來セシ貞吉ト稱スルモノアリ天保ノ頃何レヨリカ煙草ノ種子ヲ持チ來リ同村內ノ一老農高橋房五郎ニ其ノ種子ヲ分與シ共ニ試作ヲ爲セシニ品質ハ上州館葉ニ劣ルモ其ノ收量遙ニ多ク一般耕作者ノ意嚮ニ投セシカハ漸次其ノ勢ヲ增シ遂ニ全ク舊館葉種ヲ驅逐スルニ至レリ之現時ニ於ケル蓮華葉ナリ

解説



（イ）樹勢　莖幹ハ根際ニ於テ多少ノ屈曲性ヲ帶フルモ大體ニ於テ垂直ニシテ草丈凡ソ五尺五寸ニ達シ葉ハ互生ニシテ平均葉間約二寸著葉普通二十一枚ヲ算シ正角ヲ爲シテ莖ニ附著シ葉先稍垂下ス莖ノ上部ハ分岐シテ繖形ヲ爲シ花實ヲ附著ス

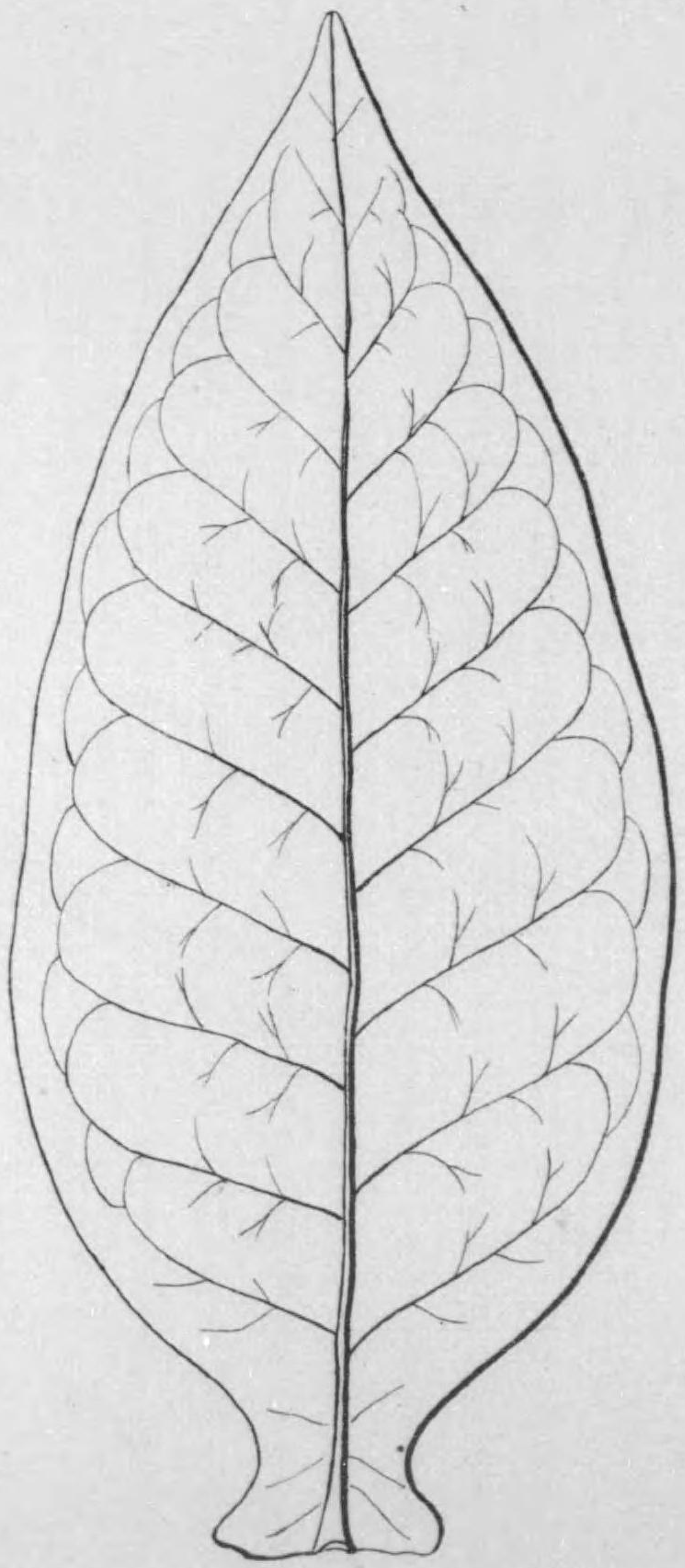
（ロ）中位著葉　葉ハ無柄ニシテ尖楕圓形ヲ呈シ長サ一尺四寸幅六寸五分內外ニ達シ全緣ヲ爲シ支骨ハ中骨ニ對シ銳正角ヲ爲ス葉肉概シテ中庸ナリ

（ハ）花部　蕚ハ普通鐘形ニシテ五分裂アリ花冠ハ長漏斗狀ニシテ五箇ノ裂片ヲ有シ薄紅色ヲ呈シ內ニ雄蕊五箇雌蕊一箇ヲ含有ス

（ニ）蒴果　普通卵圓形ニシテ長徑約七分短徑約四分二厘內部ニ二箇ノ區劃ヲ有ス

蓮華ノ葉

（内容種白花蓮華）



蓮華葉

(内容種白花蓮華)

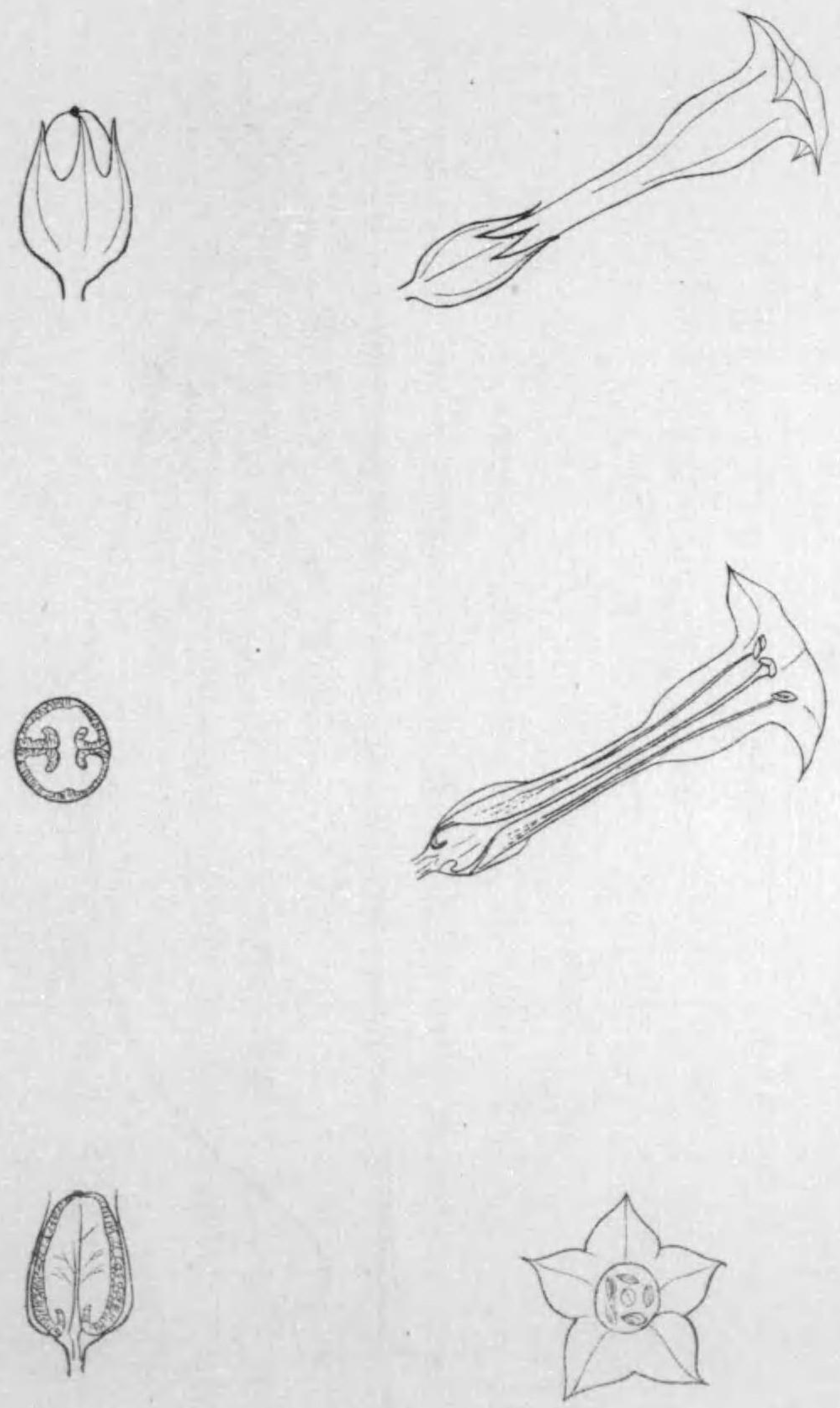
（ロ）薄　葉

内容種　柳　　葉（達磨、水府葉系）

學　名　Nicotiana Tabacum Var. Virg. × Petiolata

主産地　新潟縣中頸城郡

起　源　口碑ノ傳フル所ニ依レハ萬治二年大鹿村農五郎右衛門ナル者長崎地方ヨリ煙草種子ヲ移入シ自家用トシテ栽培セルヲ當產地ニ於ケル煙草耕作ノ嚆矢トス其ノ後寛永年間花房村農源右衛門ナル者出羽國秦倉煙草ノ好評アルヲ聞キ其ノ種子ヲ齎シ耕作法等總テ彼ニ倣ヒ耕作シタルニ品質良好ニシテ一時花房煙草ト唱ヘ舊來煙草ニ拮抗スルノ產品タリシモ當時一般ノ需用ハ舊來煙草ノ風味ニ慣レ喫味强烈ニシテ栗皮色ヲ賞讃セルヲ以テ花房煙草ノ香味緩和ナルモノハ當時ノ嗜好ニ適セス從テ價格產額トモ遠ク舊來煙草ニ及ハサリシカ漸次嗜好ハ變遷シ喫味緩和ナルモノヲ賞味スルニ至リ花房煙草ハ漸ク勢力ヲ增シ明治二十年頃ニ至リ既ニ其ノ段別在來煙草ノ數倍ニ達シ昔日トハ其ノ地位ヲ代フルニ至レリ又當時他ノ地方ヨリ二三ノ異種類ヲモ移入セルモノアリ耕種頗ル複雜セシカ專賣法施行以來地味ノ適否ト自然陶汰トノ關係ヨリ再ヒ在來種ト花房種トノミ存在スルコトトナリ後更ニ種類整理ノ結果遂ニ全ク花房煙草ノ一種ニ統一セラレタリ之現今ニ於ケル薄葉ナリト云フ然レトモ熟々之カ葉形ヲ案スルニ現時廣ク栽培セラルル本種ハ其ノ決シテ純血種ニ非サルコトハ



毫モ疑ヲ容ルル餘地ナク想フニ永年耕作ノ結果達磨葉系タリシ在來種ト水府葉系タリシ花房種トノ交雜ニ依リ成レル新混生種タルヘシ

解　說

（イ）樹　勢　莖幹ハ垂直ニシテ草丈凡ソ六尺三寸ニ達シ葉ハ互生ニシテ平均葉間ハ一寸八分位著葉凡ソ二十四枚ヲ算シ正角ヲ爲シ莖ニ附著シ莖ノ上部ハ分岐シ繖形ヲ爲シテ花實ヲ附著ス

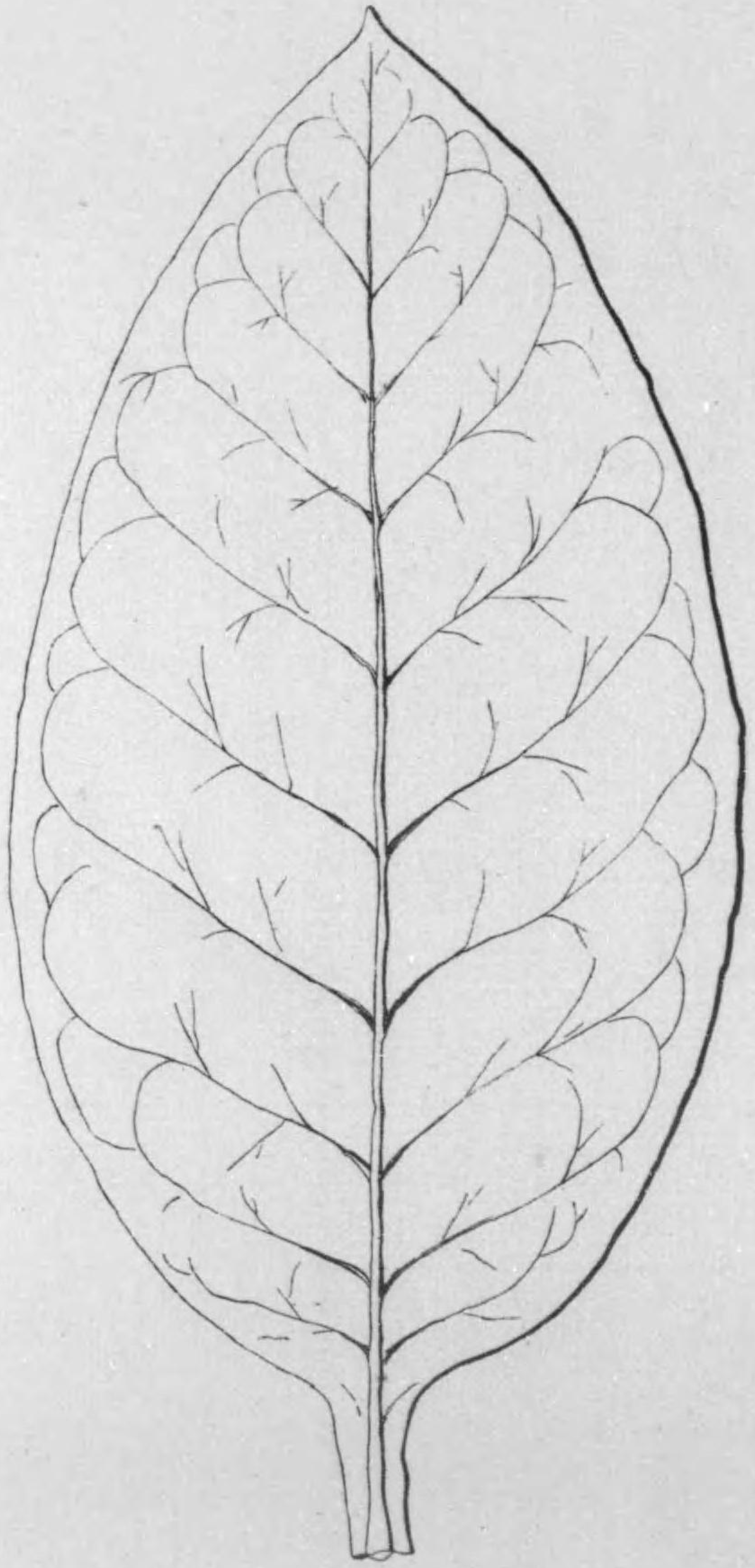
（ロ）中位著葉　葉ハ無柄ナレトモ一見有柄葉ノ觀ヲ呈シ長楕圓形ニシテ長サ約一尺七寸五分幅約八寸九分ニ達シ全縁ヲ爲シ中骨ニ對シ支骨ハ鋭正角ヲ爲シ葉肉稍薄シ

（ハ）花　部　蕚ハ普通鐘形ニシテ五分裂アリ花冠ハ長漏斗狀ヲ呈シ蕚ノ附著點膨大シ花瓣ノ縁邊ハ五箇ニ分裂シテ薄紅色ヲ呈シ内ニハ五箇ノ雄蕊ト一箇ノ太キ雌蕊ヲ含有ス

（ニ）蒴　果　普通卵圓形ニシテ長徑約六分短徑約四分蒴ノ内部ハ二箇ノ區劃ヲ爲シ多數ノ種粒ヲ包含ス

薄　葉

（内容種柳葉）



薄葉

(內容種柳葉)

（ハ）赤塚葉

內容種　松山江戸（水府葉系）

學名　Nicotiana Tabacum Var. Petiolata

主產地　新潟縣西蒲原郡

起源　不調

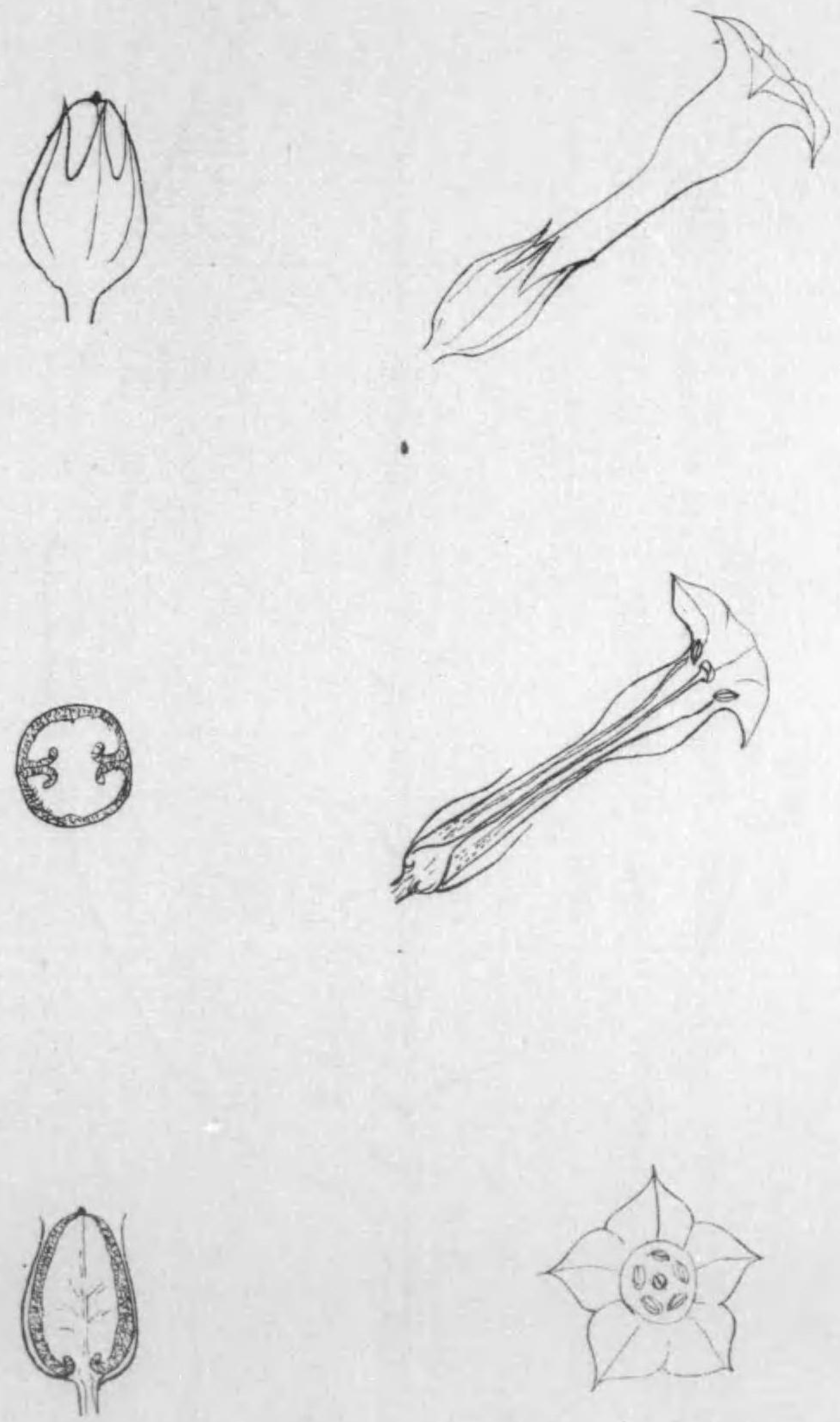
解說

（イ）樹勢　莖幹ハ垂直ニシテ草丈凡ソ六尺三寸ニ達シ葉ハ互生ニシテ平均葉間約二寸一分葉數二十一枚ヲ算シ正角ヲ爲シテ莖ニ附著シ葉先稍垂下ス莖ノ上部ハ分岐シ繖形ヲ爲シテ數多ノ果實ヲ附著ス

（ロ）中位著葉　葉ハ短キ葉柄ヲ有シ概シテ長心臟形ヲ呈シ長サ約一尺四寸幅約八寸ニ達シ全緣ヲ爲シ中骨ニ對シ支骨一般ニ鋭正角ヲ爲シ葉肉稍厚シ

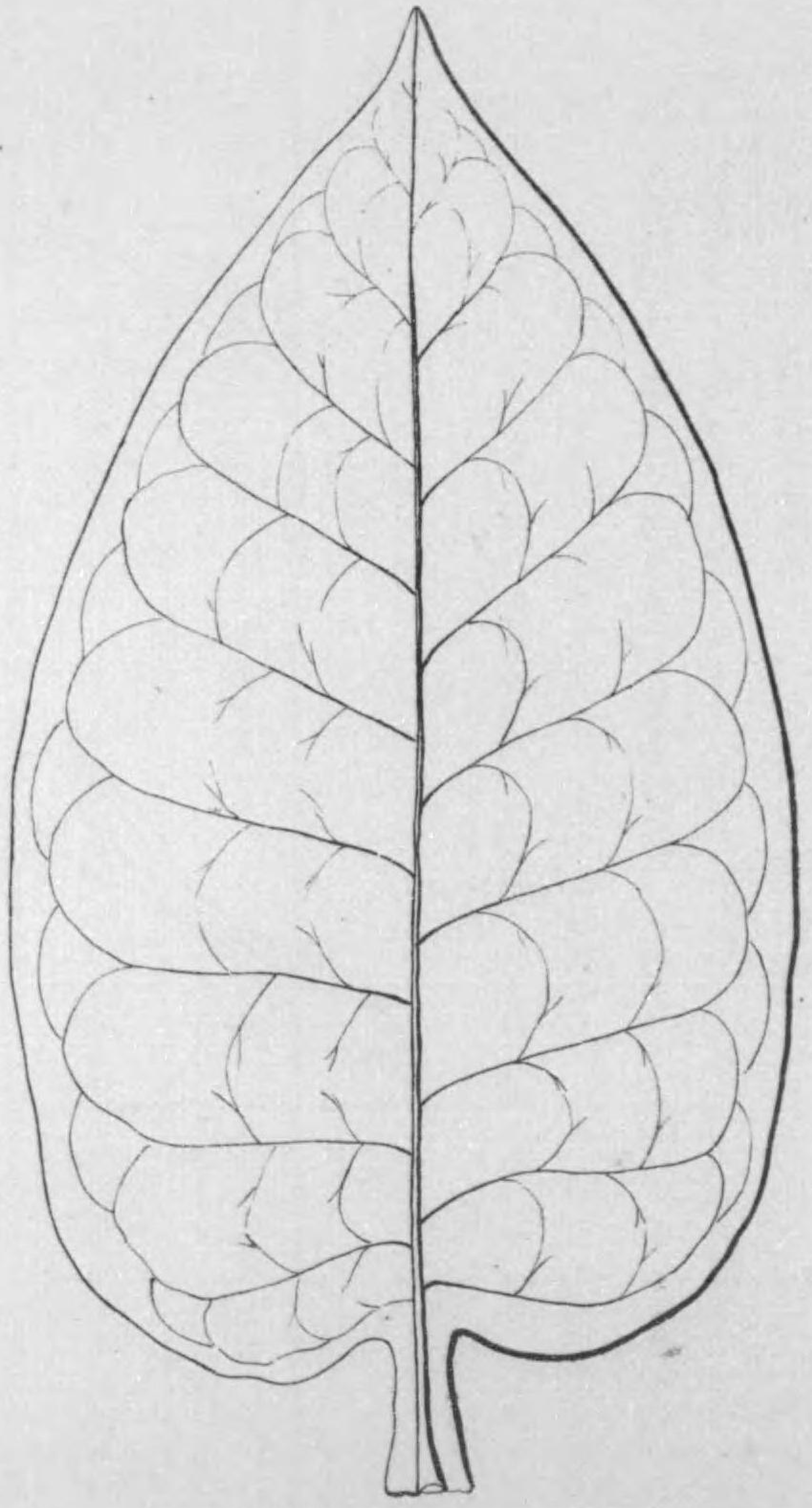
（ハ）花部　萼ハ普通鐘形ニシテ五分裂アリ花冠ハ長漏斗狀ヲ呈シ五箇ノ裂片ヲ有シ頂部薄紅色ヲ呈シ內ニ雄蕊五箇雌蕊一箇ヲ含有ス

（ニ）蒴果　普通卵圓形ニシテ長徑約七分三厘短徑約三分八厘內部ニ二箇ノ區劃ヲ有ス



赤塚葉

（内容種松山江戸）



赤塚葉

(内客種松山江戸)

(二) 生坂葉

內容種　肩　怒（水府葉系）

學名　Nicotiana Tabacum Var. Petiolata

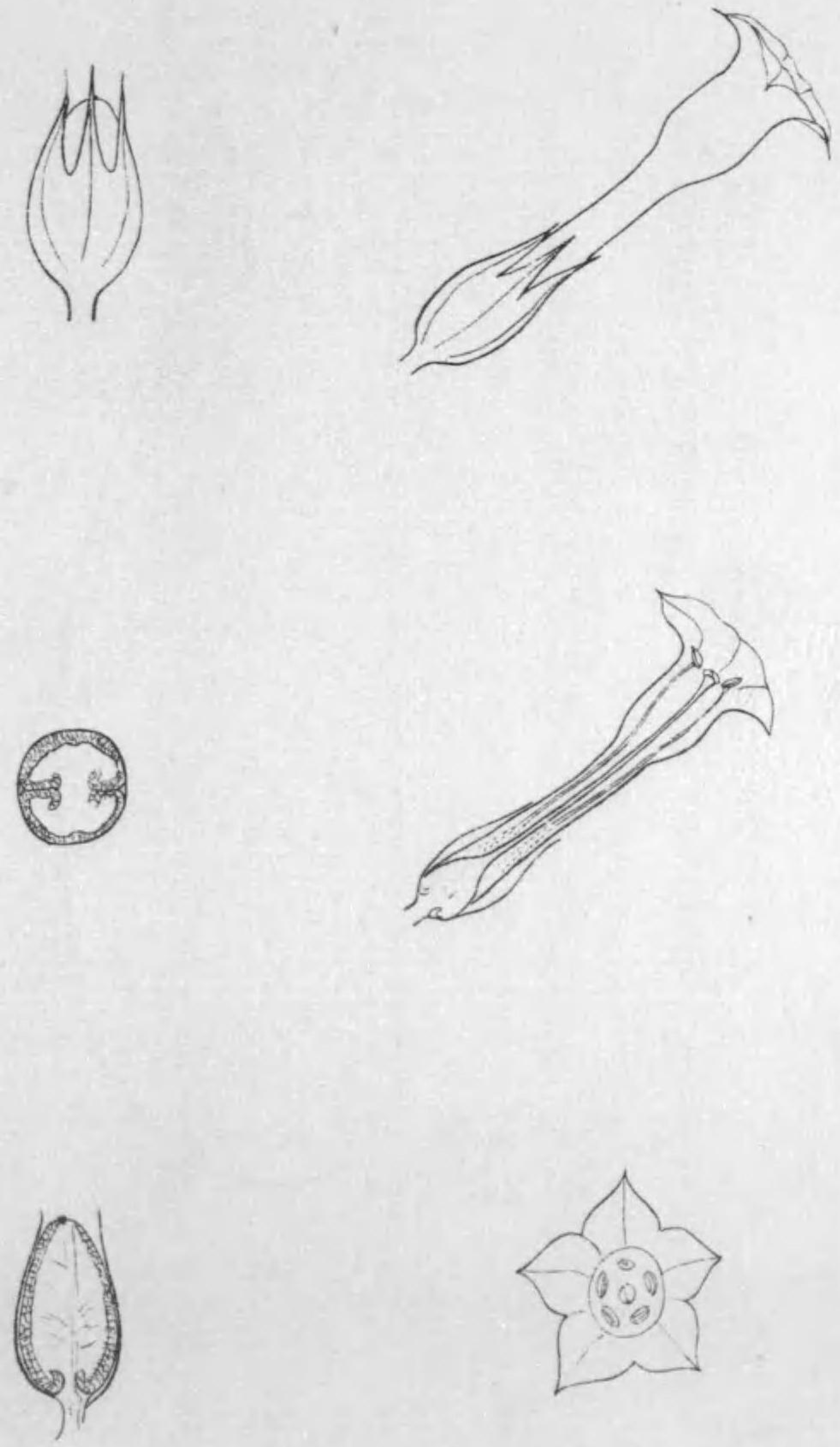
主產地　長野縣東筑摩郡

起源　口碑ノ傳フル所ニ依レハ慶長年間東筑摩郡生坂村昭明寺住職某ナル者九州地方ヨリ始メテ煙草種子ヲ齎シ來リ之ヲ自己ノ雪隱尻ノ畑ニ試作セシヲ當地方ニ於ケル煙草耕作ノ起源トセルモノノ如シ然レトモ現時ニ於ケル生坂葉ハ全ク其ノ起源ヲ異ニセルモノニシテ蓋シ明治三十一年初メテ常陸國太田地方ヨリ煙草耕作改良教師ヲ招聘セシ際同教師ノ齎シ來レル水府種ニ始マレルモノナリ

解說

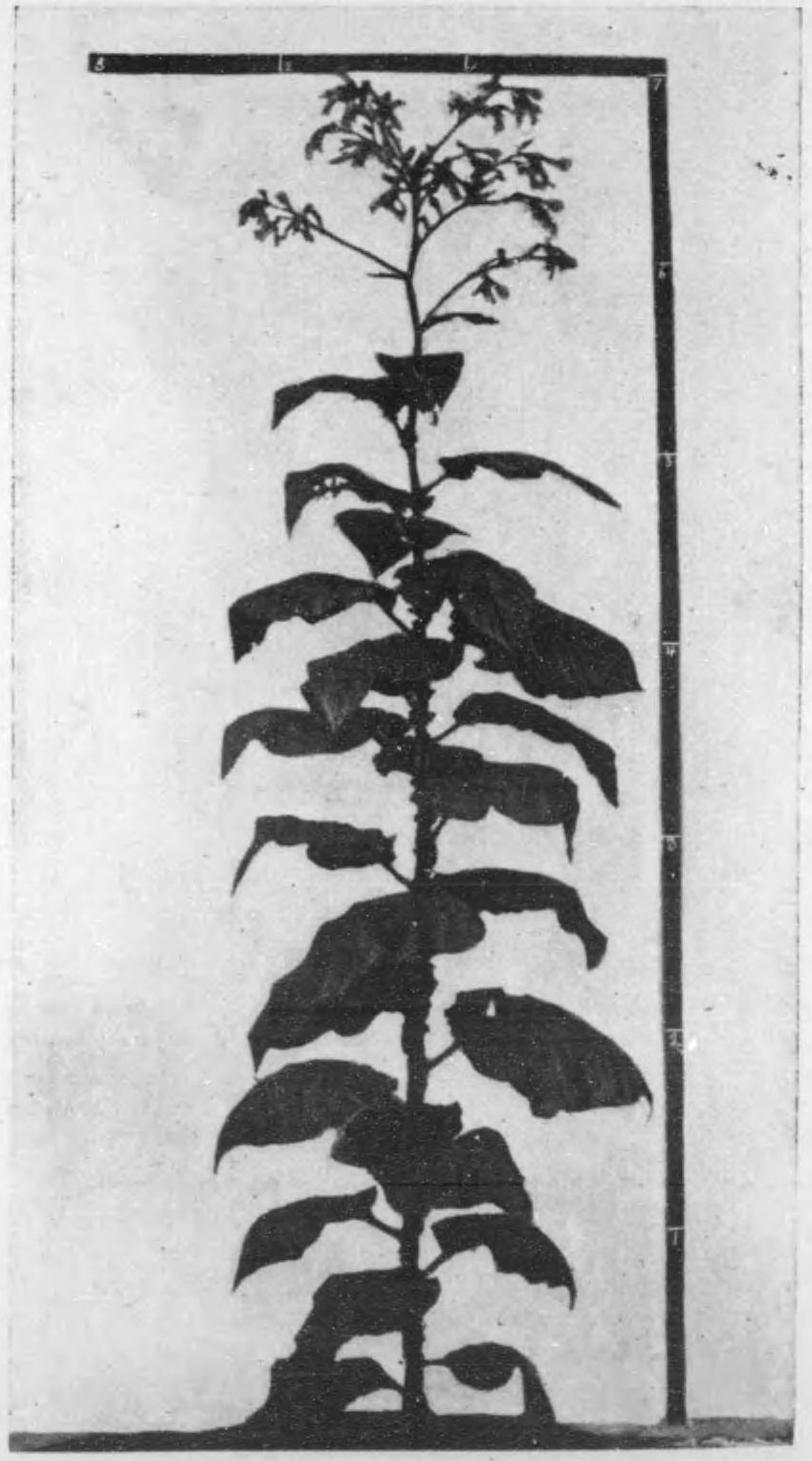
（イ）樹勢　莖幹ハ垂直ニシテ草丈凡ソ七尺ニ達シ葉ハ互生ニシテ平均葉間約一寸八分著葉約三十枚ヲ算シ大體正角ヲ爲シテ莖ニ附著シ葉先少シク垂下ス莖ノ上部ハ分岐シ繖形ヲ爲シテ花實ヲ附著ス

（ロ）中位著葉　葉ハ長キ葉柄ヲ有シ概シテ長心臟形ニシテ長サ約一尺四寸七分幅約八寸ニ達シ全緣ヲ爲シ中骨ニ對シ支骨ハ一般ニ鋭正角ヲ爲シ葉肉稍厚シ



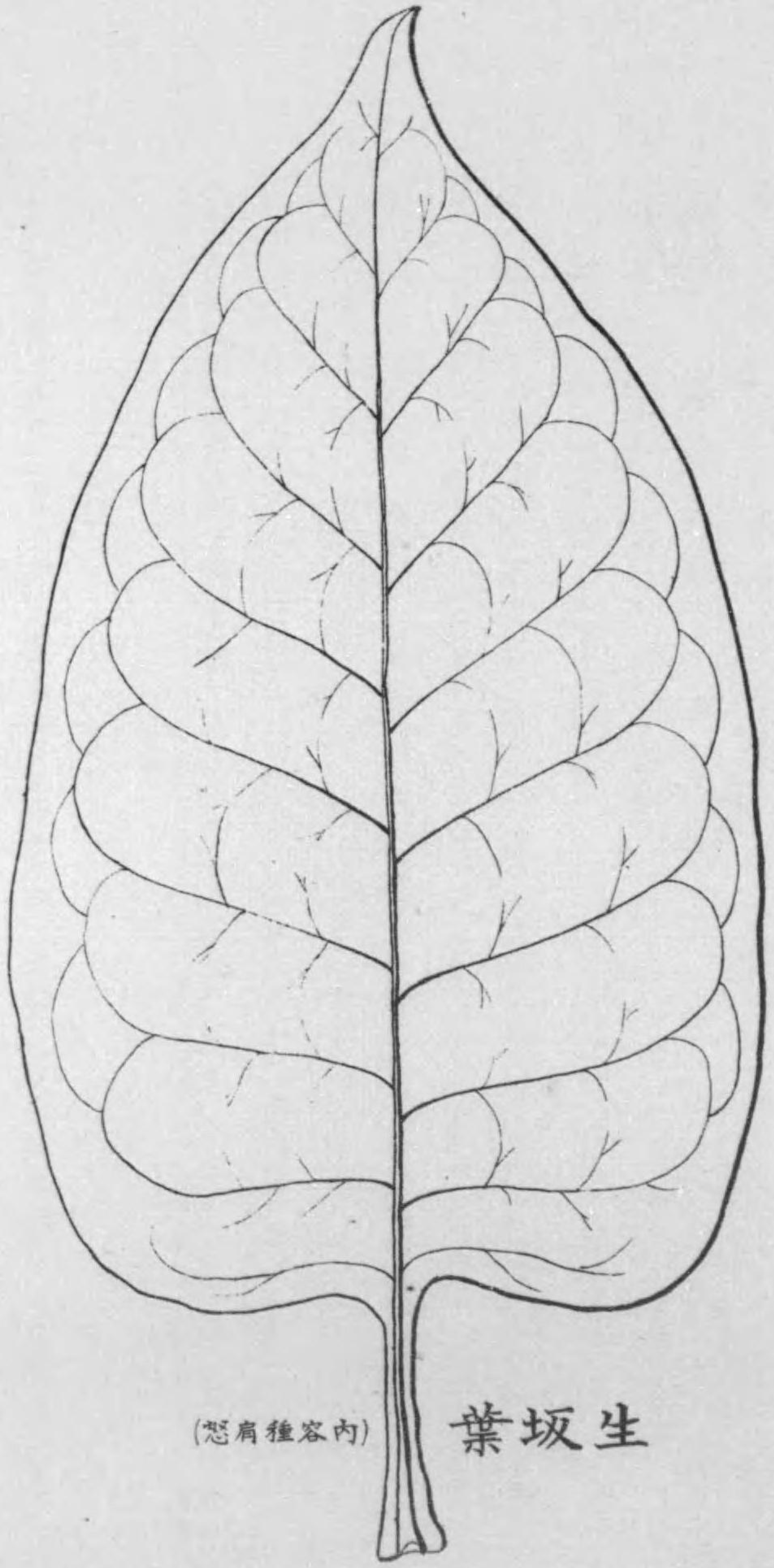
（ハ）花部　蕚ハ普通鐘形ニシテ五分裂アリ花冠ハ長漏斗狀ヲ呈シ先端ハ五箇ノ裂片ヲ有シ薄紅色ヲ呈ス內ニ雄蕊五箇雌蕊一箇ヲ含有シ花瓣ハ附著點ニ於テ稍膨大シ子房ヲ包ミ中央部ハ細長キ圓筒狀ヲ爲シ漸次展開シテ漏斗狀ヲ呈ス

（ニ）蒴果　普通卵圓形ニシテ長徑約六分短徑約四分內部ニ二箇ノ區劃アリ



生坂葉

（內容種肩怒）



生坂葉 (内容種肩怒)

(5) 郡山專賣支局管內產

(イ) 松川葉

內容種　御祭國府（水府葉系）

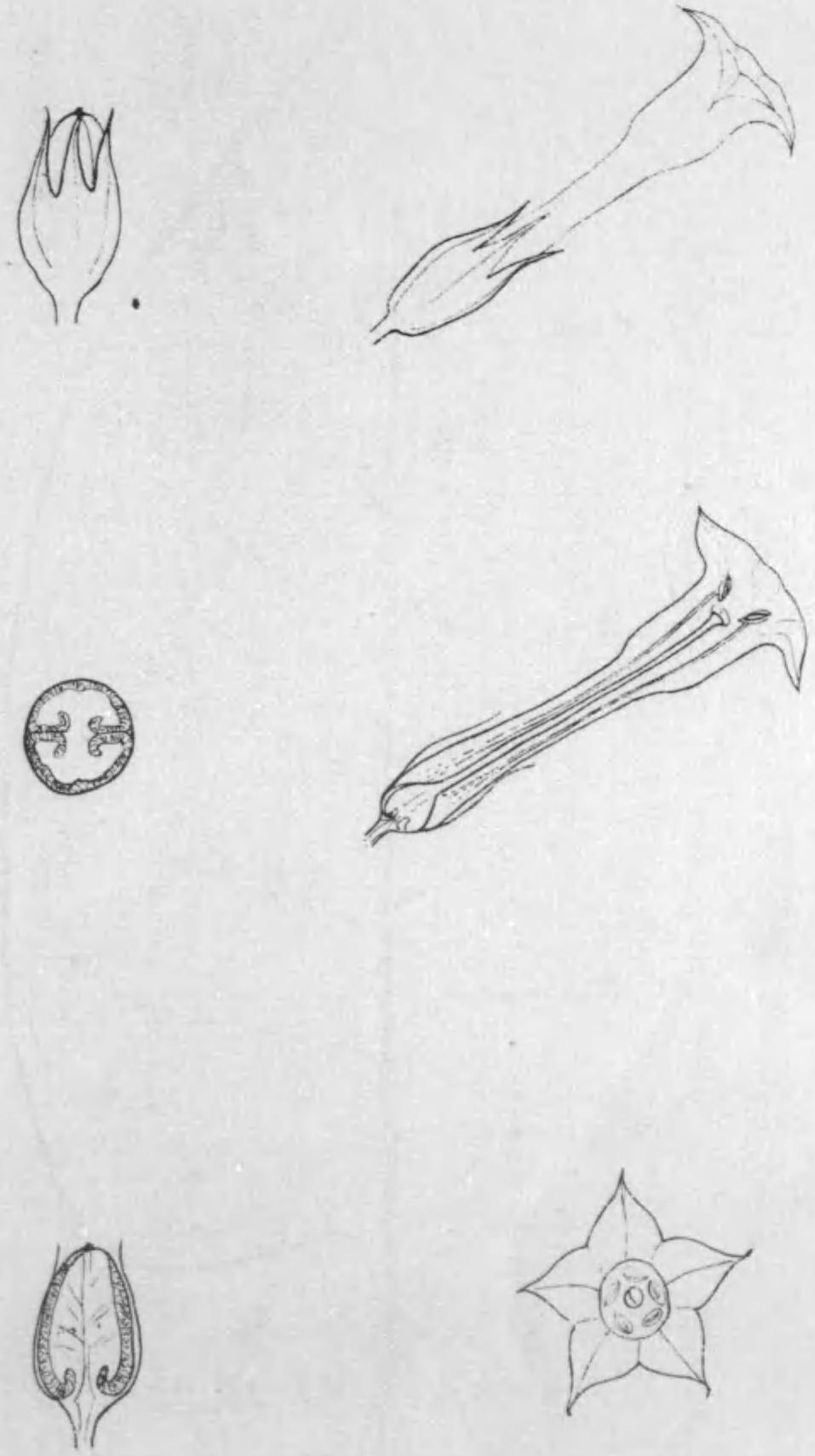
學名　Nicotiana Tabacum Var. Petiolata

主產地　福島縣田村郡、石川郡、東白川郡

起源　口碑ノ傳フル所ニ依レハ該地方ニ於ケル煙草栽培ハ遠ク元和、寛永ノ頃ニ始マリ當時ニ於ケル種類ハ下野國大山田地方ヨリ移入セルモノノ如キモ現時ニ於ケル主脳種類ハ萬延年間御木澤村大字七草木ノ橋本惣五郎ナル者常陸國久慈郡ヨリ水府葉ノ種子ヲ移入栽培セルニ起源セルモノノ如シ其ノ松川葉ナル名稱ノ起源ニ關シテハ宮本村大字松川地方カ該種類ノ栽培起源地ナリシニ依ルト云フモ亦一說ニ依レハ昔時松川庄左衛門ナル者商略上該地方一般產葉ニ自己ノ名稱ヲ冠シ盛ニ之ヲ江戸市場ニ搬出シ世ノ嗜好ヲ博シタルニ依ルトモ云フ

解說

（イ）樹勢　莖幹ハ垂直ニシテ草丈凡ソ七尺ニ達シ葉ハ互生ニシテ平均葉間約二寸五分著葉普通二十一枚ヲ算シ正角ヲ爲シテ幹ニ附著シ葉先稍垂下ス幹ノ上部ハ分岐シ繖形ヲ爲シテ花實ヲ附著ス



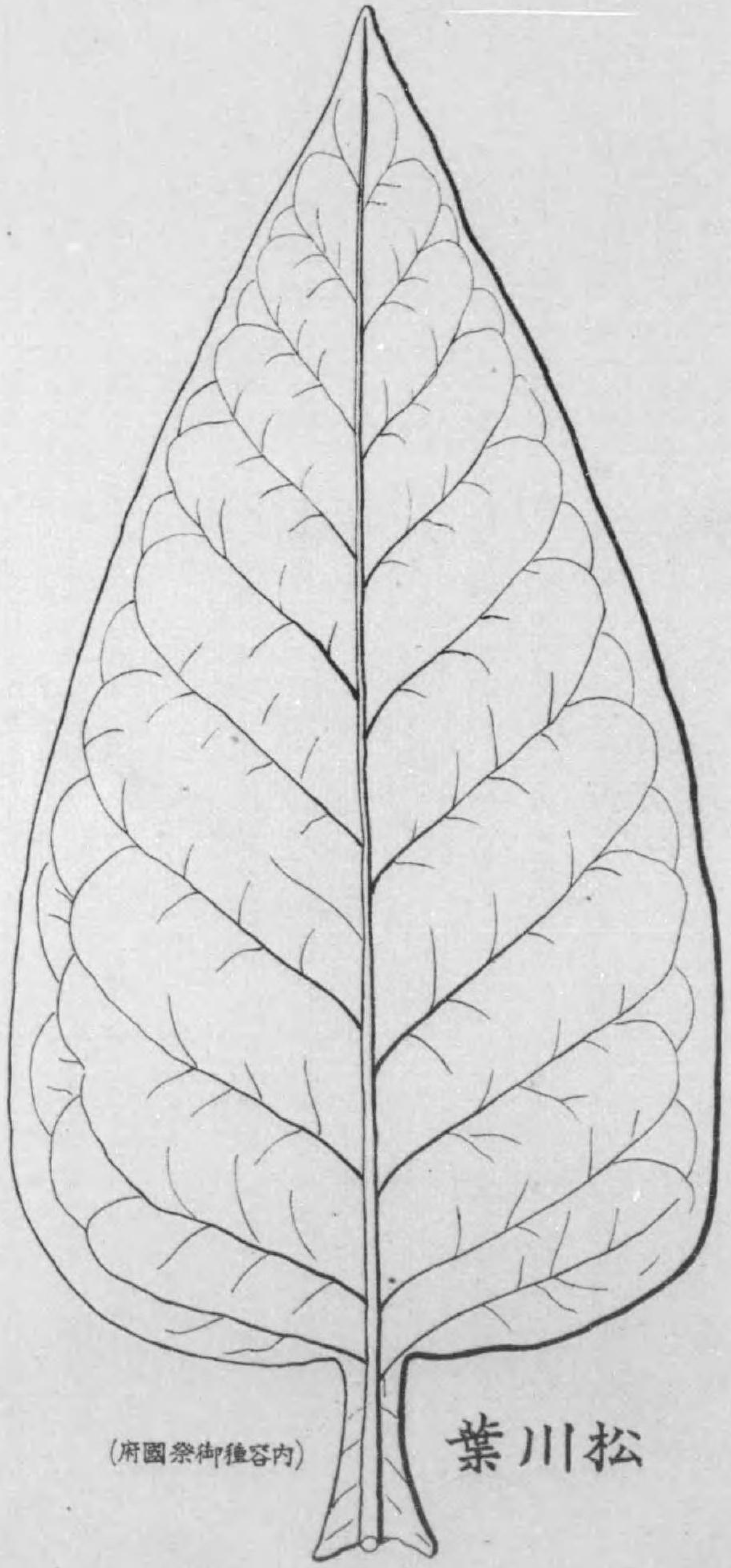
（ロ）中位著葉　葉ハ稍長キ葉柄ヲ有シ概シテ長心臓形ヲ呈シ長サ約一尺二寸幅約七寸ニ達シ全縁ヲ為シ中骨ニ對シ支骨ハ一般ニ鋭正角ヲ有シ葉肉概シテ薄シ

（ハ）花　部　蕚ハ普通鐘形ニシテ五分裂アリ花冠ハ長漏斗狀ヲ呈シ五箇ノ裂片ヲ有ス花瓣ハ薄紅色ヲ呈シ内ニ雄蕊五箇雌蕊一箇ヲ含有ス

（ニ）蒴　果　普通卵形ニシテ長徑約七分短徑約四分アリ内部ニ二箇ノ區劃ヲ有ス

松川葉

（內容種御祭國府）



松川葉 (内容種御祭國府)

(ロ) 會津葉

內容種屑　怒（水府葉系）

學　名　Nicotiana Tabacum Var. Petiolata

主產地　福島縣北會津郡、河沼郡、南會津郡

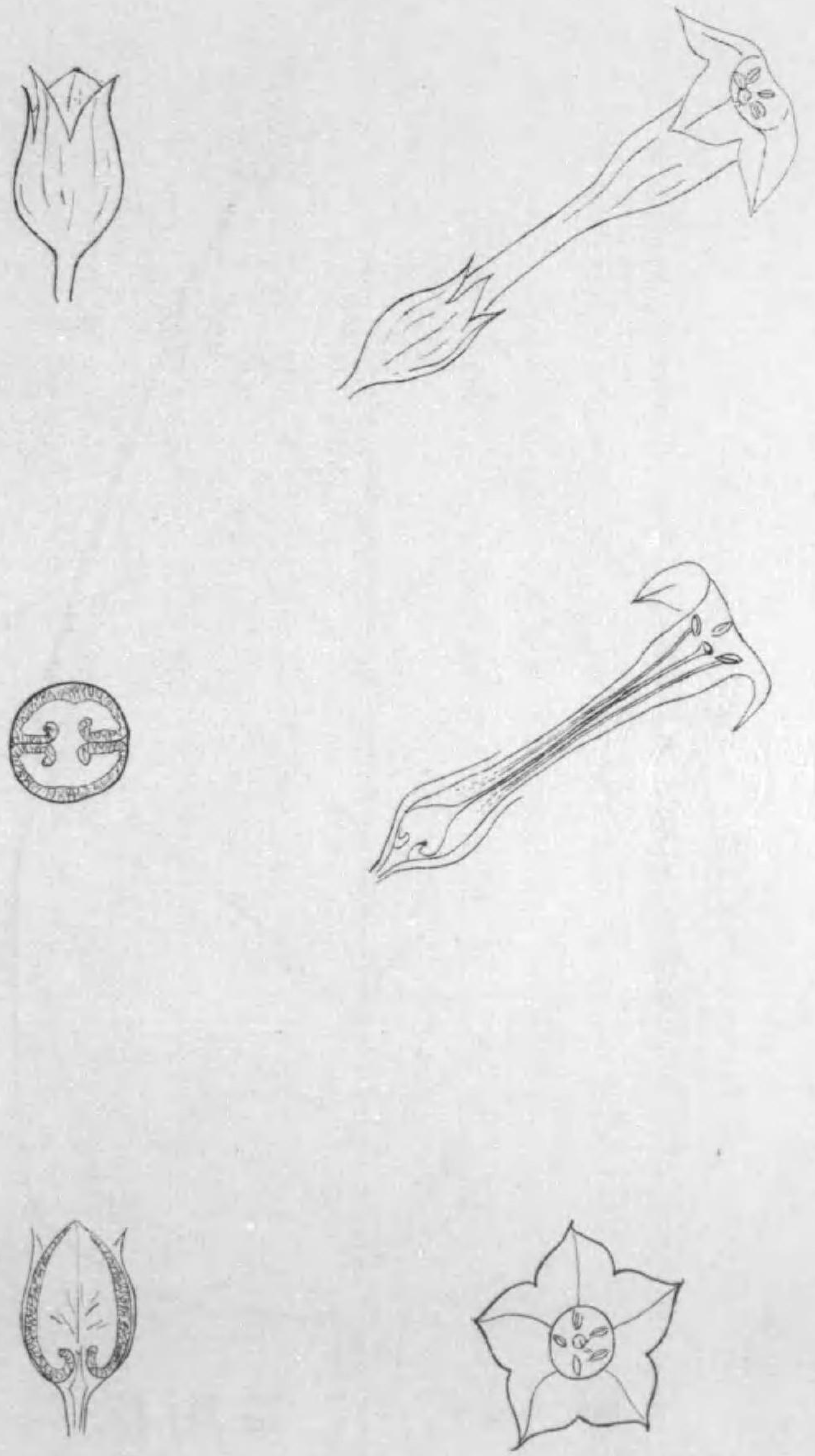
起　源　口碑ノ傳フル所ニ依レハ正德二年南會津郡白岩村ニ玉川四郎兵衞ト云フ者アリ常陸國赤土村ヨリ煙草種子ヲ購入シ一般希望者ニ分與シ耕作セシメシニ起源セルモノノ如シ一說ニハ文化年間白岩村ノ一屋根葺業茨城縣太田地方ヨリ煙草種子ヲ持チ來リ長江村、彌五島ヘ試作セシヲ嚆矢ナリト云フ

解　說

（イ）樹　勢　莖幹ハ概ネ垂直ニシテ草丈凡ソ六尺ニ達シ葉ハ互生ニシテ平均葉間二寸二分著葉普通二十二枚ヲ算シ正角ヲ爲シテ幹ニ附著シ葉先稍垂下ス、幹ノ上部ハ分岐シ繖形ヲ爲シテ花實ヲ附著ス

（ロ）中位著葉　葉ハ有柄ニシテ葉柄部ノ長サ約一寸七分アリ概シテ長心臟形ヲ呈シ葉脚張リ長サ約一尺四寸內外幅約七寸ニ達シ全緣ヲ爲ス中骨ニ對シ支骨ハ概ネ銳正角ヲ爲シ葉肉稍厚シ

（ハ）花　部　蕚ハ鐘形ニシテ稍膨大シ五分裂セリ花冠ハ長サ約一寸二分長漏斗狀ヲ呈シ五箇ノ裂

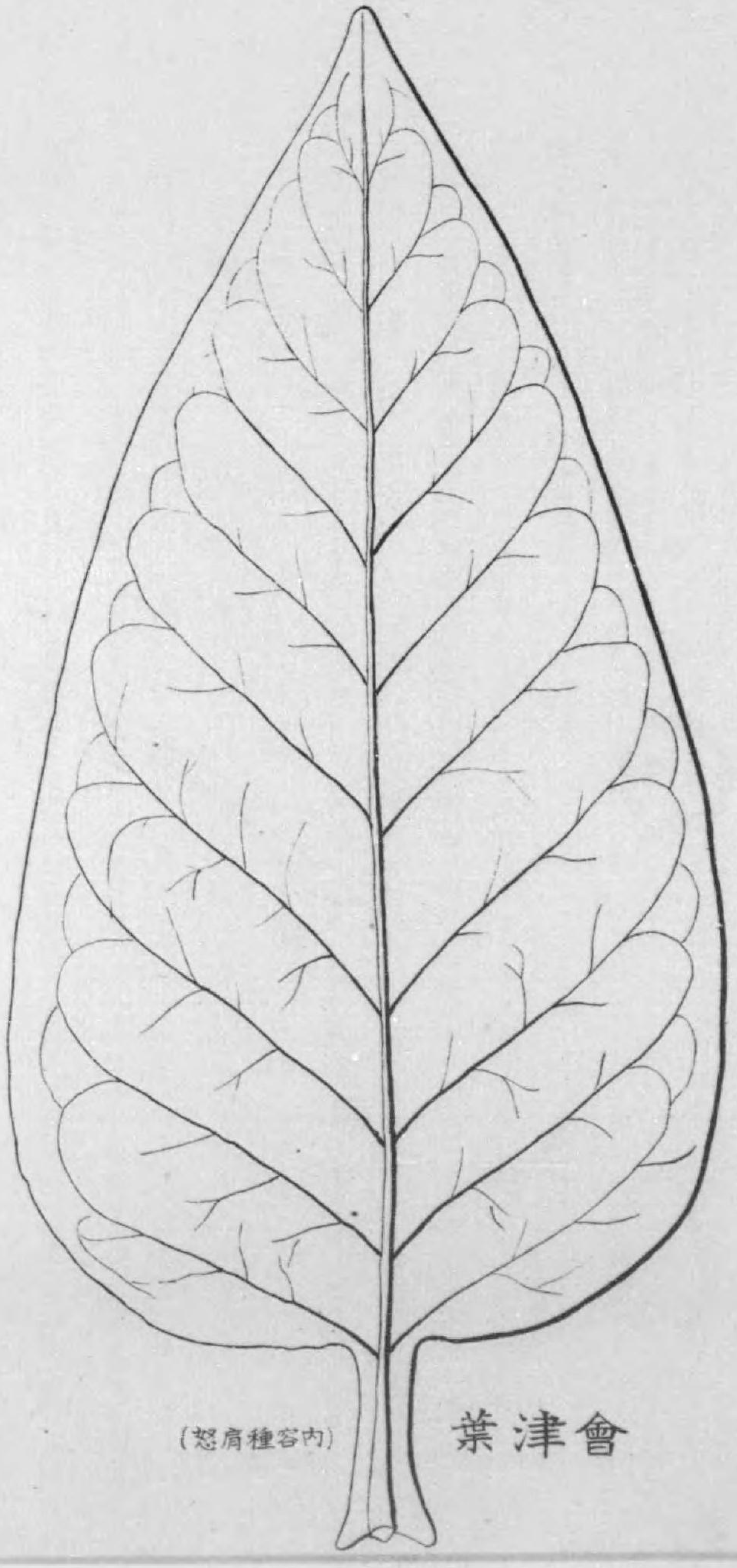


片ヲ有ス花瓣ハ薄紅色ヲ呈シ内ニ雄蕊五箇雌蕊一箇ヲ含有ス

(ニ) 蒴果 普通卵圓形ニシテ長徑約四分短徑約三分内部ニ二箇ノ區劃アリ

會津葉

(内容種肩怒)



會津葉（内容種肩怒）

(6) 仙臺專賣支局管内産

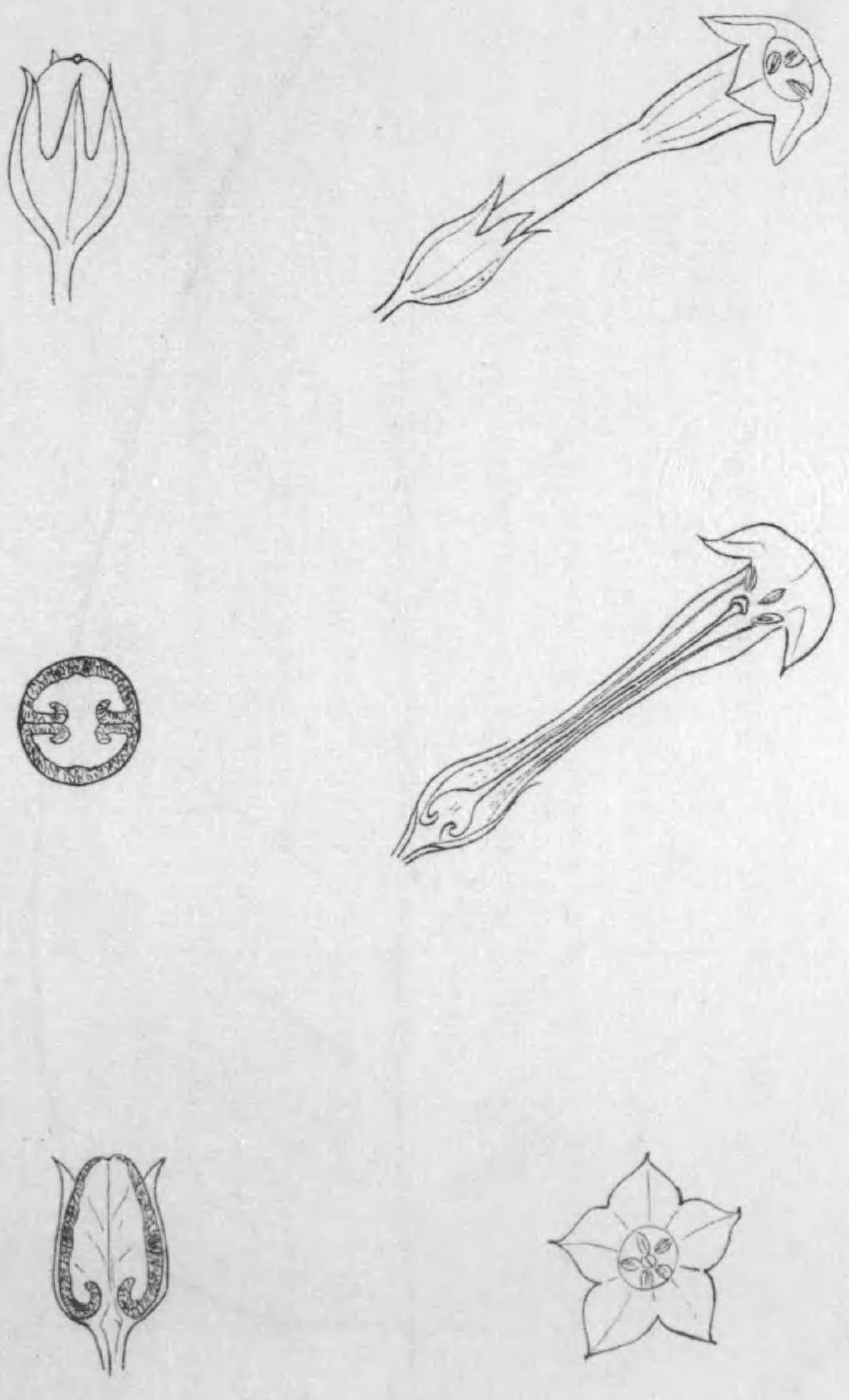
(イ) 東山葉

内容種　肩怒（水府葉系）

學名　Nicotiana Tabacum Var. Petiolata

主產地　巖手縣東磐井郡

起源　書傳殘缺シ口碑差謬シテ後世ヨリ推知スルコト甚タ難シト雖起源ニ就キ二説アリ曰ク一ハ慶長年問仙臺藩士支倉六右衞門主命ヲ奉シ羅馬ニ使セシ際駿馬及煙草種子ヲ齎シ寺僧ヲシテ試作セシメ後之ヲ猿川原字平澤ニ移植ス當時之ヲ陸前煙草ト云フ後黄海村字中山箕輪ニ移シ箕輪煙草ト稱シ名聲ヲ博シ漸次東山地方ニ傳播セリト云フ又一説ニハ仙臺國分寺ノ住僧薩摩ノ國分寺ニ至リシ時葉煙草及種子ヲ携ヘ來リ藩主政宗公ニ獻セシニ公之レヲ嘉シ適地ヲ選ミ耕種セシメントセシニ猿川原ハ恰モ薩摩地方ノ土質ト彷彿タルヲ以テ同地ノ農夫沼倉善左衞門ナル者ヲシテ試植セシメシニ良葉ヲ產出シ漸次東山地方ニ傳播シ爾來藩公ノ御料トシテ年々獻納セリト兩説孰レカ信ナルヤヲ知ラサレトモ當產地煙草耕作ハ猿川原ニシテ慶長年間ニ始マレルハ兩説一致セリ之カ種類ニ關シテハ永年放漫ナル耕作法ヲ持續セル結果數多ノ變種ヲ生シタルト共ニ立枯病諸所ニ發生シ被害益猖



獗ヲ極ムルニ至リ明治三十六年水戸地方ヨリ水府肩怒種ヲ移入シ爾後全部本種ニ統一スルコトトセリ

解　說

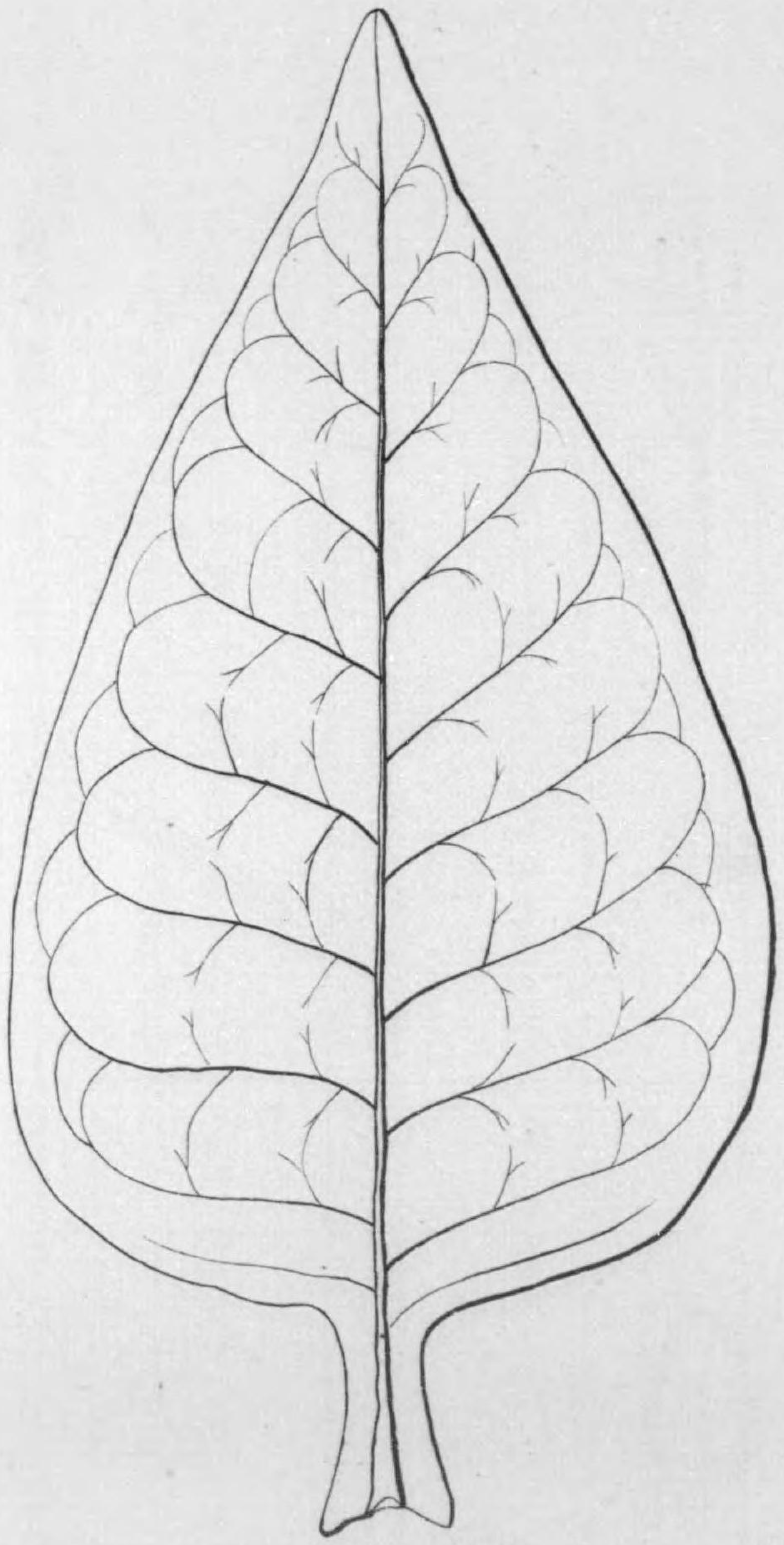
（イ）樹　勢　莖幹ハ上位多少屈曲性ヲ帶ヒ下位垂直ニシテ草丈凡五尺九寸ニ達シ葉ハ互生ニシテ平均葉間約二寸一分著葉普通二十三枚ヲ算シ殆ント正角ヲ爲シテ葉先垂下ス莖ノ上部ハ分岐シ繖形ヲ爲シテ花實ヲ附著ス

（ロ）中位著葉　葉ハ短キ葉柄ヲ有シ概シテ長心臟形ヲ呈シ長サ約一尺五寸幅約七寸五分ニ達シ全緣ヲ爲シ中骨ニ對シ支骨鋭正角ヲ爲シ葉肉普通ナリ

（ハ）花　部　蕚ハ普通鐘形ニシテ五分裂アリ花冠ハ長漏斗狀ヲ呈シ五箇ノ裂片ヲ有シ薄紅色ヲ呈シ內ニ雄蕊五箇雌蕊一箇ヲ含有ス

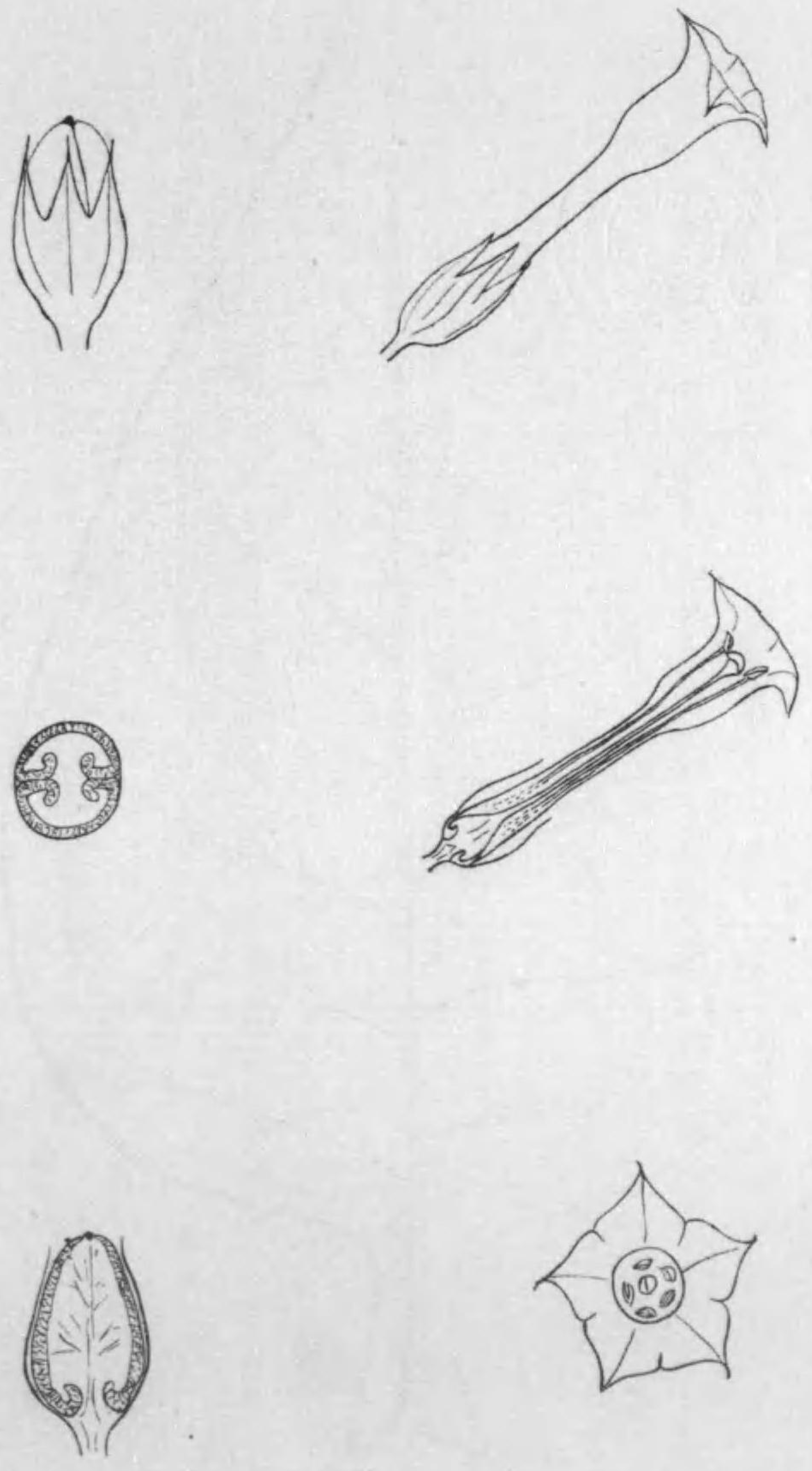
（ニ）蒴　果　普通卵圓形ニシテ長徑約六分短徑約三分內部ニ二箇ノ區劃アリ

東山葉
（内容種肩怒）



東山葉

(内容種肩怒)



（ロ）南部葉

內容種　小葉（水府葉系）

學名　Nicotiana Tabacum Var. Petiolata

主産地　巖手縣稗貫郡

起源　何等文献ノ徴スヘキモノナキモ口碑ノ傳フル所ニ依レハ正保年間ノ藩主南部利直公賢明ニシテ殊ニ殖産ニ意ヲ注キ偶該地方ノ煙草作ニ適スルヲ聞キ甲州西山梨郡ヨリ煙草種子ヲ齎ラシ之ヲ稗貫郡內川目村ノ人、田中兵部少尉ナル者ニ命シ試作セシメシニ濫觴セリト云フ

解說

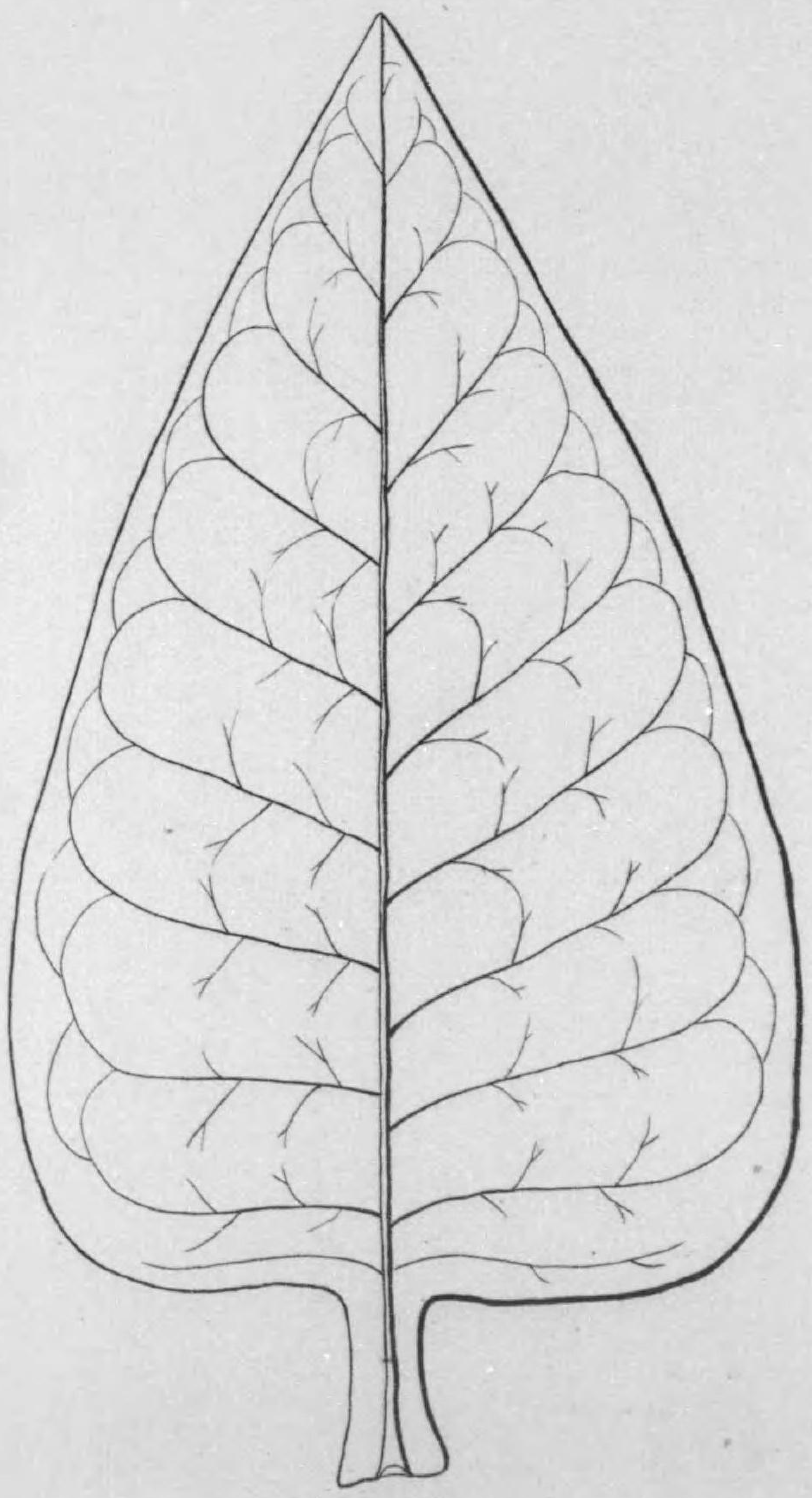
（イ）樹勢　莖幹ハ垂直ニシテ草丈凡ソ四尺八寸ニ達シ葉ハ互生ニシテ平均葉間約二寸三分著葉約十五枚ヲ算シ殆ト正角ヲ爲シテ莖ニ附著シ葉先稍垂下ス莖ノ上部ハ分岐シ繖形ヲ爲シテ花實ヲ附著ス

（ロ）中位著葉　葉ハ長キ葉柄ヲ有シ概シテ長心臟形ヲ呈シ長サ約一尺八寸四分幅約一尺五分ニ達シ全縁ヲ爲シ中骨ニ對シ支骨一般ニ鋭正角ヲ爲シ葉肉甚タ厚シ

（ハ）花部　萼ハ普通鐘形ニシテ五分裂アリ花冠ハ長漏斗狀ヲ呈シ五箇ノ裂片ヲ有シ薄紅色ヲ呈シ內ニ雄蕊五箇雌蕊一箇ヲ含有ス

（ニ）蒴　果　普通卵圓形ニシテ長徑約七分五厘短徑約四分五厘内部ニ二箇ノ區劃アリ

南　部　葉
（内容種小葉）



南部葉

(内容種小葉)

(7) 山形專賣支局管內產

（イ）東根葉

內容種 肩怒（水府葉系）

學名 Nicotiana Tabacum Var. Petiolata

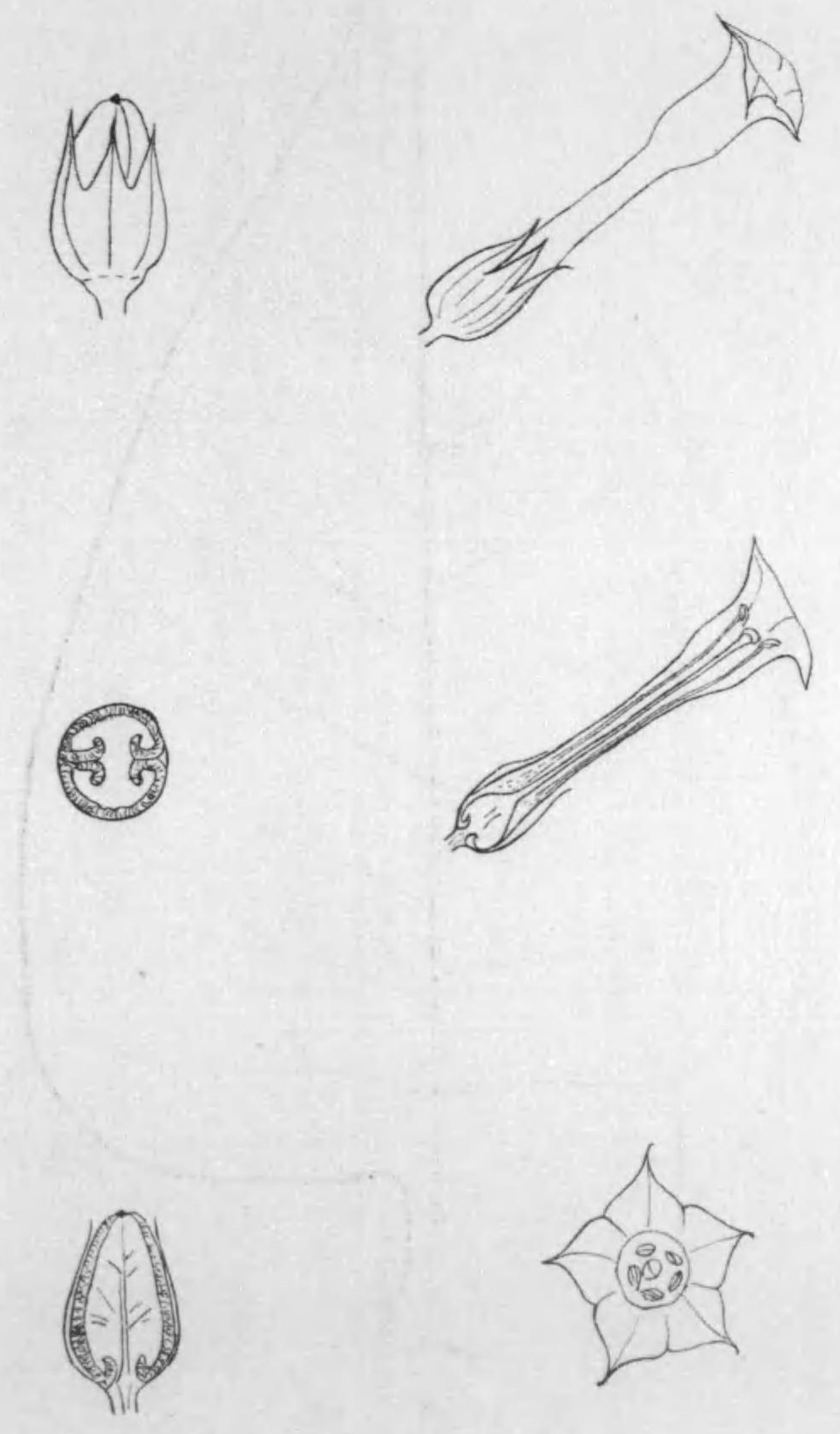
主產地 山形縣北村山郡

起源 古老ノ說ニ依レハ元祿ノ初年北村山郡關山村ノ豪農大江太右衞門ト稱スル者關東及九州地方漫遊ノ際國分煙草（或ハ水府煙草ナリトモ云フ）ノ種子ヲ携ヘ來リ之ヲ同氏宅地內ニ試植セシヲ當地方ニ於ケル煙草耕作ノ嚆矢トセルモノノ如シ然レトモ現今ニ於ケル東根葉ノ起源ハ明治二十年頃水戸地方ヨリ更ニ水府葉ノ種子ヲ取寄セ之ヲ試作擴張セシニ基ケルモノナリ

解說

（イ）**樹勢** 莖幹ハ殆ント垂直ニシテ草丈凡ソ五尺九寸ニ達シ葉ハ互生ニシテ平均葉間約二寸著葉普通二十四枚ヲ算シ正角ヲ以テ莖ニ附著シ葉先垂下スルヲ普通トス莖ノ上部ハ分岐シ繖形ヲ爲シテ花實ヲ附著ス

（ロ）**中位著葉** 葉ハ葉柄普通ニシテ長心臟形ヲ呈シ長サ約一尺四寸幅約七寸三分ニ達シ全緣ヲ爲シ



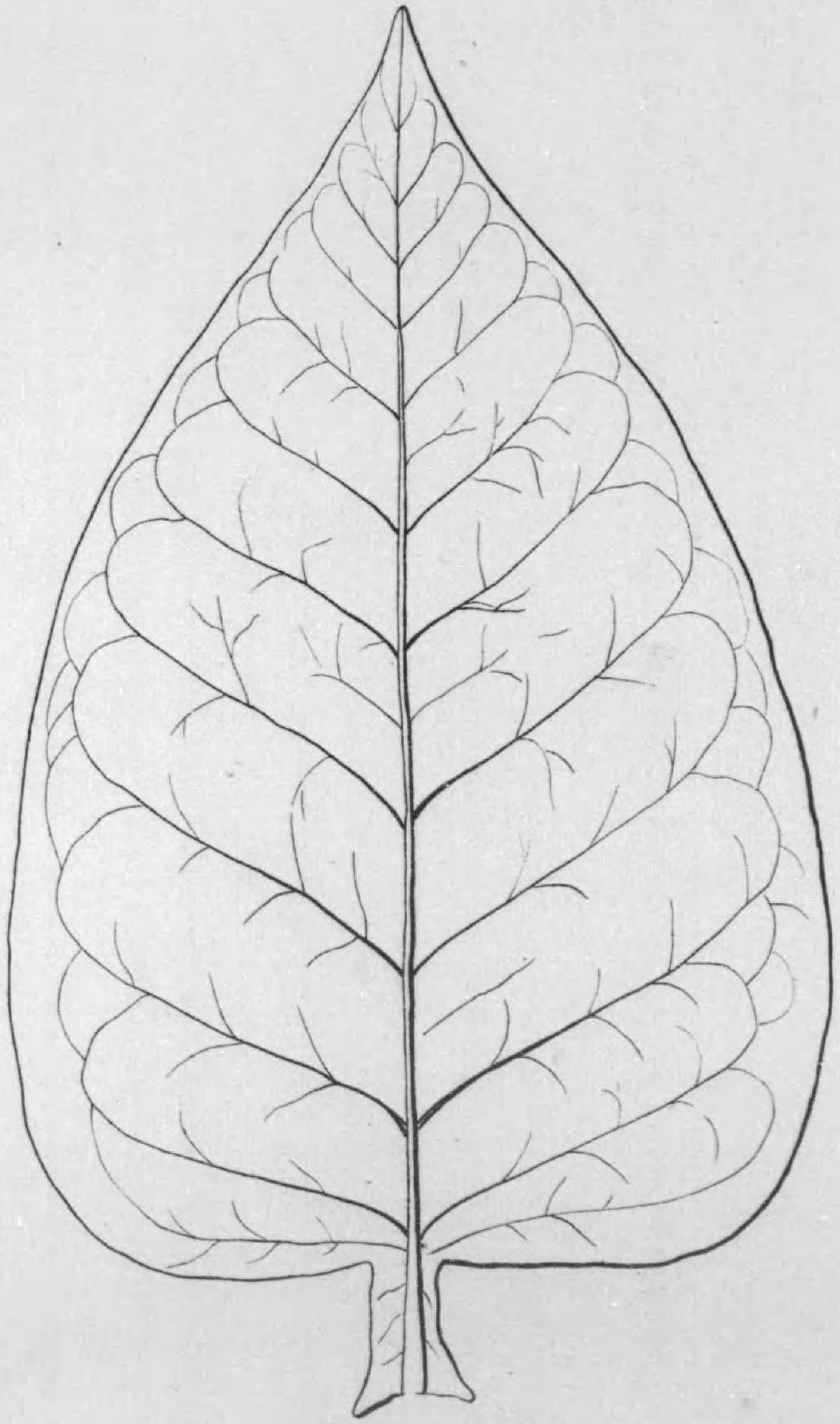
中骨ニ對シ支骨一般ニ鋭正角ヲ以テ分岐シ中支骨共ニ細ク葉肉普通ナリ

（ハ）花　部　萼ハ普通鐘形ニシテ五箇ニ分裂セリ花冠ハ長漏斗狀ヲ呈シ萼ノ附著點ニ於テ膨脹シ五箇ノ裂片ヲ有シ薄紅色ヲ呈シテ內ニ雄蕊五箇雌蕊一箇ヲ含有ス

（ニ）蒴　果　普通卵圓形ニシテ長徑八分短徑四分五厘內部ニ二箇ノ區劃アリ

東　根　葉

（内容種肩怒）



東根葉

（内容種肩怒）

(ロ) 丸　葉（水府葉系）

内容種　丸　葉

學　名　Nicotiana Tabacum Var. Petiolata

主産地　秋田縣雄勝郡

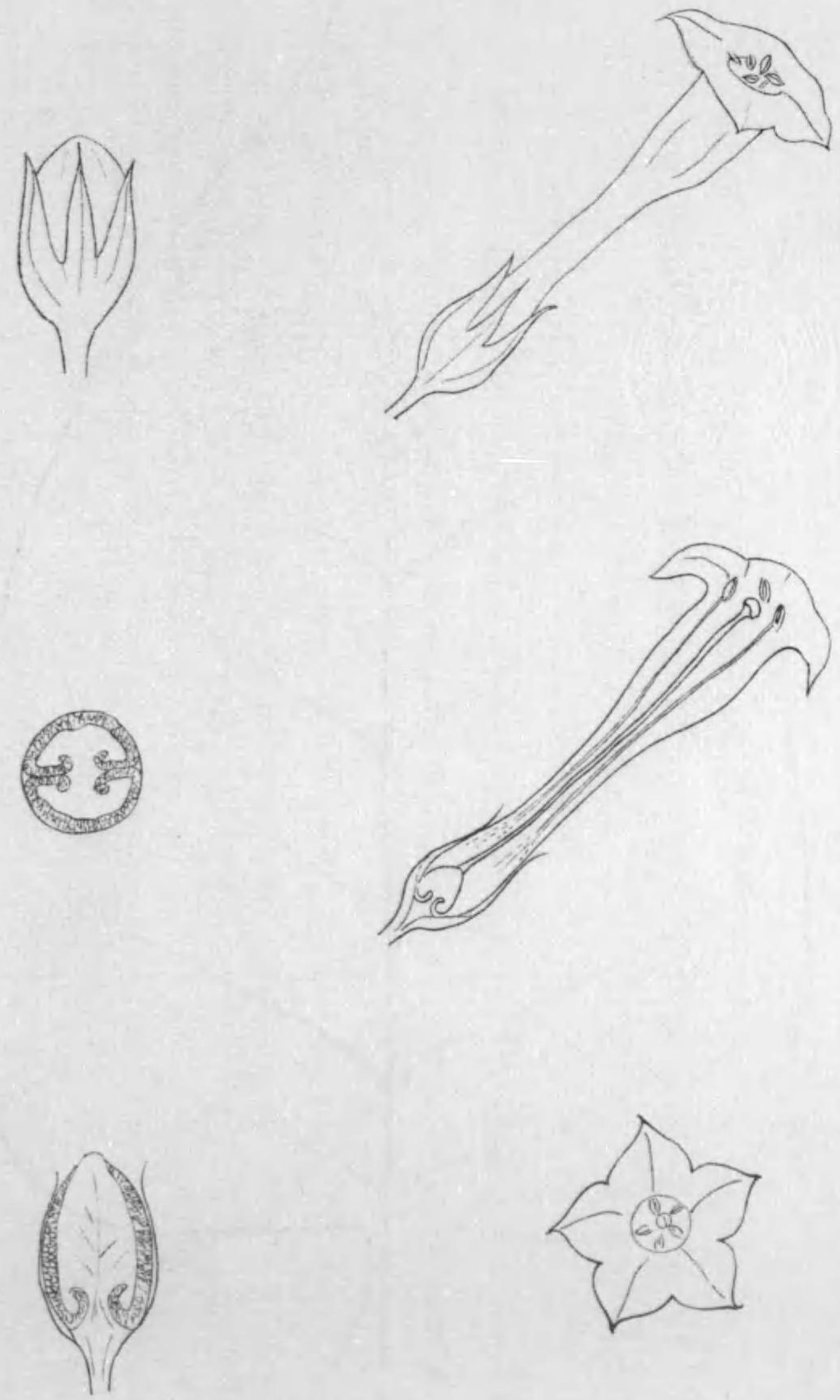
起　源　不　調

解　説

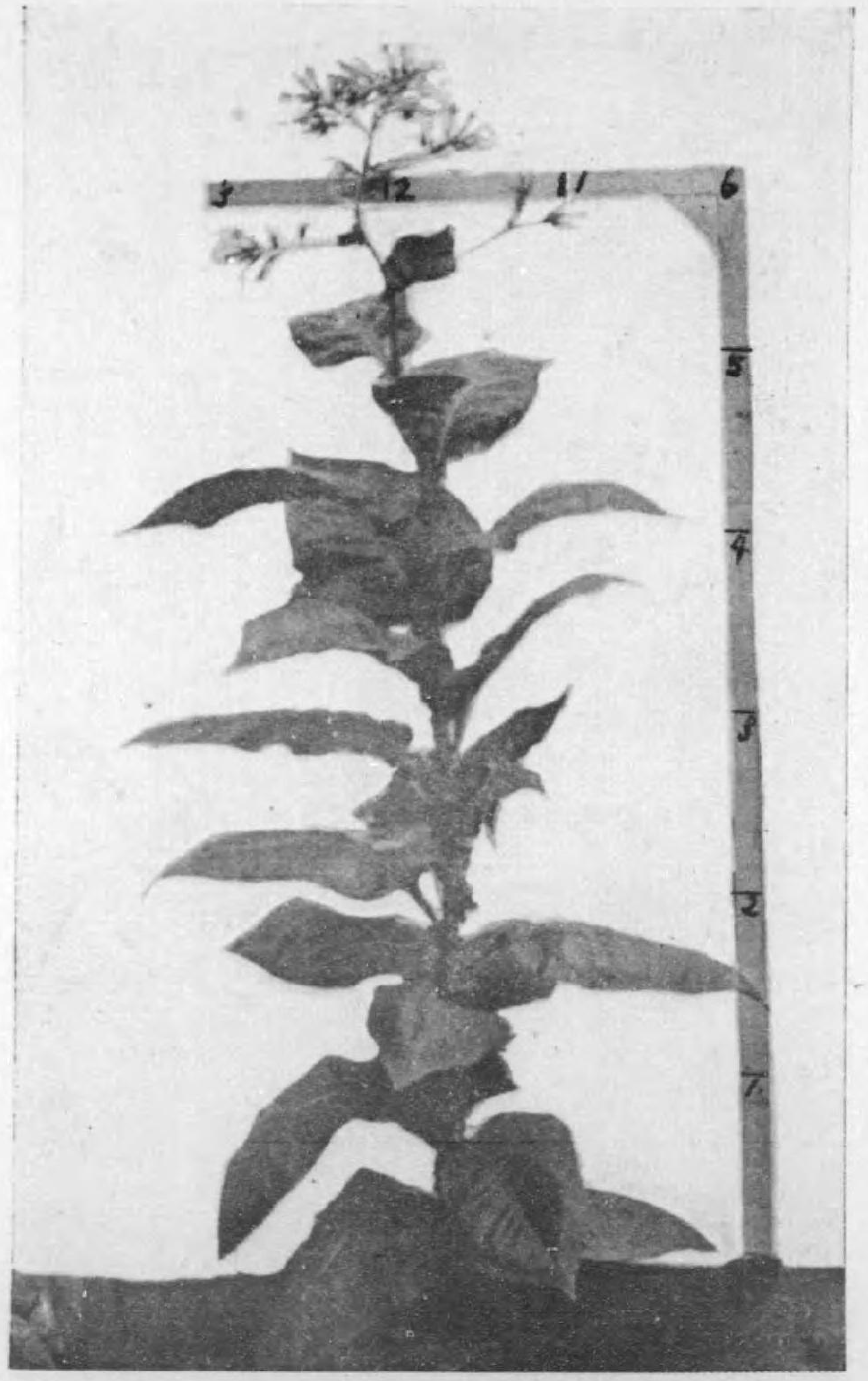
（イ）樹　勢　莖幹ハ垂直ニシテ草丈凡ソ六尺五寸ニ達シ葉ハ互生ニシテ葉間東根葉ニ比シ稍廣ク平均二寸四分位著葉普通二十枚ヲ算シ正角ヲ以テ莖ニ附著シ葉先多少垂下ス而シテ莖ノ上部ハ分岐シ繖形ヲ爲シ花實ヲ附著ス

（ロ）中位著葉　葉ハ稍長キ葉柄ヲ有シ概シテ長心臟形ヲ呈シ長サ約一尺九寸幅約九寸五分ニ達シ葉幅ノ最廣キ部分ハ全葉ノ五分ノ二以内ニアリ葉先ハ葉頂ニ沿フテ急ニ狹小シ全縁ヲ爲ス中骨ニ對シ支骨ハ鋭正角ヲ以テ分岐シ中支骨幾分太ク葉肉又稍厚シ

（ハ）花　部　蕚ハ普通鐘形ニシテ五箇ニ分裂セリ而シテ其ノ裂片ハ東根葉ニ比シ一般ニ長シ花冠ハ長漏斗狀ヲ呈シ蕚ノ附著點ニ於テ膨大シ五箇ノ裂片ヲ有シ薄紅色ヲ呈シテ内ニ雄蕊五箇雌蕊一箇ヲ含有ス

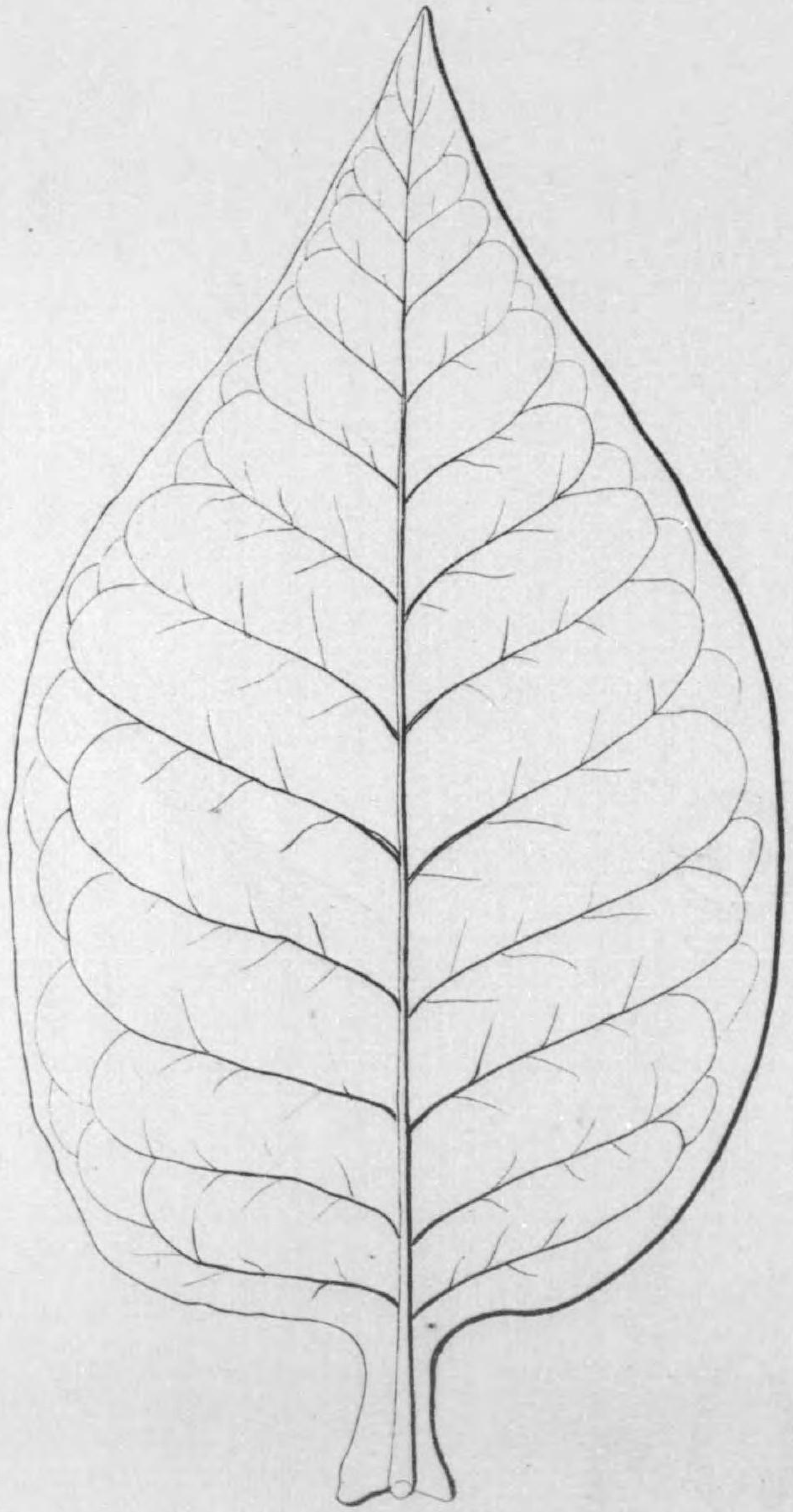


（ニ）蒴果　普通卵圓形ニシテ長徑約八分短徑約五分內外內部ニ二箇ノ區劃アリ



丸葉

（內容種丸葉）



丸葉

（内客種丸葉）

(ハ) 米澤葉

内容種　松川（水府葉系）

學名　Nicotiana Tabacum Var. Petiolata

主産地　山形縣米澤市、南置賜郡

起源　慶長年間ヨリ引續キ大正年間ニ至ルマテ栽培シ來レルモ由來惡質粘重ノ種類ニシテ製造用途上不適當ナリシニ依リ大正二年度ヨリ全部松川葉ノ種子ヲ移シ耕作スルコトヽ爲シ在來種ヲシテ全然廢絶ニ歸セシメタリ

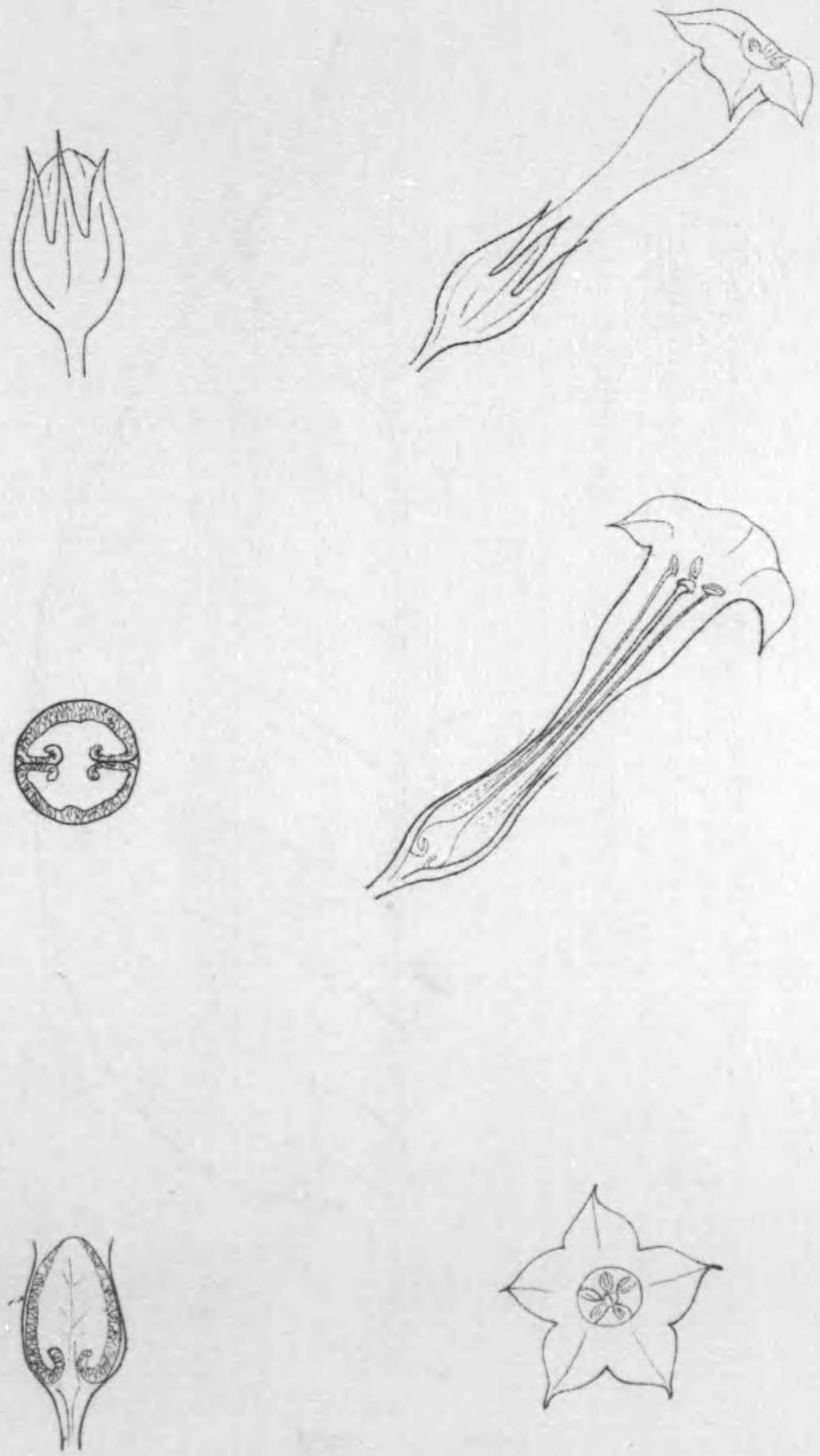
解説

（イ）樹勢　莖幹垂直ニシテ草丈凡ソ五尺八寸ニ達シ葉ハ互生ニシテ平均葉間二寸三分位著葉普通廿二枚ヲ算シ大體正角ヲ爲シテ莖ニ附著シ葉先稍垂下ス上部ハ分岐シ繖形ヲ爲シテ花實ヲ附著ス

（ロ）中位著葉　葉ハ短キ葉柄ヲ有シ概シテ長心臟形ヲ呈シ長サ約一尺四寸幅約八寸ニ達シ全緣ヲ爲シ中骨ニ對シ支骨一般ニ鋭正角ヲ爲シ中支骨葉肉共ニ中庸ナリ

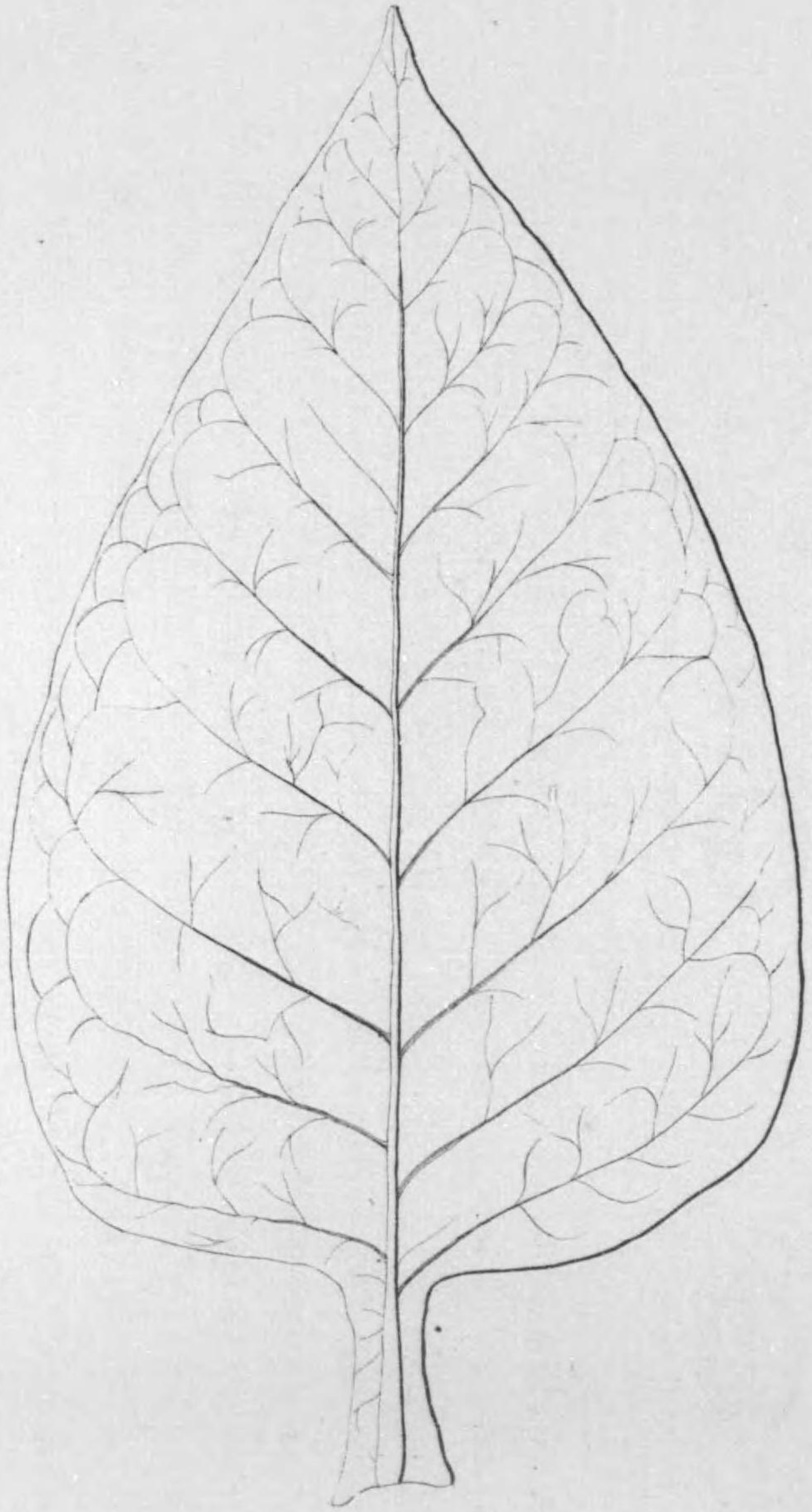
（ハ）花部　蕚ハ普通鐘形ニシテ五箇ニ分裂セリ花冠ハ長漏斗狀ヲ呈シ蕚ノ附著點ニ於テ稍膨脹シ五箇ノ裂片ヲ有シ薄紅色ヲ呈シ内ニ雄蕊五箇雌蕊一箇ヲ含有ス

（ニ）蒴果　普通卵圓形ニシテ長徑約九分短徑約五分五厘内部ニ二箇ノ區劃アリ



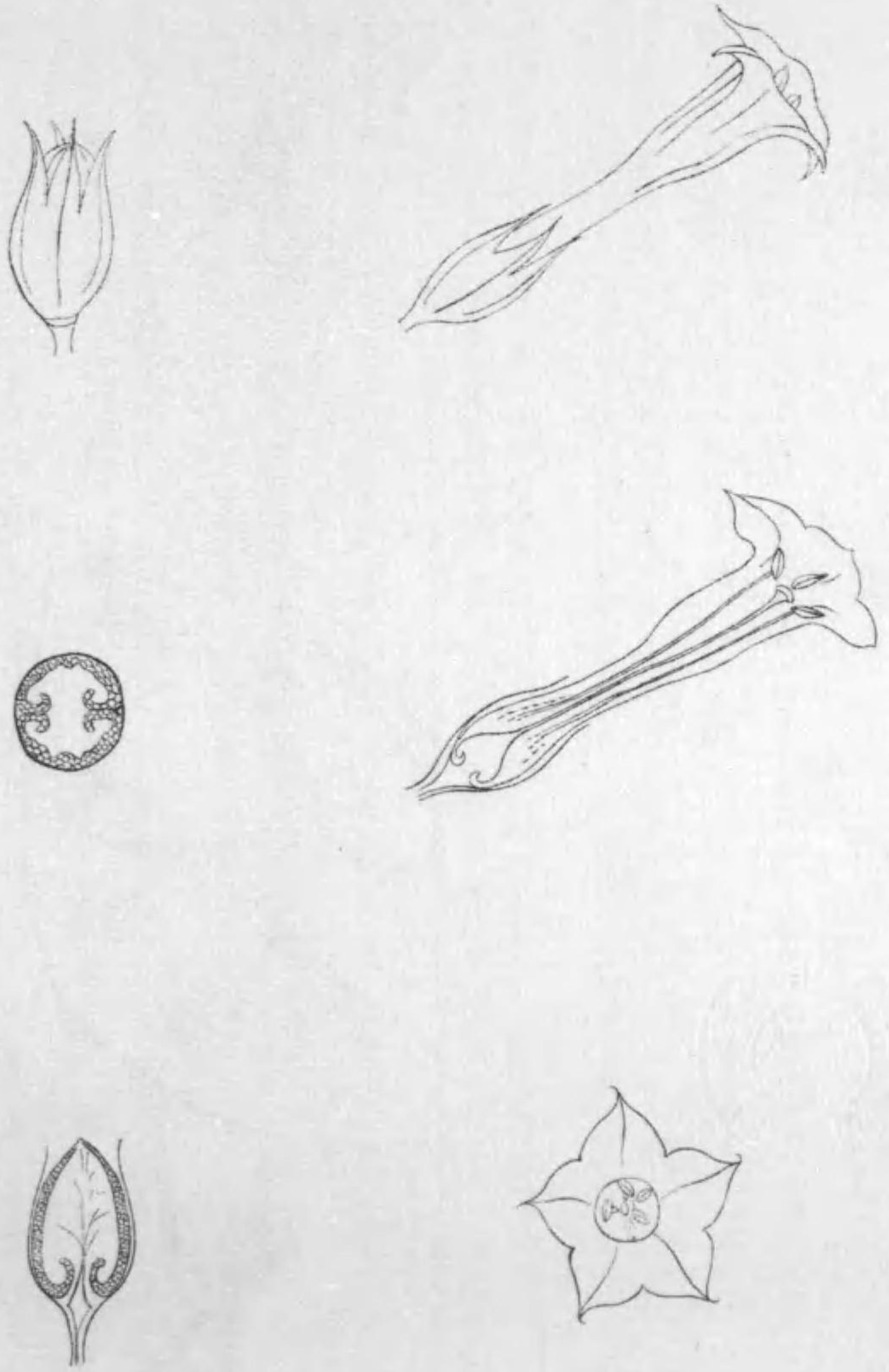
米澤葉

(内容種松川)



米澤葉

(内容樺松川)



(8) 秦野專賣支局管內產

(イ) 秦野葉

內容種　丸　葉（秦野葉本系）

學　名　Nicotiana Tabacum Var. Petiolata

主產地　神奈川縣中郡、足柄上郡　靜岡縣富士郡

起　源　口碑ノ傳フル所ニ依レハ明曆年間秦野地方ノ某廻國修驗者トナリ肥前國ヨリ煙草種子ヲ齎シ歸リ之ヲ自家ノ用料ニ栽培セリ之當地方ニ於ケル煙草栽培ノ濫觴ナリト云フ次テ寶永四年駿河國富士山ノ噴火アリ砂石ヲ降ラスコト數日房總相武ノ諸國共ノ害ヲ被ラサルナク就中秦野地方ハ富士山ヨリ恰モ直線ノ東部ニアルヲ以テ其ノ被害最甚シク肥沃ノ田圃忽チ變シテ沙漠不毛ノ地ニ化シ庶民率ネ皆生業ヲ失ヒ餓莩途ニ横ハルノ慘狀ヲ呈セシカハ官吏ヲ派出シ毎一人ニ大麥四升ヲ給與シテ以テ救恤セラル然レトモ滿目ノ田野悉ク焦土ニ埋沒セラレ種藝ノ途頓ニ廢絕シ之ヲ如何トモスル能ハス爰ニ於テ農民擧テ開墾ニ力ヲ盡セリト雖固ヨリ一朝一夕ノ能クスヘキコトニアラス爾後漸ク其ノ功ヲ積ミテ稍舊態ニ復セリト雖地味瘠薄尙未タ嘉穀ノ栽培ニ適セス事ニ此ニ從フ者一意適當ノ作物ヲ索ムルニ急ナルノ際偶々斯ル土地ニ煙草ノ適スルヲ聞キ傳ヘ當時恰モ良圃ニ煙草ヲ植フ

ルノ禁令アルヲ幸ヒトシテ何邊ヨリカ煙草種子ヲ持チ來リ之カ栽培ヲ試ムルニ至レリ然レトモ素之經驗ナキノ作物ニシテ始メハ培養其ノ宜シキヲ得サリシカ土地ノ膏沃ナラサル爲却テ脂質微薄香味佳良ノ煙草ヲ産出シ爾來年月ヲ經ルニ從ヒ培養ノ法漸ク熟練シ改良進歩ノ功ヲ奏シ遂ニ現今ノ銘葉ノ基礎ヲ作ルニ至レリ

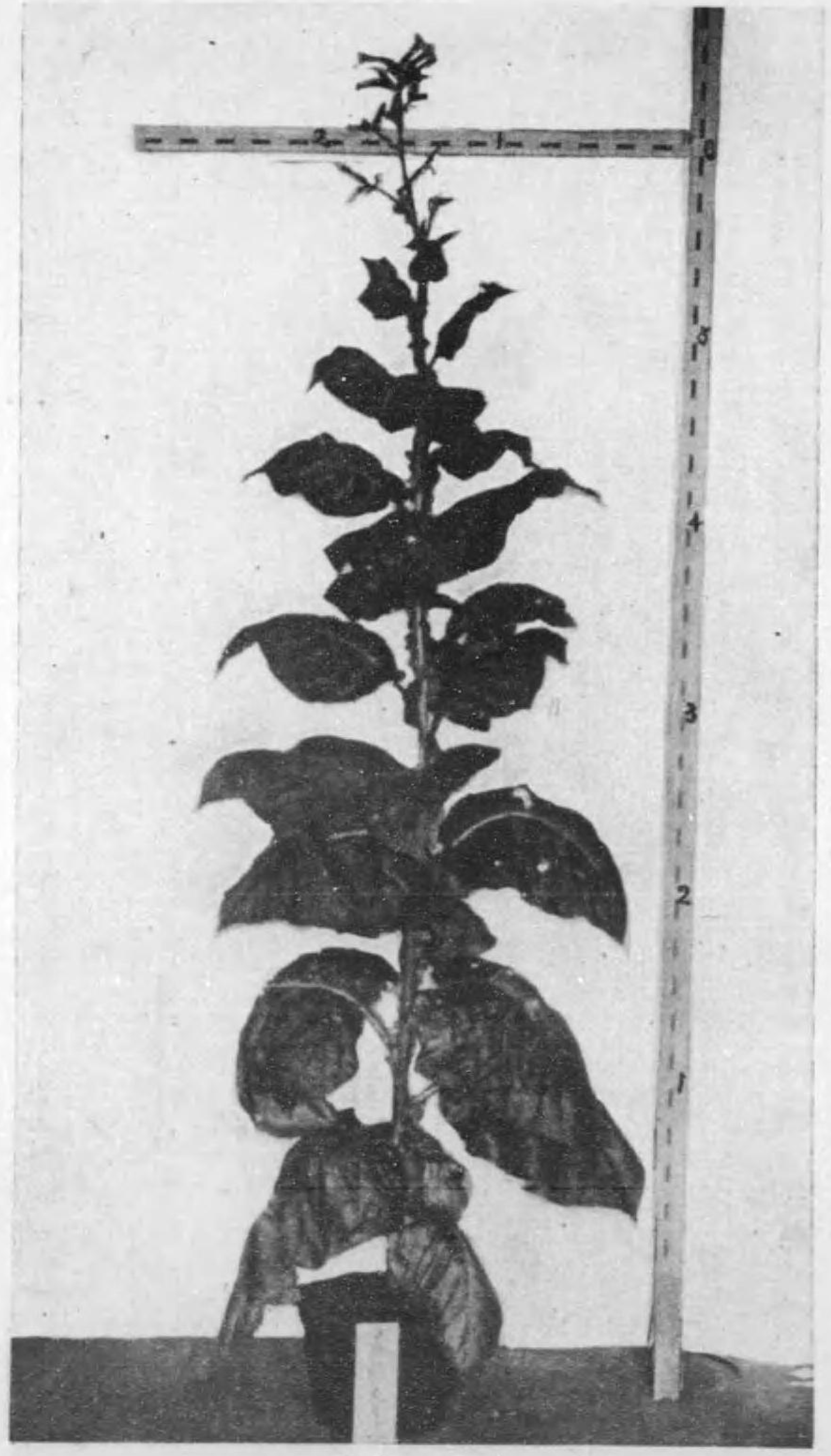
解　說

（イ）樹　勢　莖幹ハ稍屈曲シテ草丈凡ソ六尺二寸餘ニ達シ葉ハ互生ニシテ葉間平均二寸三分餘約二十九枚ヲ算シ殆ント正角ヲ爲シテ附著シ葉先著シク垂下ス莖ノ上部ハ分岐シ繖形ヲ爲シテ花實ヲ附著ス

（ロ）中位著葉　葉ハ二寸餘ノ葉柄ヲ有シ概シテ尖心臟形ヲ呈シ長サ約一尺五寸餘幅約一尺一寸餘ニ達シ全緣ヲ爲シ中骨ニ對シ支骨一般ニ鋭正角ヲ爲シ葉肉稍厚シ

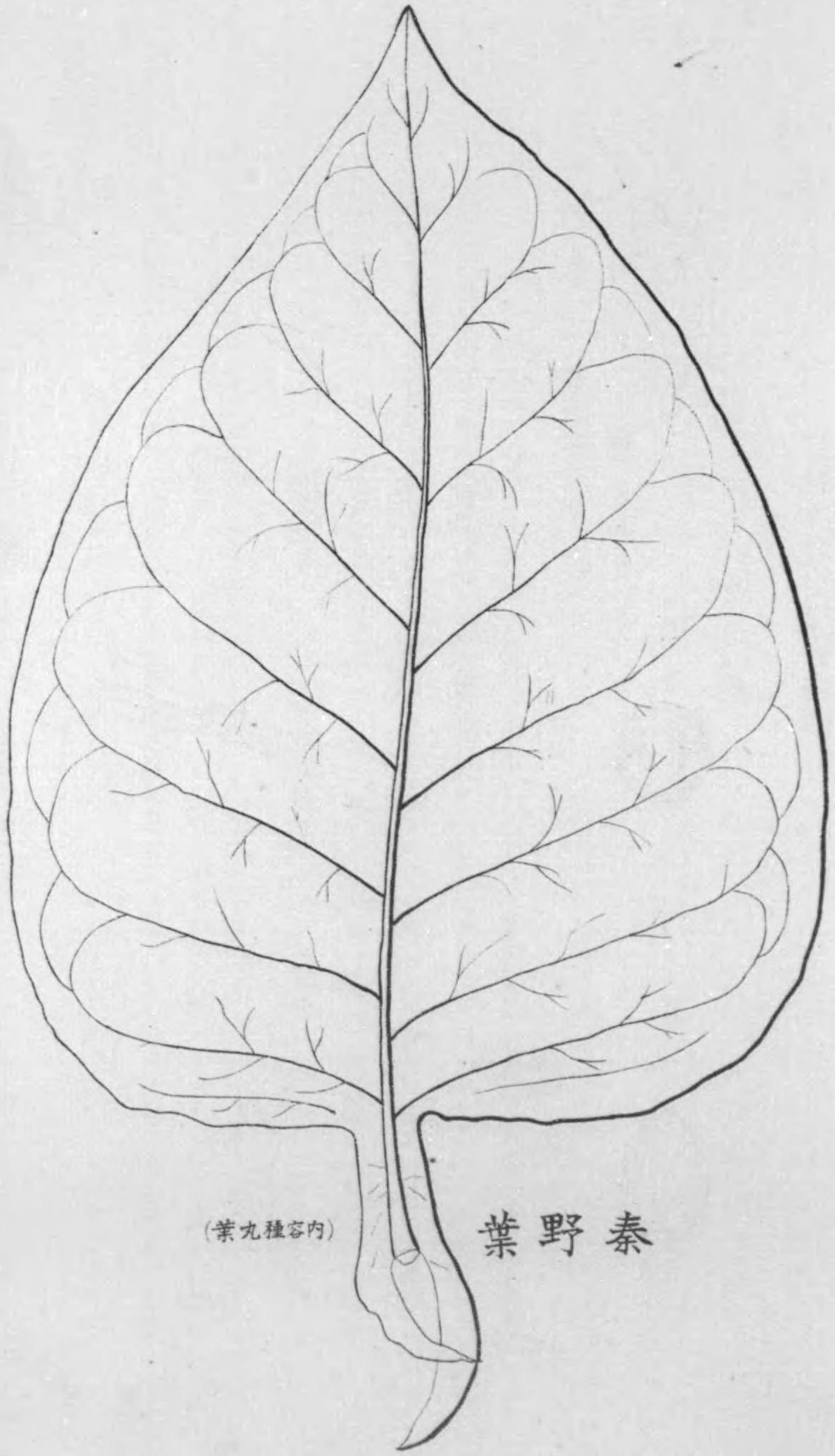
（ハ）花　部　蕚ハ普通長卵圓形ニシテ五分裂アリ花冠ハ長漏斗狀ヲ呈シ五箇ノ裂片ヲ有シ薄紅色ヲ呈シ內ニ雄蕊五箇雌蕊一箇ヲ含有ス

（ニ）蒴　果　普通卵圓形ニシテ長徑約六分五厘餘短徑約四分二厘ニ達シ內部ニ二箇ノ區劃アリ



秦野葉

（内容種丸葉）



秦野葉

(内容種丸葉)

(9) 見付專賣支局管内産

(イ) 遠州葉

内容種　永島（達磨葉系）

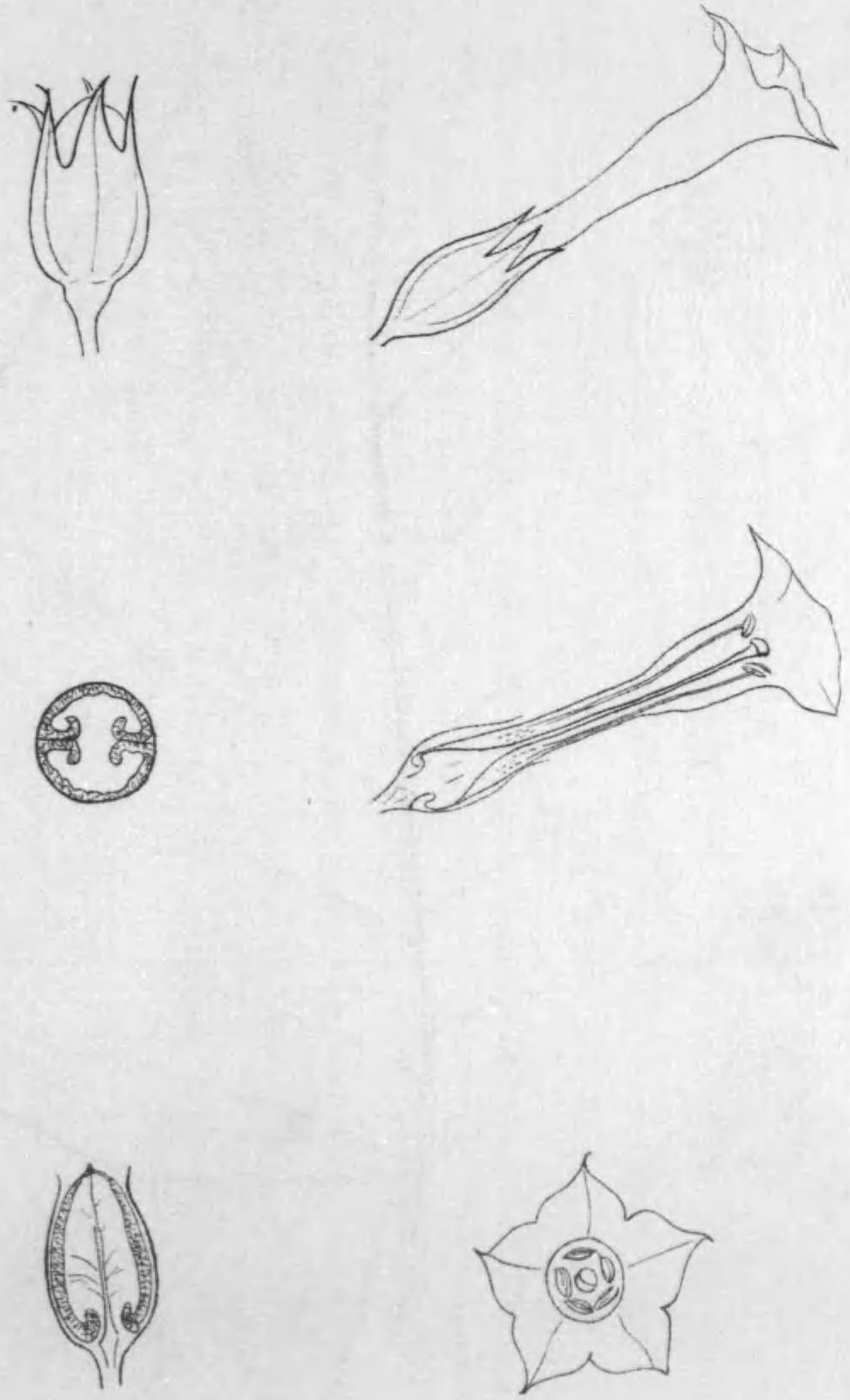
學名　Nicotiana Tabacum Var. Virginica

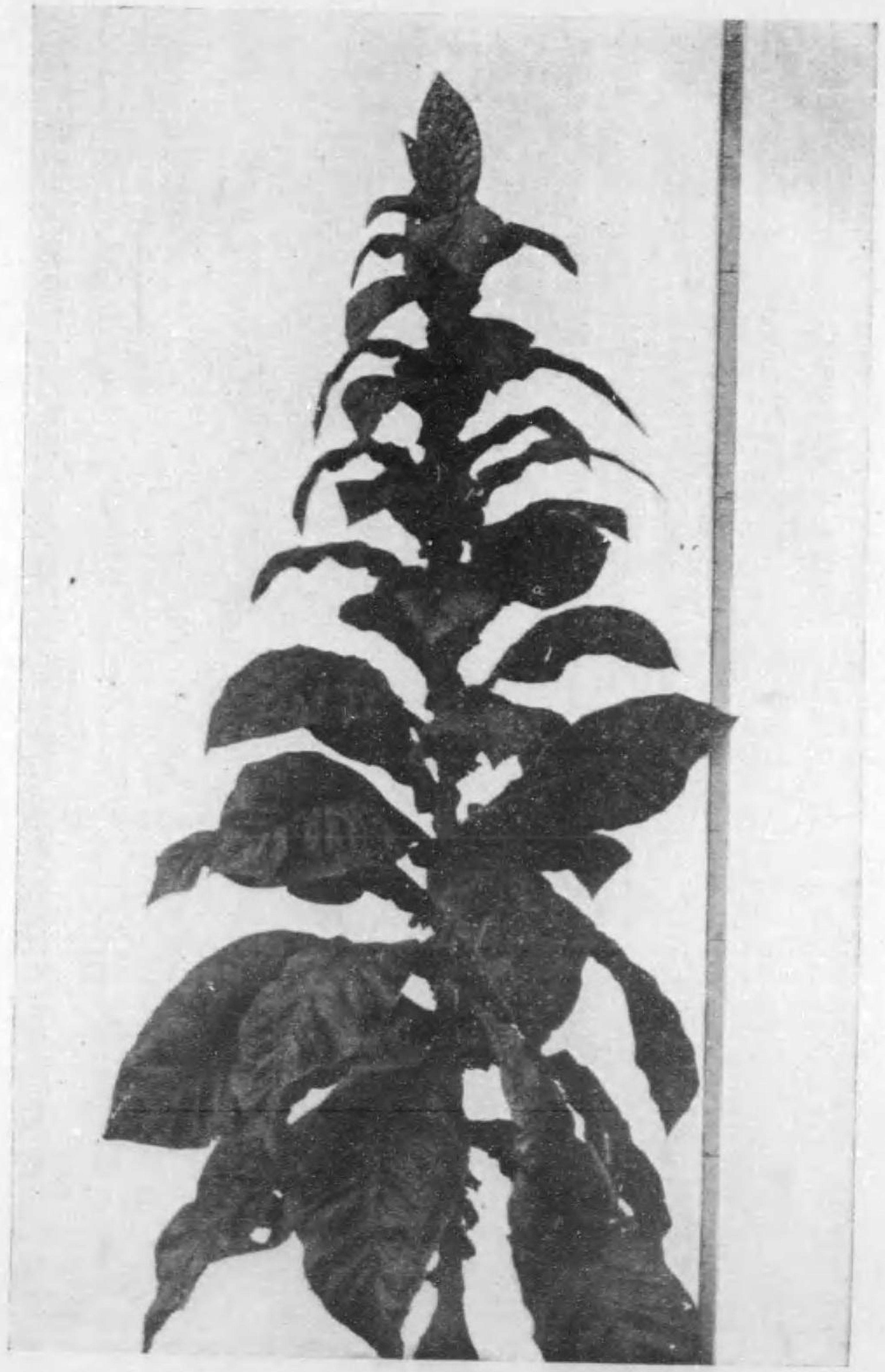
主産地　靜岡縣磐田郡、濱名郡

起源　口碑ノ傳フル所ニ依レハ今ヲ去ル凡ソ二百五十餘前年即チ萬治ノ頃磐田郡御厨村鎌田ニ始メテ某所ヨリ煙草種子ヲ持チ來リ播種栽培セルニ起源セルモノノ如シ現時ニ於ケル種類ハ一名永島種ト稱シ其ノ著葉數頗ル多ク全國ニ一モ其ノ比ヲ見サル所ニシテ明治十五年頃瀧池村永島ノ住人伊藤喜重ナルモノ自己ノ居宅附近ノ畑地ニ栽培セル在來種ニ付キ其ノ突然變化ニ基ケル變異株一、二ヲ發見シ爾來之ヲ繼續育成セシモノノ擴張傳播セルモノナリト云フ

解説

（イ）樹勢　莖幹ハ垂直ニシテ上部ニ於テ幾分屈曲性ヲ帶ヒ草丈凡ソ七尺六寸ニ達シ葉ハ互生ニシテ葉間狹ク約一寸三分著葉約五十枚ヲ算シ成熟期ニ達シテハ殆ント正角ヲ爲シテ莖ニ附著シ葉先著シク垂下ス莖ノ上部ハ分岐シ繖形ヲ爲シテ花實ヲ附ス而シテ本種ハ晩熟種ニシテ凡ソ九月上旬天





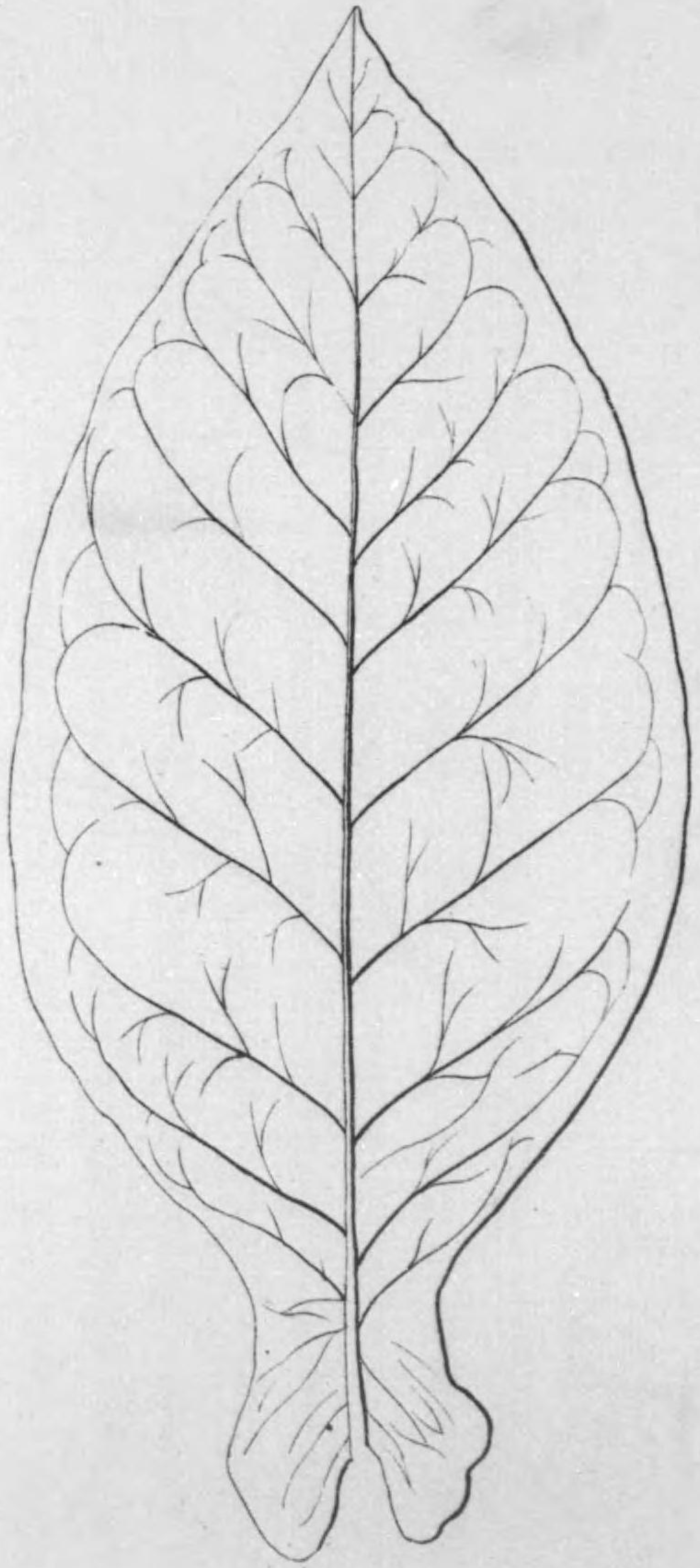
遠州葉
（内容種永島）

葉ノ成熟ニ達スルモ花蕾ハ尚抽出セス漸ク九月下旬開花ヲ始メ十月中、下旬ニ至リ種實成熟ス從テ開花當時ハ土中葉及本葉ノ大部ハ自然枯死シ樹勢衰ヘ花枝ノ伸長大ナラス實蒴亦少キヲ常トス

（ロ）中位著葉　葉ハ無柄ニシテ概シテ尖楕圓形ヲ呈シ長サ約一尺五寸幅約六寸八分ニ達シ全縁ヲ爲シ中骨ニ對シ支骨一般ニ鋭正角ヲ保チ葉肉稍厚ク皺襞ヲ有シ葉質粗剛ナリ

（ハ）花　部　萼ハ普通鍾形ニシテ五分裂アリ花冠ハ長漏斗狀ヲ呈シ五箇ノ裂片ヲ有シ薄紅色ヲ呈シ内ニ雄蕊五箇雌蕊一箇ヲ含有ス

（ニ）蒴　果　普通卵圓形ニシテ長徑約七分短徑約四分五厘内部ニ二箇ノ區劃アリ



遠州葉

(内容種永島)

(10) 名古屋專賣支局管內產

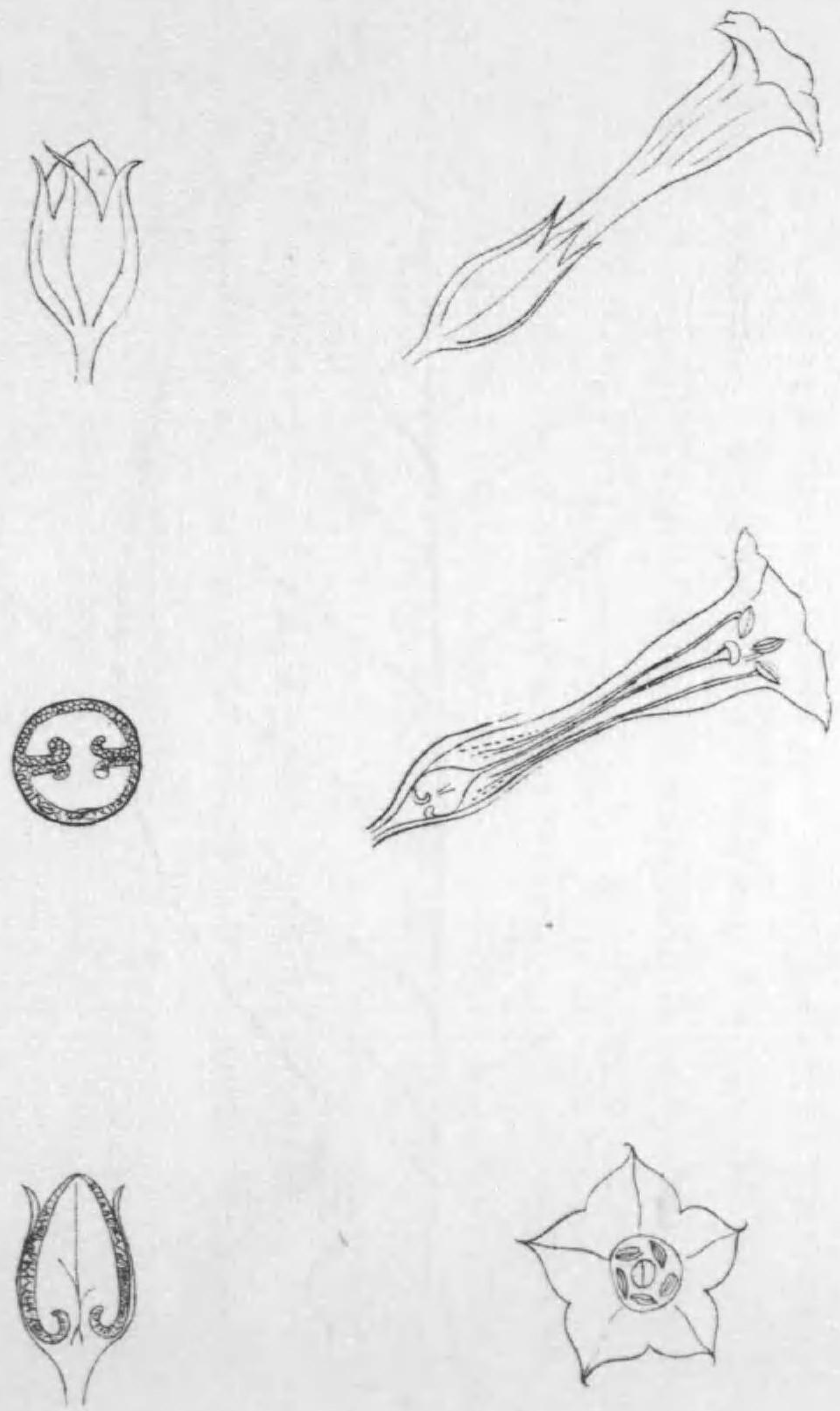
(イ) 大草葉

內容種　半　劒（水府葉系）

學名　Nicotiana Tabacum Var. Petiolata

主產地　愛知縣春日井郡、愛知郡

起源　現時ノ大草葉ナルモノハ舊石佛葉、舊前後葉及大草葉ヲ總稱シタルモノニシテ之カ耕作上ノ沿革ニ付テハ史籍ノ徵スヘキモノナキモ口碑ノ傳フル所ニ依レハ舊石佛葉ハ明和年間ノ末ニ於テ尾張國愛知郡石佛村（今ノ廣路村字石佛ナリ）ニ信州種（或ハ國分種トモ云フ）ヲ蒔キタルヲ以テ該種耕作ノ濫觴トシ爾後同郡長久手村大字長湫、岩作、猪高村大字猪子石竝東春日井郡旭村大字稻葉、三鄕、今新居、印場等ノ各地ニ擴張シ又前後葉ニアリテハ之又其起源石佛葉ニ異ナルナク當初ハ尾張國愛知郡前後村（今ノ豐明村大字前後）ニ耕作セシヲ以テ此ノ名稱アルモノノ如ク嘉永年間ニ至ル頃迄ハ僅ニ一二ケ村ニテ耕作スルモノアルニ止マリシカ爾後愛知郡南部ニ擴マリ次テ知多、碧海、西加茂、幡豐ノ各郡ニ傳播セシモノノ如ク又大草葉ノ起源ニ付テハ更ニ茫漠タルモノニシテ歷史ノ徵スヘキモノナク口碑ノ之ヲ傳フルモノナケレハ其ノ沿革ヲ知ルヲ得サルモ想フニ其ノ創始



ハ石佛葉、前後葉産地ト大差ナカルヘク其ノ初メ東春日井郡篠岡村大字大草村ニ栽培シタルヲ以テ大草葉ノ稱呼ヲ付スルニ至リシモノナラン以上ノ事蹟ニ依レハ各産地トモ略其ノ起源ヲ同フセルモ各其ノ種ノ特性ヲ有シ産地ヲ區劃シテ耕作セラレ居リシカ耕作地相接近セルヲ以テ幾多ノ星霜ヲ經過セル間ニハ耕作ノ簡易ナルヲ見テハ石佛葉産地ニ前後葉ヲ栽培スルモノアリ又收益ノ多大ナリシヲ耳ニシ前後葉産地ニ大草葉ヲ耕作スルモノアリテ遂ニ種類ノ交雜ヲ見ルニ至リ現時ニアリテハ其ノ品質特性ニ於テ甚タシキ軒輊ナク三種ヲ存置スルノ必要ナキニ依リ大草葉ノ一種名トナスニ至レリ

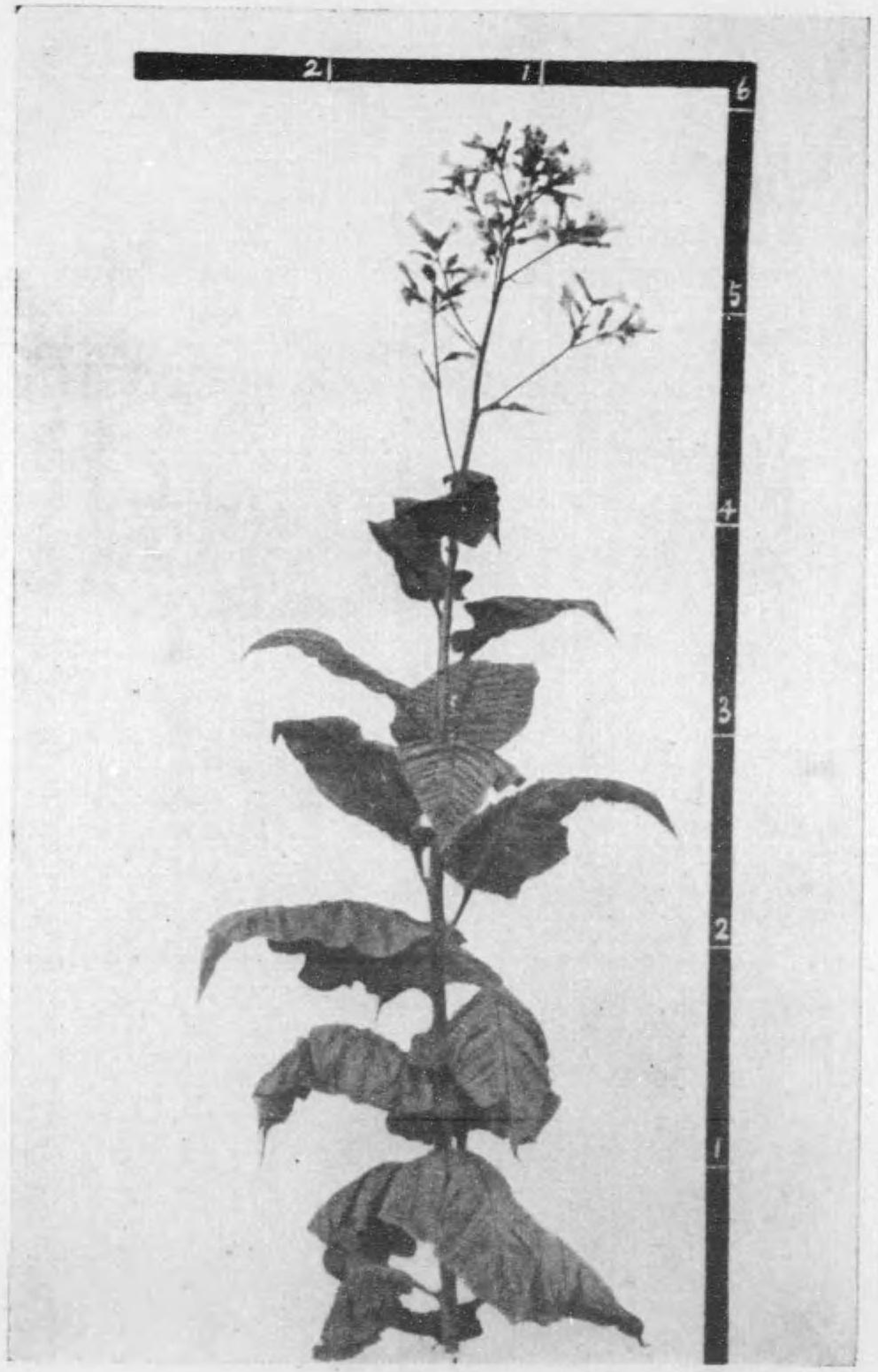
解説

（イ）樹　勢　莖幹ハ垂直ニシテ草丈約六尺ニ達シ葉ハ互生ニシテ葉間ハ根元ノ部分密接シ上部ニ進ムニ從ヒ粗キ傾向ヲ呈スルモ普通ハ二寸三分位ノ間隔ニシテ葉數約十七枚ヲ算シ稍正角ヲ爲シテ幹ニ附着シ各葉尖ハ少シク垂下ノ傾向ヲ呈セリ而シテ莖ノ上部ハ繖形ヲ爲シ花實約百三十箇ヲ附着ス

（ロ）中位着葉　葉ハ稍長キ葉柄ヲ有シ概シテ長心臟形ヲ呈シ長サ約一尺六寸五分幅約九寸四分ニ達シ全緣ヲ爲シ中骨ニ對シ支骨ハ一般ニ鋭正角ヲ爲シ葉肉稍厚シ

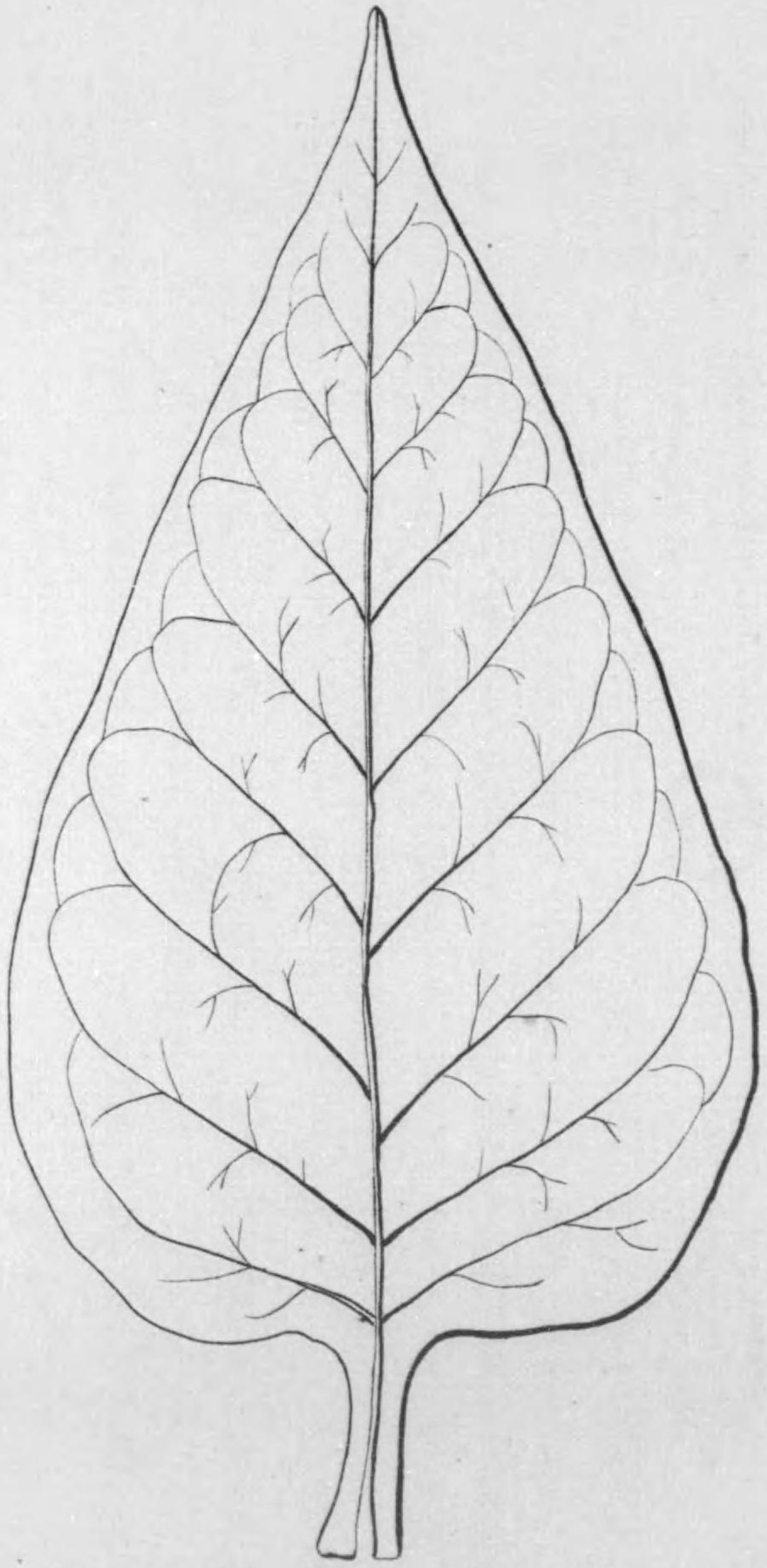
（ハ）花　部　萼ハ普通鐘形ヲ呈シ五分裂アリ花冠ハ長漏斗狀ニシテ五箇ニ片裂シ淡紅色ヲ呈シ内部ニ五箇ノ雄蕊及一箇ノ雌蕊ヲ含有ス

（ニ）蒴　果　普通卵圓形ニシテ長徑約六分五厘短徑約四分五厘ニシテ表皮ニ四條ノ筋跡ヲ有シ内部ニハ二箇ノ區劃アリ



大草葉

（内容種半剱）



大草葉

(内容種半紹)

(ロ)上地葉

內容種 上　地（水府葉系）

學　名 Nicotiana Tabacum Var. Petiolata

主產地 三重縣度會郡

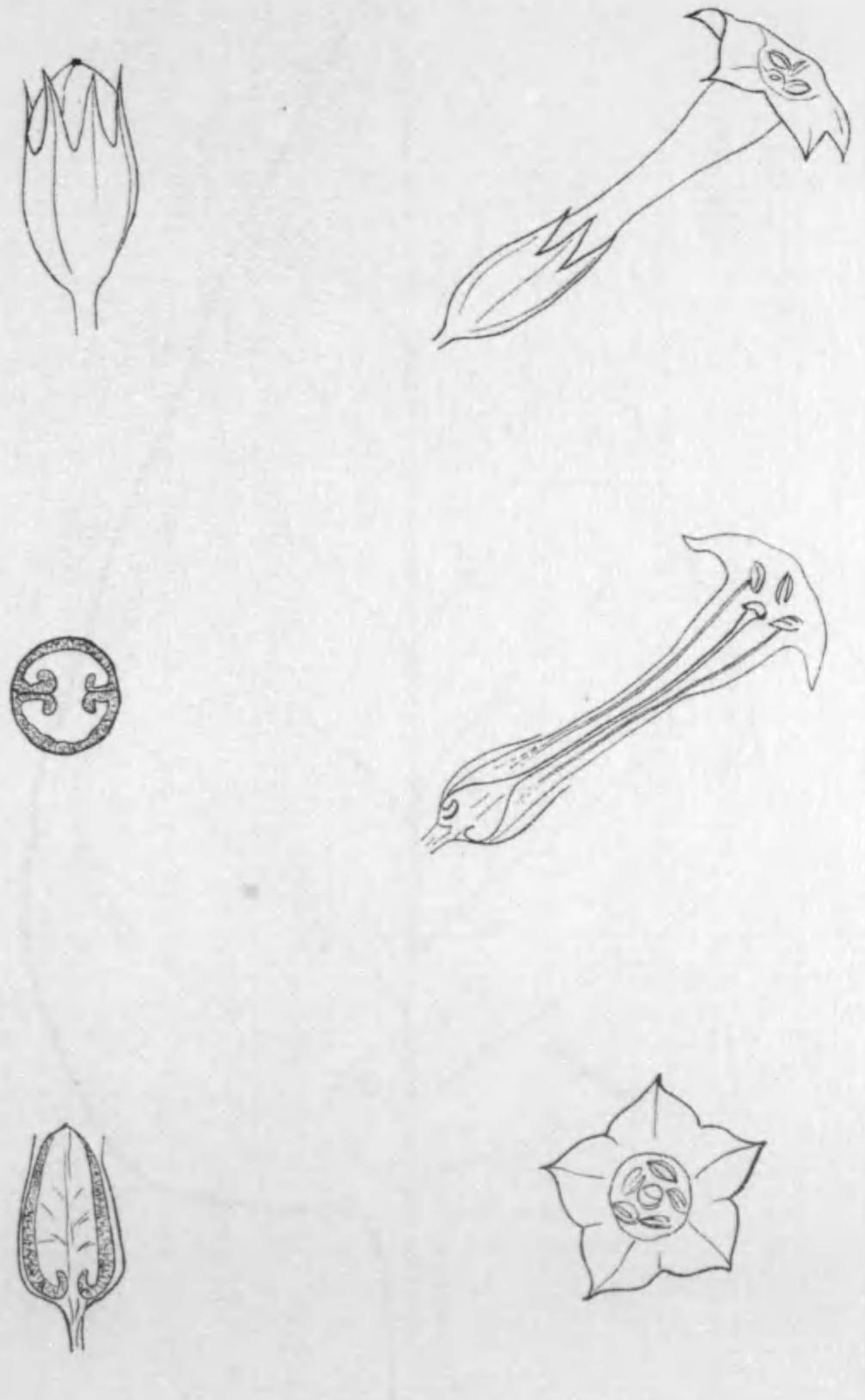
起　源 上地慶藏院ニ板田野芝成立記ナル一記錄アリ其ノ一說ニ元和四年三月薩摩國人伊勢參拜ノ途次今ノ田丸町ニ於テ俄然發病シ上地慶藏院ニ祈禱ヲ乞ヒタルニ病全癒セリ而シテ歸國ノ後三年ニシテ再大廟ニ參拜シ齋ス所ノ一玉ノ刻煙草ト五勺許リノ煙草種子トヲ慶藏院ニ贈レリ之煙草ヲ當地方ニ栽培セルノ濫觴ニシテ最初何レノ地ニ種藝セシヤハ記錄ノ憑ルヘキモノナキヲ以テ考證スヘカラスト雖或ル人右種子ヲ請ヒ得テ之ヲ上地村字野垣內ニ試植セリトノ口碑アリ

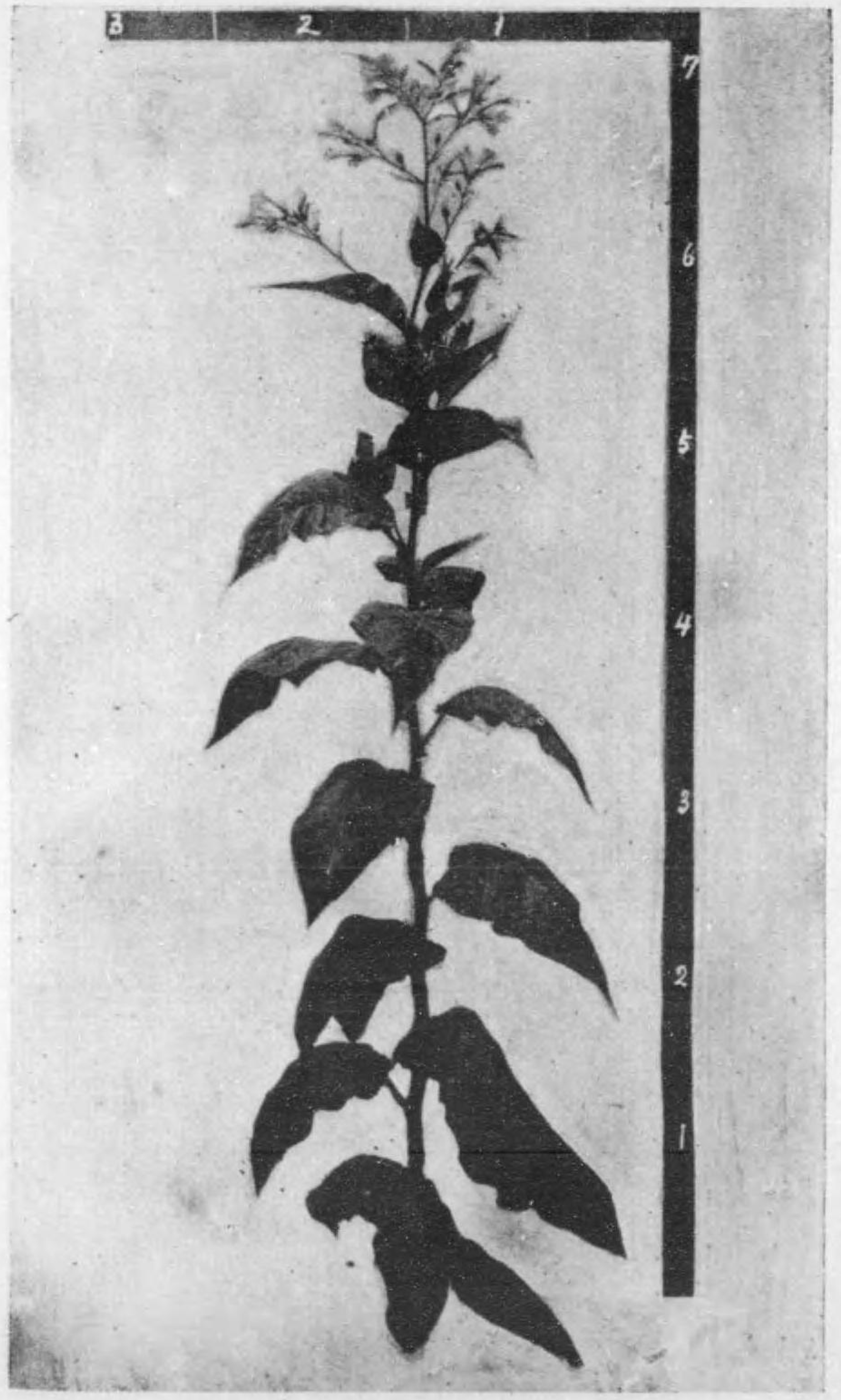
解　說

（イ）**樹　勢**　莖幹ハ垂直ニシテ草丈約七尺二寸ニ達シ葉ハ互生ニシテ平均葉間約二寸九分著葉數約二十一枚ヲ算シ殆ント鋭正角ヲ爲シテ莖ニ附著シ葉先稍垂下ス

（ロ）**中位著葉**　葉ハ稍長キ葉柄ヲ有シ概シテ長臟形ヲ呈シ長サ約一尺一寸幅約七寸ニ達シ全緣ヲ爲シ中骨ニ對シ支骨ハ一般ニ鋭正角ヲ爲シ葉肉概シテ中庸ナリ

（ハ）**花　部**　蕚ハ鐘形ニシテ五分裂アリ花冠ハ長漏斗狀ヲ呈シ五個ノ裂片ヲ有シ淡紅色ヲ呈シ內

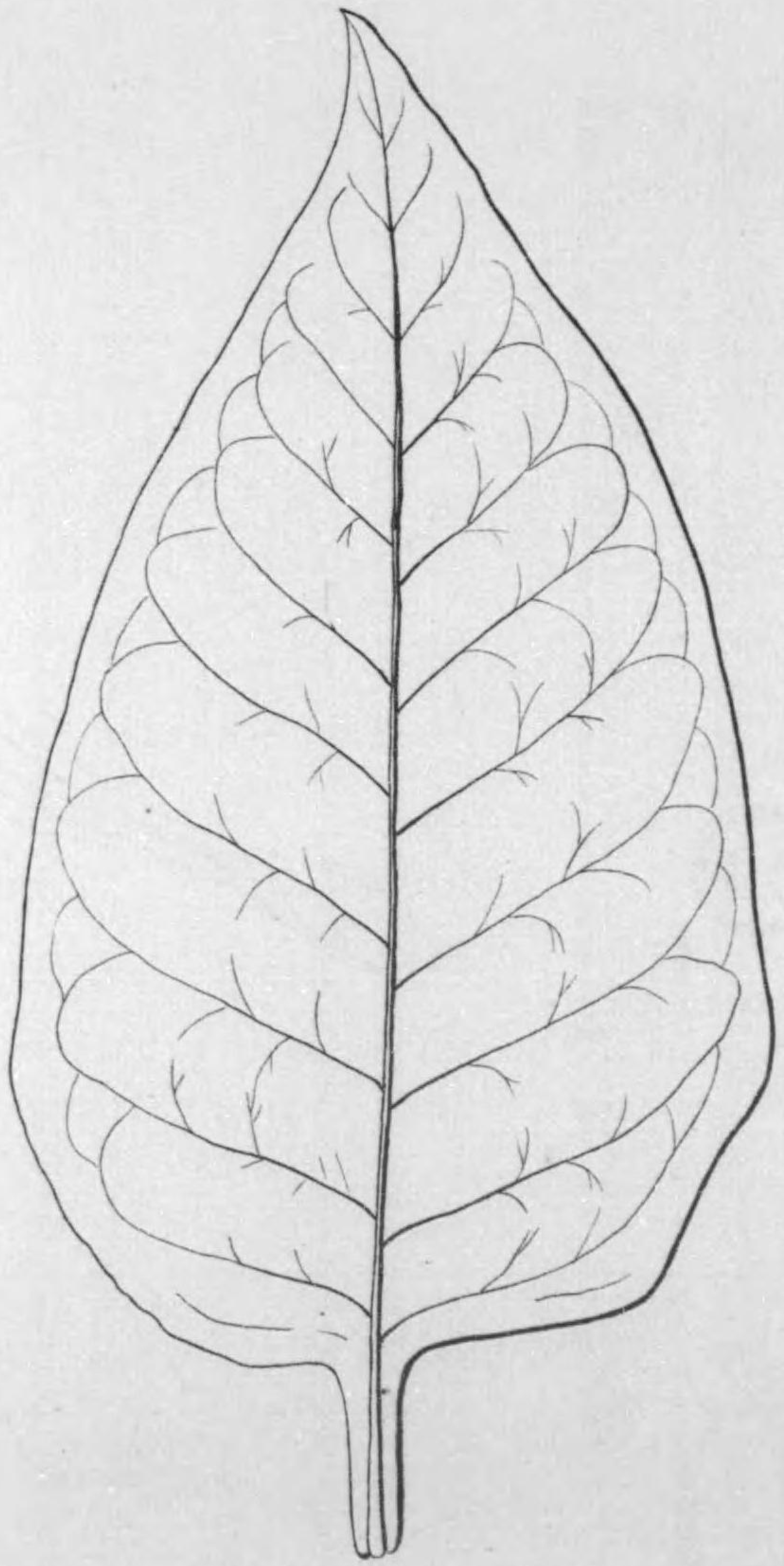




上　地　葉
（內容種上地）

ニ雄蕊五箇雌蕊一箇ヲ含有ス

（ニ）蒴　果　普通卵圓形ニシテ長徑約七分短徑約四分內部ニ二箇ノ區劃アリ



上地葉

(内容種上地)

(ハ) 中野葉

內容種　丸　葉

學名　Nicotiana Macrophylla Purpurea

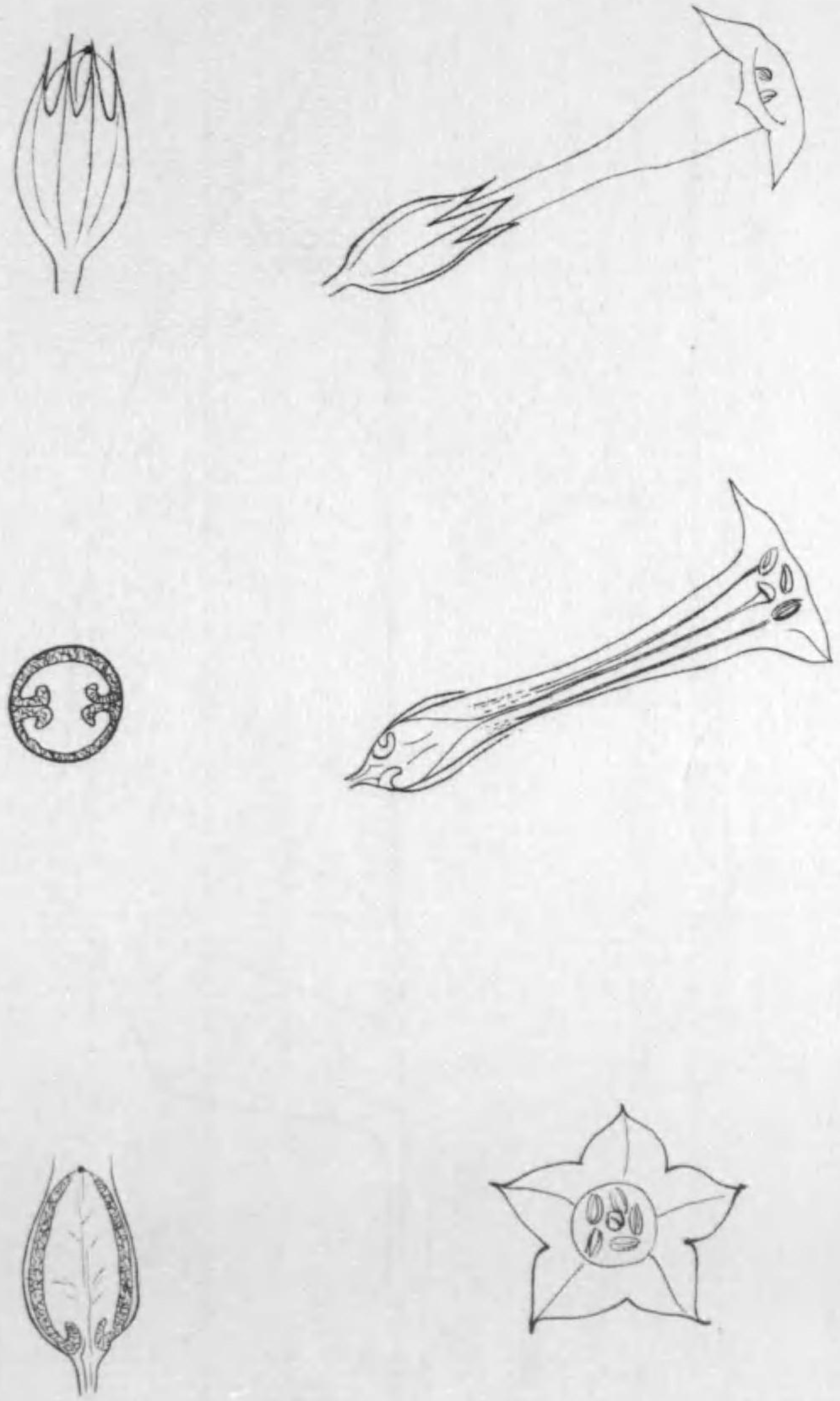
（編者曰ク解說竝實物ヨリ推究スルニ『ニコチアナ、マクロヒラー』タルコト疑ナシ然レトモ本種モ亦他種類ト等シク遠ク海外ヨリ移入セルモノトセハ如何ニシテ本產地ニノミ獨リ本種存續シ他地方ニハ絕ヘテ同一系統ノモノアラサルカ甚奇異ノ感ナクンハアラス夫レトモ本種類ハ初メ海外ヨリ移入セラレシ際他所ニモ試作セラレシコトアルモ何レモ其ノ風土ノ適セサリシカ爲廢滅トナリ獨リ當地方ノミニ適當種トシテ存續シツツアルモノカ然ラスンハ栽培當初ハ他地方ト同シク『ニコチアナ、タバカム』ヲ耕作シツツアリシモ永年耕作ノ間ニ於テ『ニコチアナ、マクロヒラー』ト極メテ類似セル形容ヲ帶ヘルモノヲ突然變異ノ現象ニ依リ發生シ爾後漸次增殖シ遂ニ現今ニ到レルモノカ暫ク記シテ後日ノ硏究ヲ俟ツコトトセン）

主產地　滋賀縣蒲生郡

起源　何等記錄ノ徵スヘキモノナキモ口碑ノ傳フル所ニ依レハ今ヲ去ル凡ソ二百年以前即チ享保ノ頃ヨリ既ニ當地方ニ煙草栽培ノ事實アリシモノノ如シ而シテ現時ノ種類ハ安永初年ノ頃蒲生郡市邊村ノ和平次ナルモノ俗稱おたふく種ト稱スル多收種類ヲ發見シ之ヲ同郡中野村大字小今門野某ニ貽リ試作セシメタルニ起源スルト云フ

解說

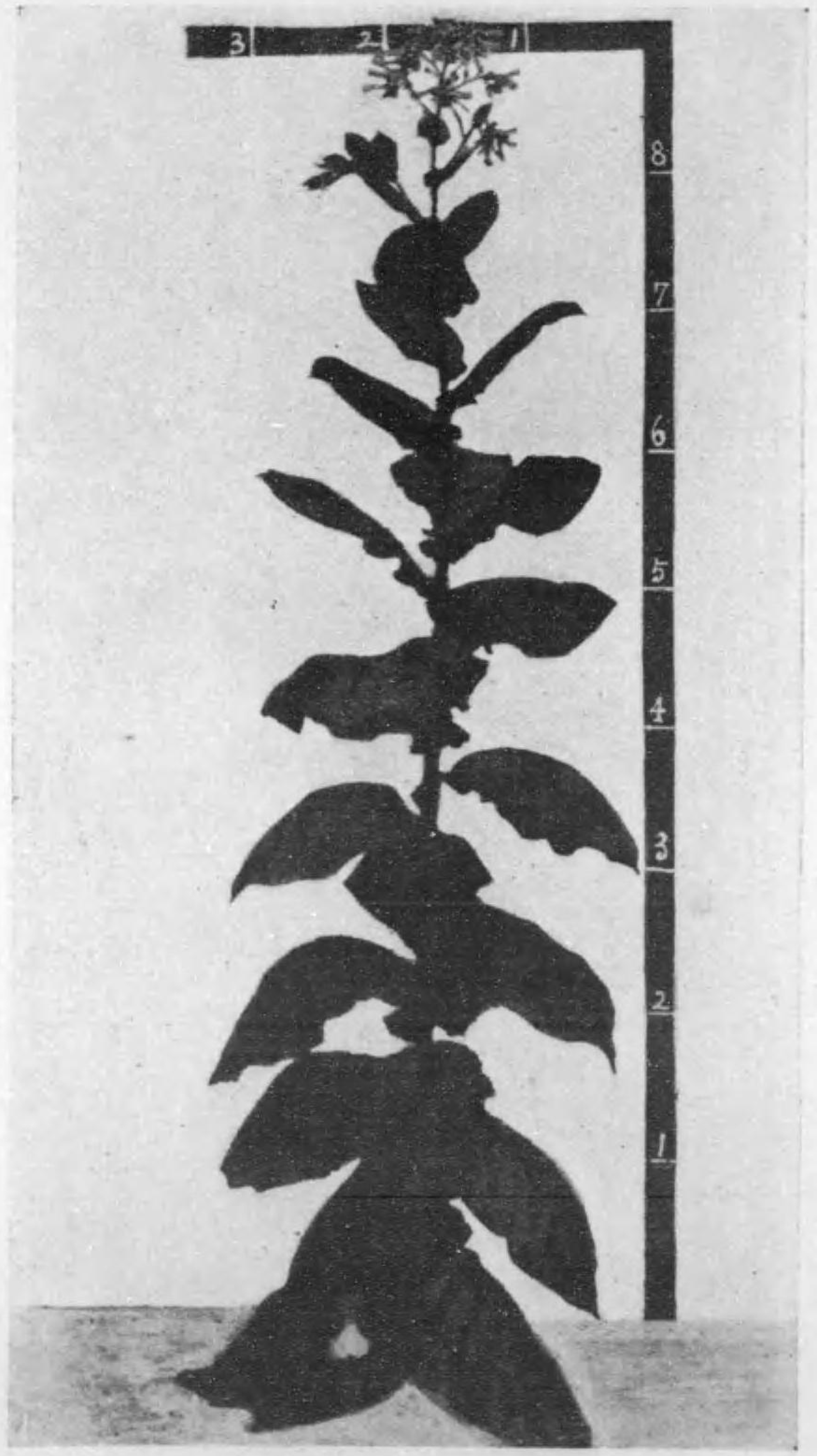
（イ）樹勢　莖幹ハ垂直ニシテ草丈凡ソ八尺七寸アリ葉ハ互生ニシテ葉間廣ク平均三寸五分位葉數約二十五枚ヲ算シ殆ント正角ヲ爲シテ莖ニ附著シ下部ヨリ十三四枚ハ葉尖垂下ス莖ノ上部ハ數枝ニ分岐シ繖形ヲ爲シ花實ヲ附著ス



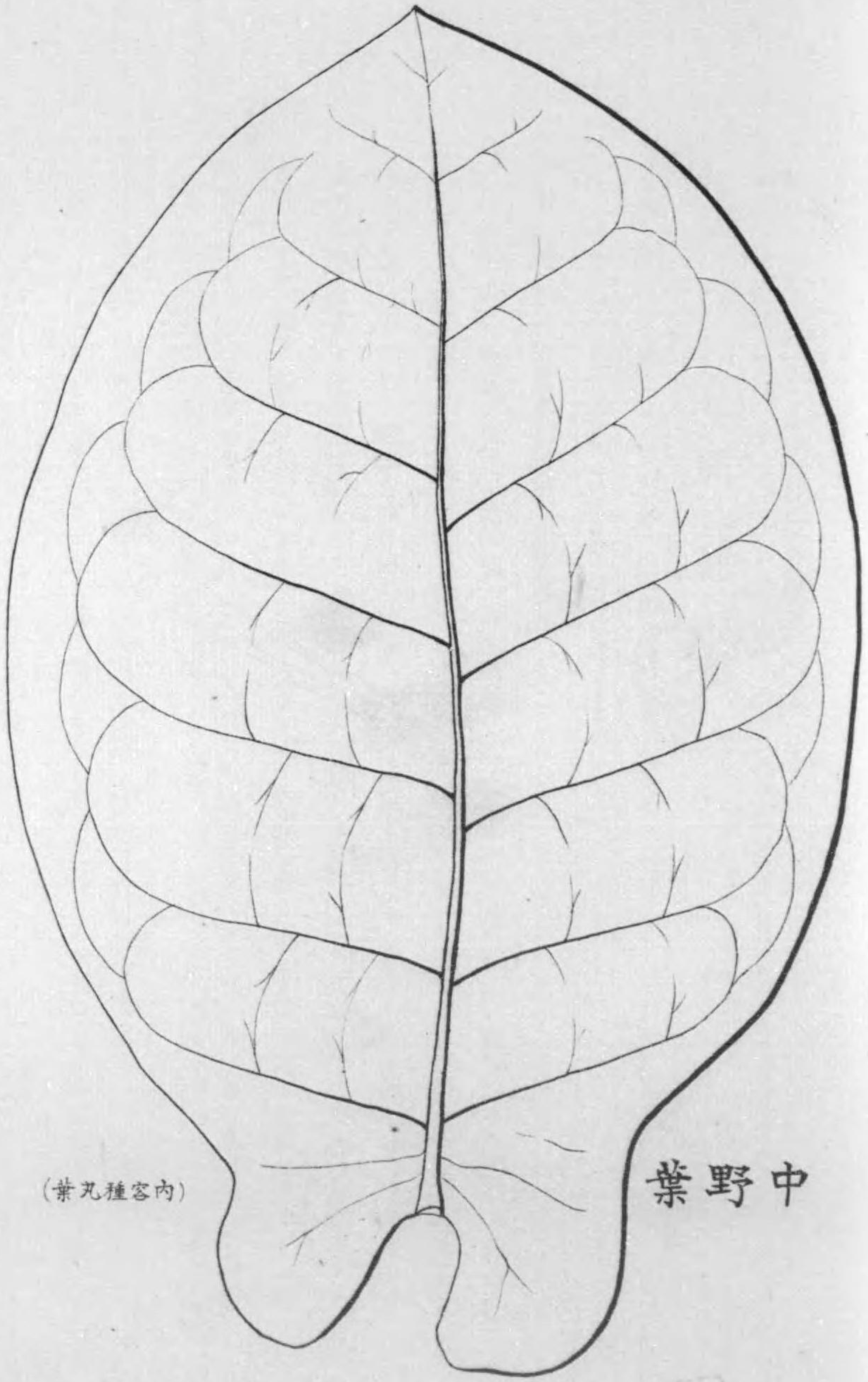
（ロ）中位著葉　葉ハ無柄ニシテ著シク廣ク長キ耳葉ヲ有シ莖圍リノ約六分通リ迄圍繞シ葉ハ概シテ卵圓形ヲ呈シ長サ約一尺七寸七分幅約一尺二寸ニ達シ全縁ヲ爲シ中骨ニ對シ支骨ハ一般ニ鈍正角ニシテ葉肉中庸ナリ

（ハ）花　部　萼ハ普通鐘形ニシテ五分裂トナリ花冠ハ長漏斗狀ニシテ淡紅色ヲ呈シ五箇ノ裂片ヲ有スレトモ裂目不完全ニシテ恰モ五角形ト圓形トノ中央ノ觀ヲ呈ス內部ニ雄蕊五箇雌蕊一箇ヲ含有ス

（ニ）蒴　果　普通卵圓形ニシテ長徑約六分短徑約四分內部ニ二箇ノ區劃アリ



中野葉
（內容種丸葉）



中野葉

(内容種丸葉)

(11) 金澤專賣支局管內產

(イ) 鶴 來 葉

內容種　國　分　（國分葉系）

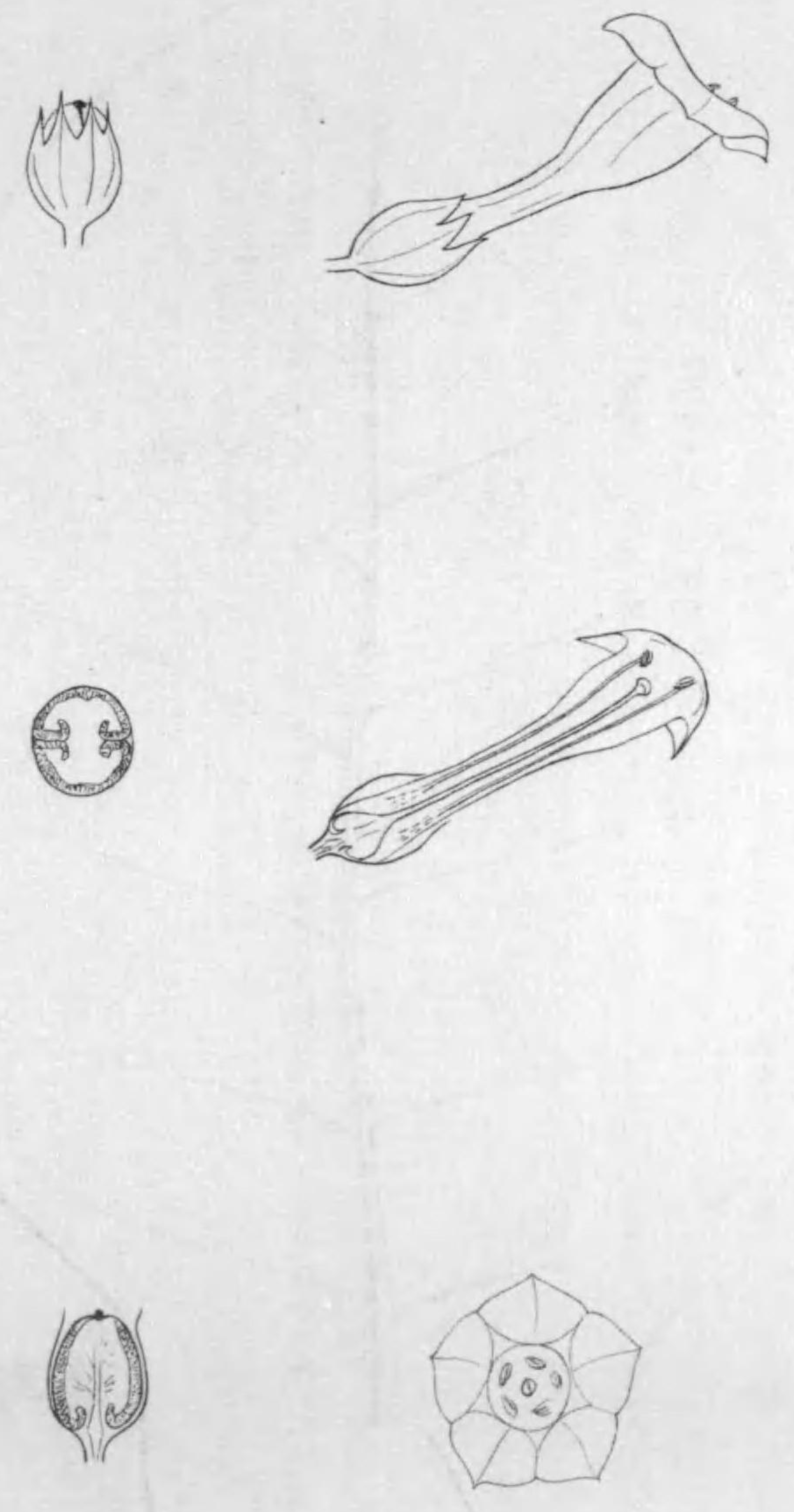
學　名　Nicotiana Tabacum Var. Petiolata

主產地　石川縣石川郡、能美郡

起　源　口碑ノ傳フル所ニ依レハ加賀藩三代ノ藩主前田利常寛永ノ頃藩內ニ葉煙草ノ產出ナキヲ憾ミト爲シ薩州ヨリ種子ヲ取リ寄セ之ヲ能美郡河合村ニ頒布シ耕作セシニ創ルト云フ爾來之ヲ河合煙草ト稱シ栽培ヲ繼續シ來リ葉形一般ニ長ク一株當十六七枚ノ著葉ヲ有シ色澤良ク肉薄ク中骨至ッテ細ク且至ッテ早熟種類ナリシカ明治十七年ニ至リ鳥越村大字上吉谷ノ住人東藤市左衞門ナル者郡ノ選拔ヲ得テ技ヲ鹿兒島縣下國分地方ニ學ヒ其ノ際國分種ヲ齎シテ歸リ之カ栽培ヲ試ミシニ河合種ニ比シ大ニ成蹟良好ナリシニ依リ漸次河合種ヲ驅逐シ明治三十年頃ニ至リ遂ニ國分種ノミ繁榮シ河合種ハ全ク其ノ跡ヲ絕ツニ至レリ

解　說

（イ）樹　勢　莖幹ハ垂直ニシテ草丈六尺內外ニ達シ葉ハ互生ニシテ平均葉間約二寸著葉普通二十

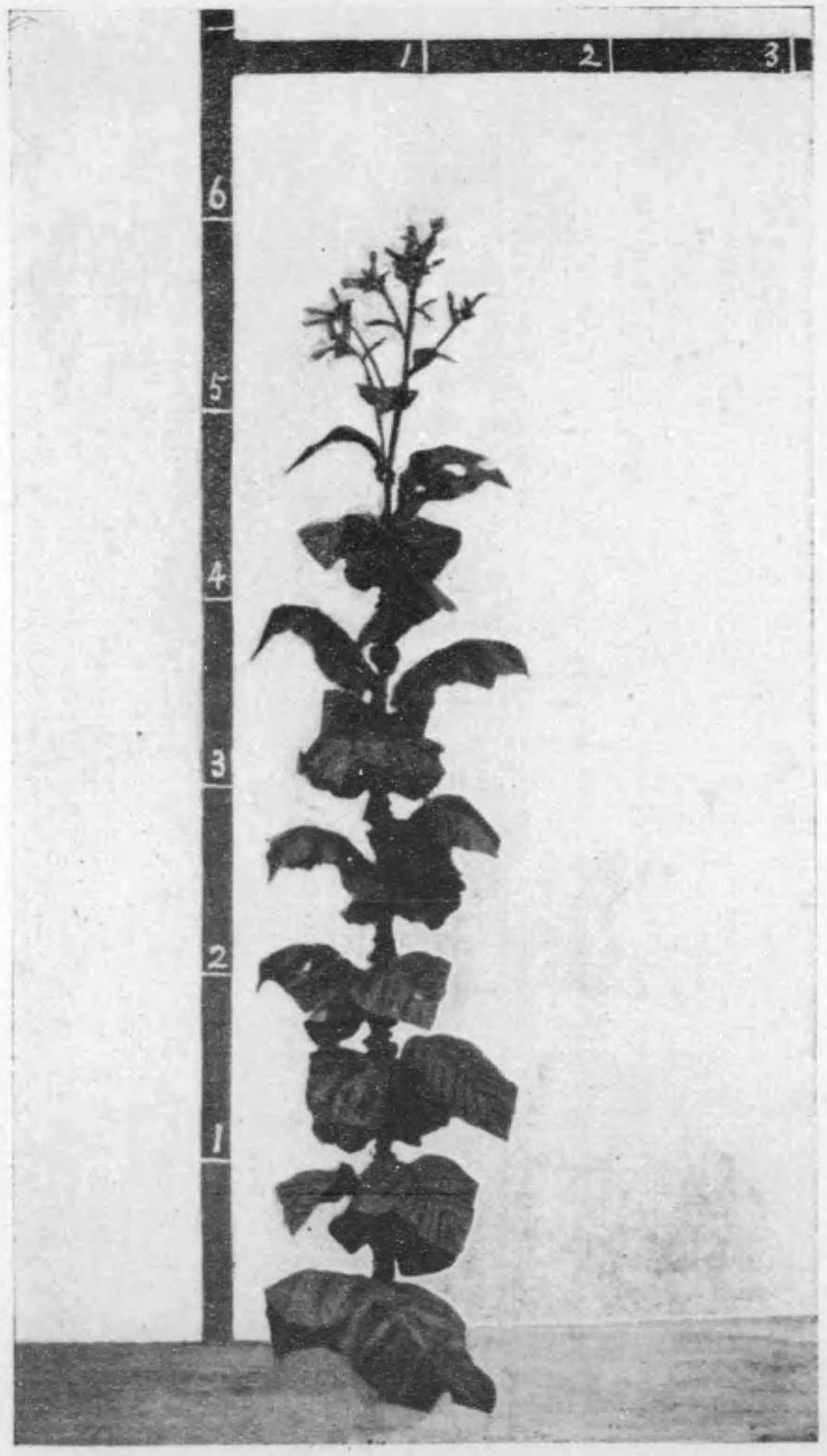


五枚ヲ算シ殆ント正角ヲ爲シテ莖ニ附著シ葉先垂下ス莖ノ上部ハ分岐シテ繖形ヲ爲シ花蕾ヲ附著ス

（ロ）中位著葉　葉ハ短キ葉柄ヲ有シ短心臟形ヲ爲シ長サ約九寸幅約八寸四分ニ達シ中骨ニ對シ支骨一般ニ鋭正角ヲ爲シ中支骨共ニ比較的細ク葉肉概シテ薄シ

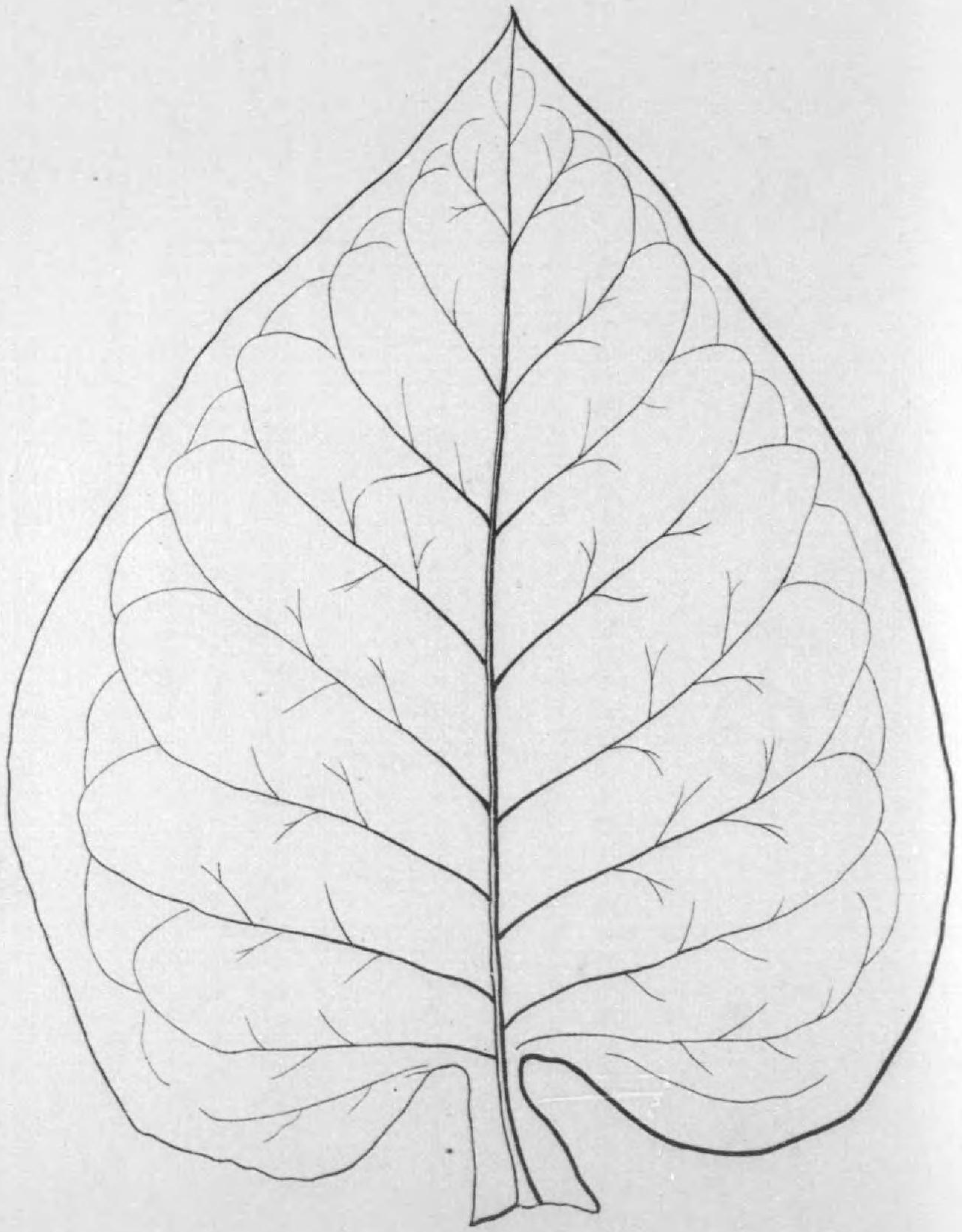
（ハ）花　部　蕚ハ普通鐘形ニシテ五分裂アリ花冠ハ長漏斗狀ヲ呈シ五箇ノ裂片ヲ有シ薄紅色ニシテ内ニ雄蕊五箇雌蕊一箇ヲ含有ス

（ニ）蒴　果　普通卵圓形ニシテ長徑約七分短徑約五分アリ内部ニ二箇ノ區劃アリ



鶴來葉

（內容種國分）



鶴來葉

(內容縮圖分)

（ロ）勝山葉

內容種　丹　波　（達磨葉系）

學　名　Nicotiana Tabacum Var. Virginica

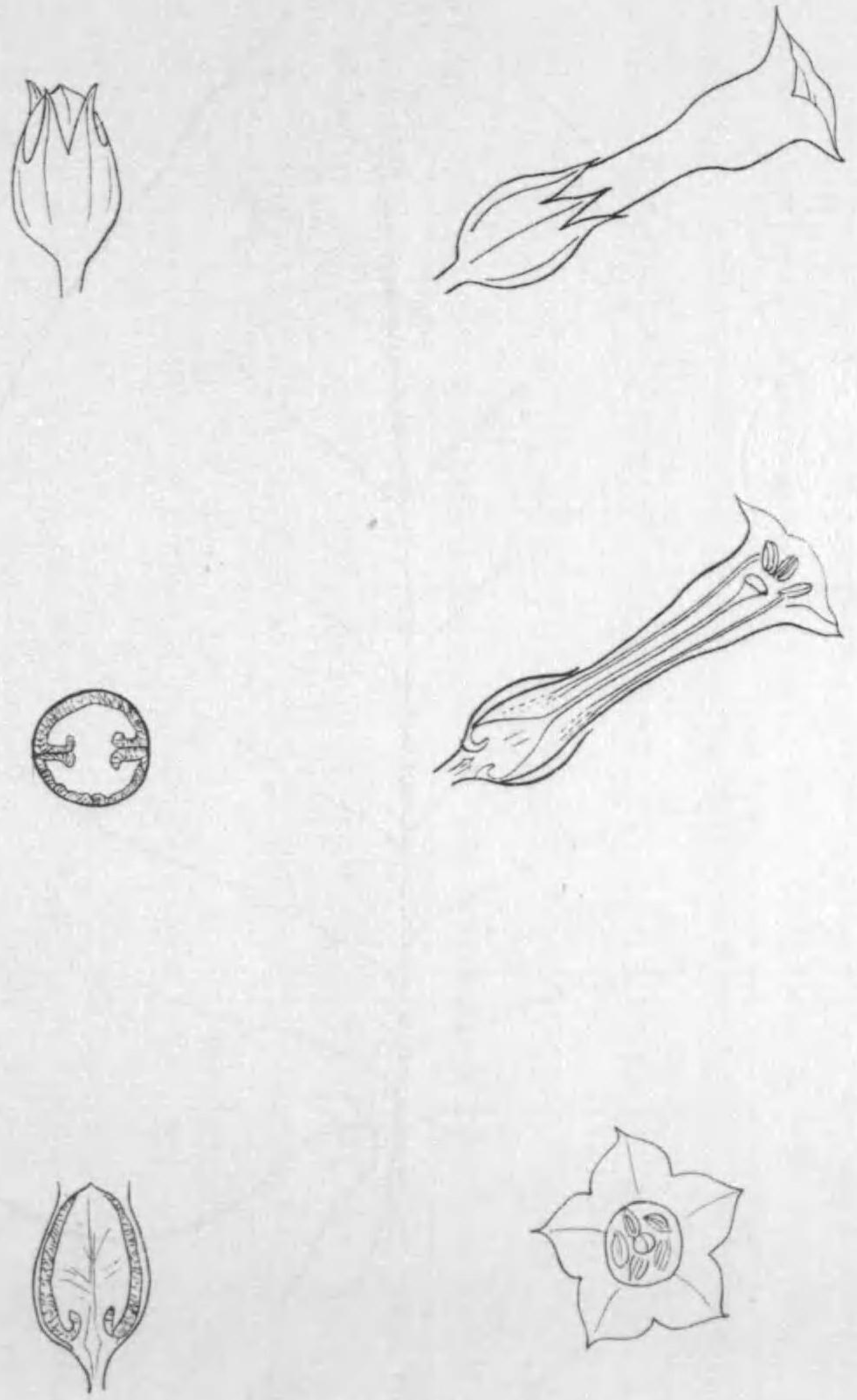
主產地　福井縣大野郡

起　源　舊記ノ徵スヘキモノナク古老ノ言ニ依レハ今ヨリ凡ソ百二十年以前即チ寛政ノ頃勝山地方ノ一部落ニ於テ既ニ展葉ト稱スル煙草ヲ栽培シタリシカ如シ其ノ原產地年號等ハ詳ナラス然レトモ本種ハ害蟲ノ喰害甚大ナリシカハ弘化初年ノ頃何處ヨリカ「蟲喰ハス」ト稱スル一種ヲ持チ來リ之ヲ栽培シツツアリシニ後年ニ至リ偶々丹波本山ヨリ種子ヲ持チ來レル者アリ栽培ノ事蹟ニ徵スルニ在來種ニ比シ最能ク其ノ土地ニ恰適セルヲ認メラレシカハ明治三十九年ニ至リ全部本種類ニ統一セラルルニ至レリ

解　說

（イ）樹　勢　莖幹ノ中部以下ハ垂直ナリト雖上部ニ至ルニ從ヒ多少屈曲性ヲ帶ヒ草丈凡ソ五尺七寸餘ニ達シ葉ハ互生ニシテ平均葉間約二寸二分著葉普通十八九枚ヲ算シ一般ニ正角ヲ爲シテ莖ニ附著ス莖ノ上部ハ分岐シテ繖形ヲ爲シ花實ヲ附著ス

（ロ）中位著葉　葉ハ無柄ニシテ長楕圓形ヲ呈シ長サ約一尺七寸幅約九寸ニ達シ全緣ヲ爲シ中骨ニ對

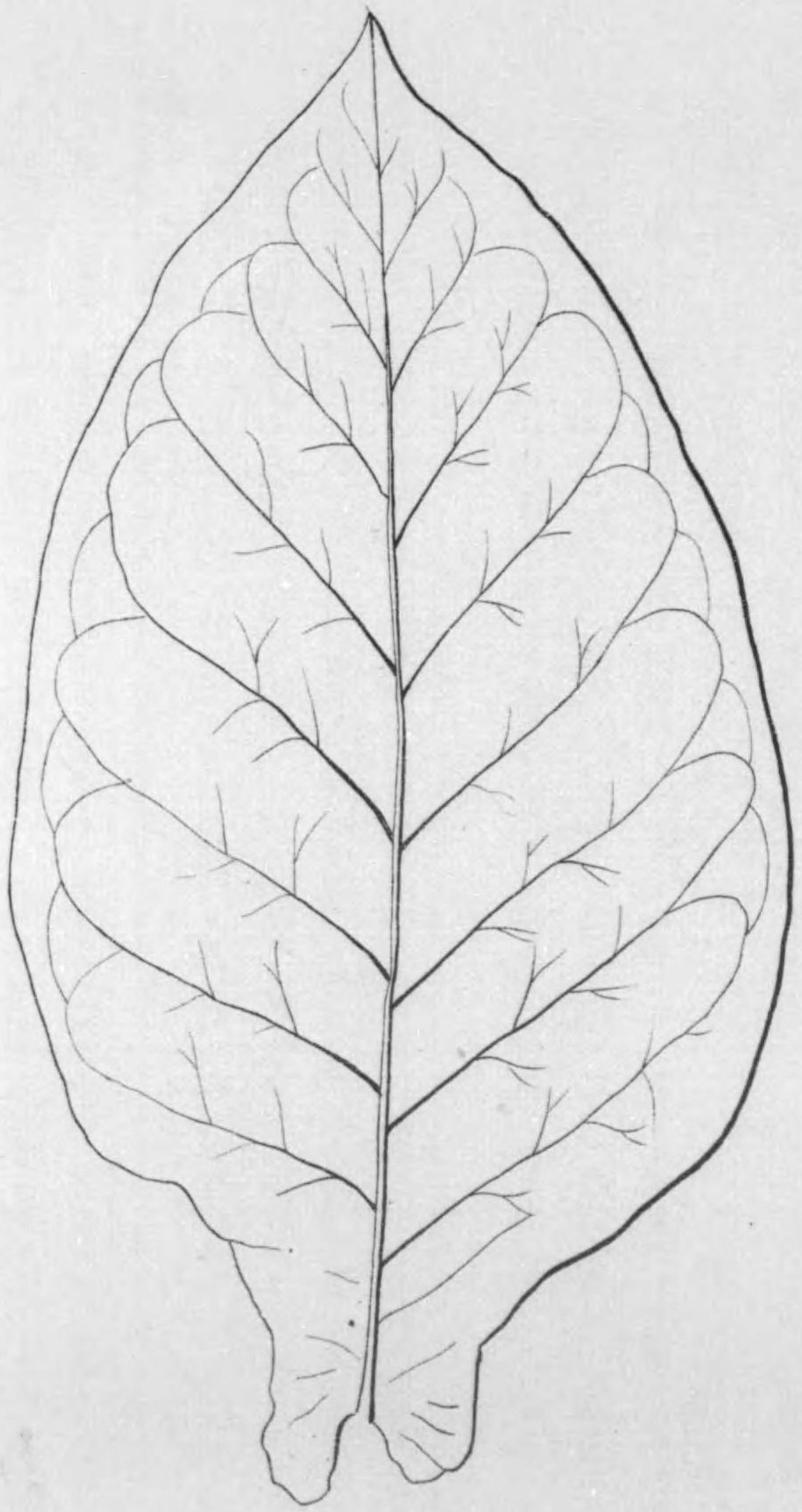


勝山葉
（內容種丹波）

シ支骨一般ニ鋭正角ヲ爲シ葉肉概シテ厚ク中支骨太シ

（ハ）花　部　萼ハ鐘形ニシテ五分裂アリ花冠ハ長漏斗狀ヲ呈シ五箇ノ裂片ヲ有シ薄紅色ヲ呈シ內ニ雄蕊五箇雌蕊一箇ヲ含有ス

（ニ）蒴　果　普通卵圓形ニシテ長徑約七分五厘短徑約五分アリ內部ニ二箇ノ區劃アリ



勝山葉

（内容種丹波）

（ハ）金津葉

內容種　松川（水府葉系）

學名　*Nicotiana Tabacum Var. Petiolata*

主産地　福井縣坂井郡

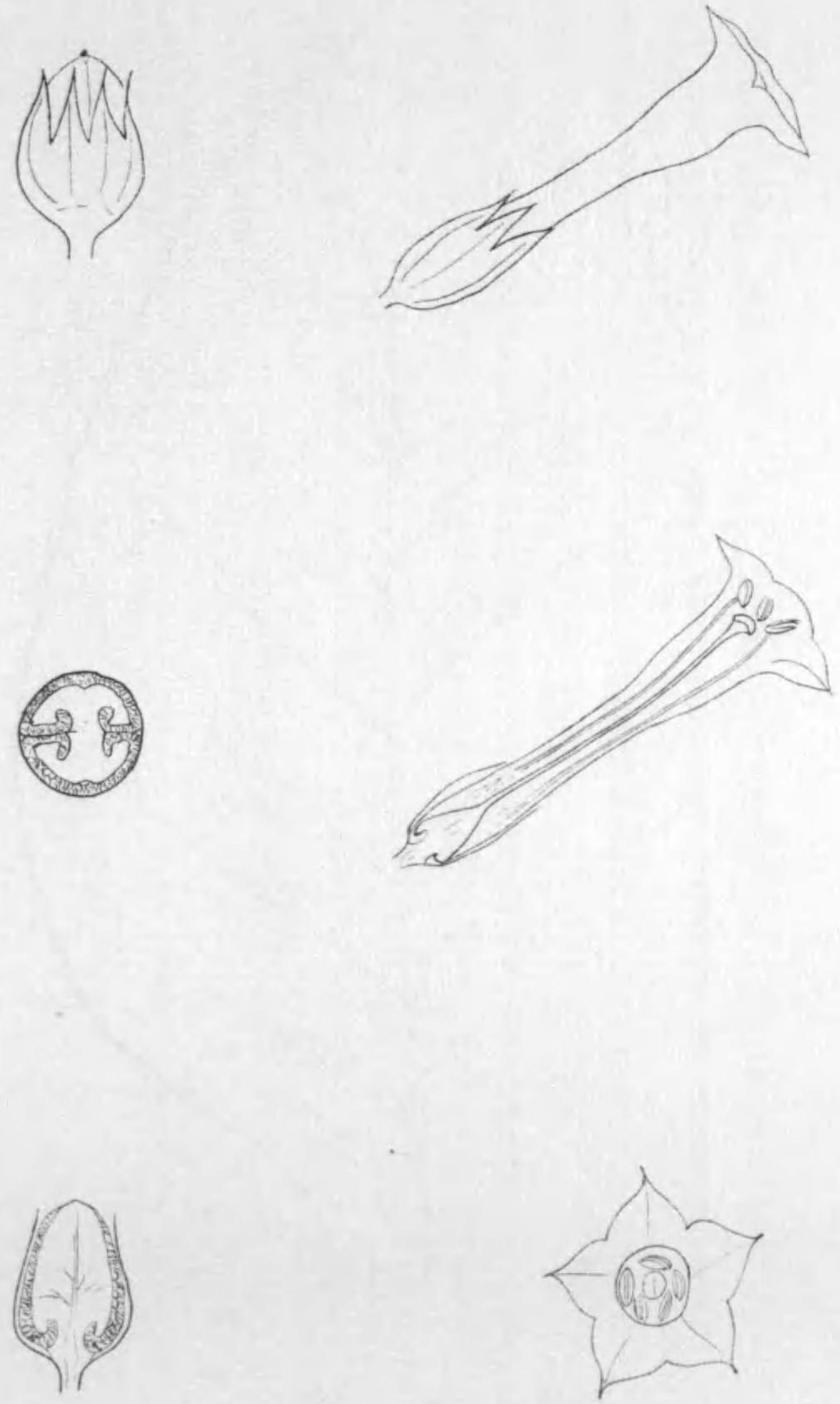
起源　栽培起源極メテ淺ク明治四十四年初メテ松川葉ノ種子ヲ取リ寄セ政府ノ許可ヲ得テ僅少部分ニ試作セシニ其ノ成蹟大ニ見ルヘキモノアリ爾來引續キ試作ヲ繼續シ産地又益發展ノ氣張ヲ呈セルニ至リシカハ大正五年作ヨリ愈之ヲ金津葉ト命名シ一般耕作地ニ編入セラルルニ至レリ

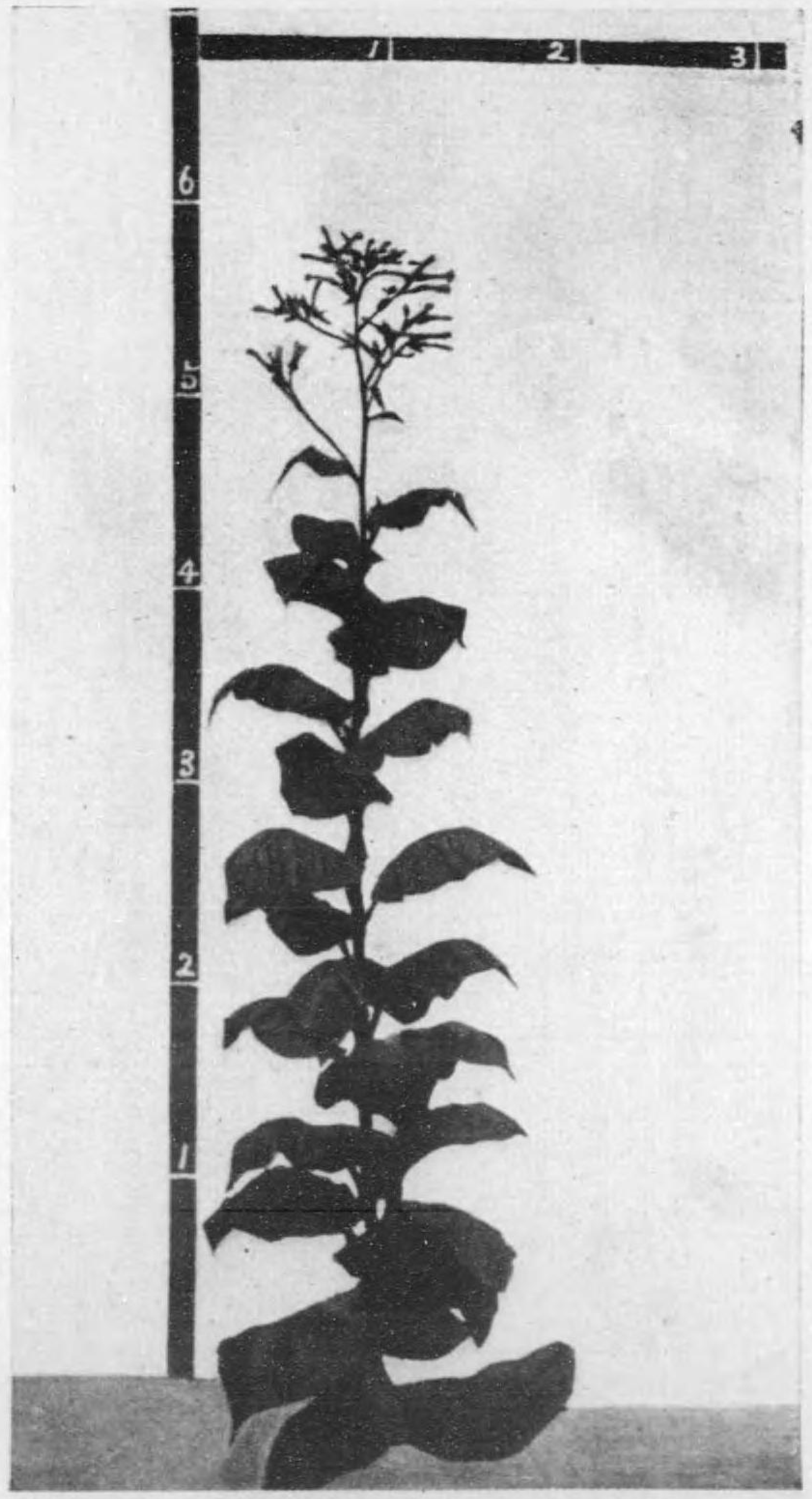
解説

（イ）樹勢　莖幹ハ殆ント垂直ナリト雖本葉ヨリ上部ニ至ルニ從ヒ葉間毎ニ多少屈曲性ヲ帶ヒ草丈凡ソ五尺七寸內外ニ達シ葉ハ互生ニシテ平均葉間約二寸著葉凡ソ二十二枚ヲ算シ殆ント正角ヲ爲シテ莖ニ附著シ葉先著シク垂下ス莖ノ上部ハ分岐シ繖形ヲ爲シ樹梢ニ花實ヲ結フ

（ロ）中位著葉　葉ハ稍長キ葉柄ヲ有シ概シテ長心臟形ヲ爲シ長サ約一尺幅約七寸ニ達シ全緣ヲ爲シ中骨ニ對シ支骨一般ニ鋭正角ヲ爲シ中支骨細ク葉肉概シテ薄シ

（ハ）花部　花托及萼ハ普通鐘形ニシテ五分裂アリ花冠ハ長漏斗狀ヲ呈シ五箇ノ裂片ヲ有シ花瓣ノ先端薄紅色ヲ呈シ其ノ基部ニ至ルニ從ヒ色淡ク內ニ雄蕊五箇雌蕊一箇ヲ含有ス

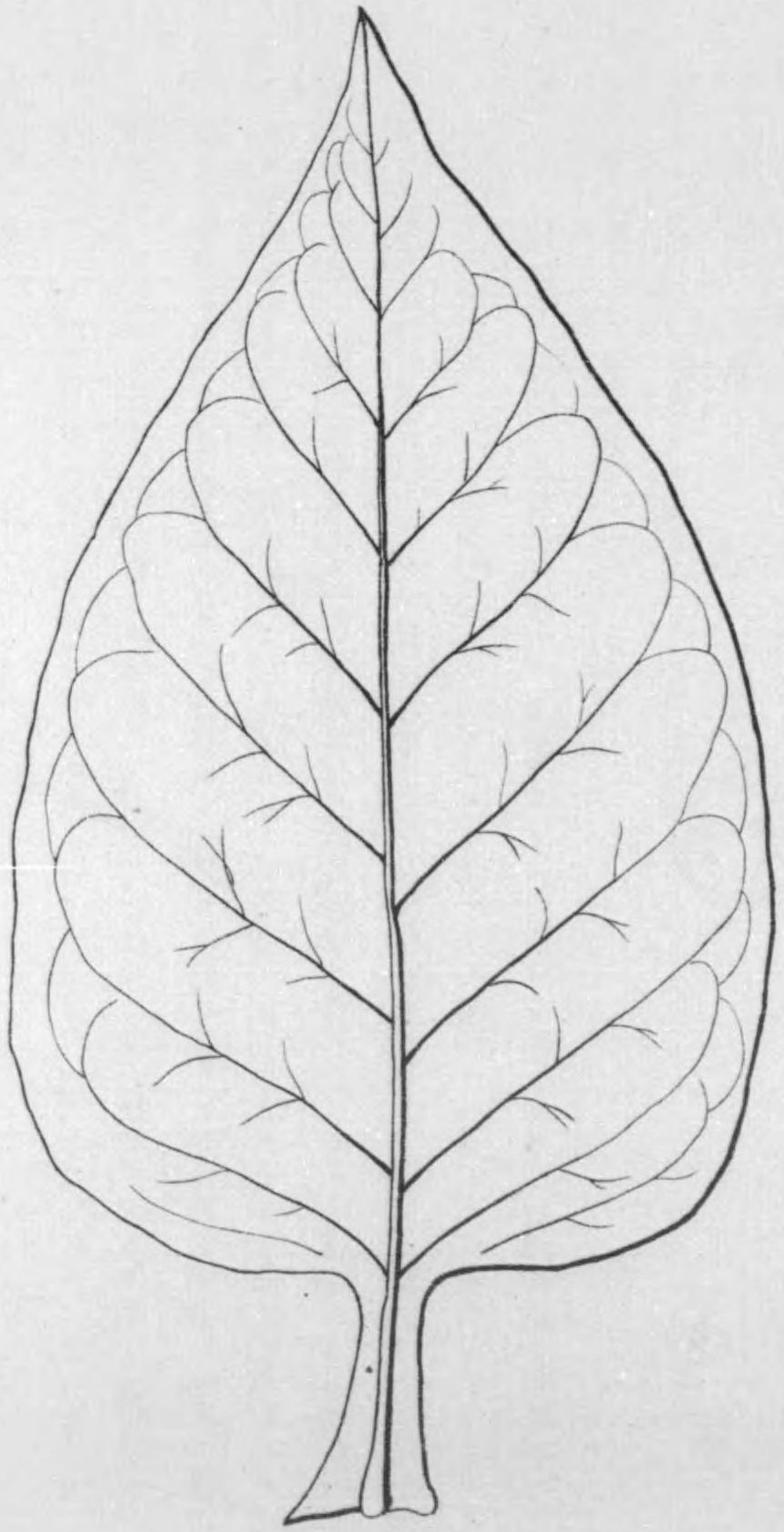




金津葉

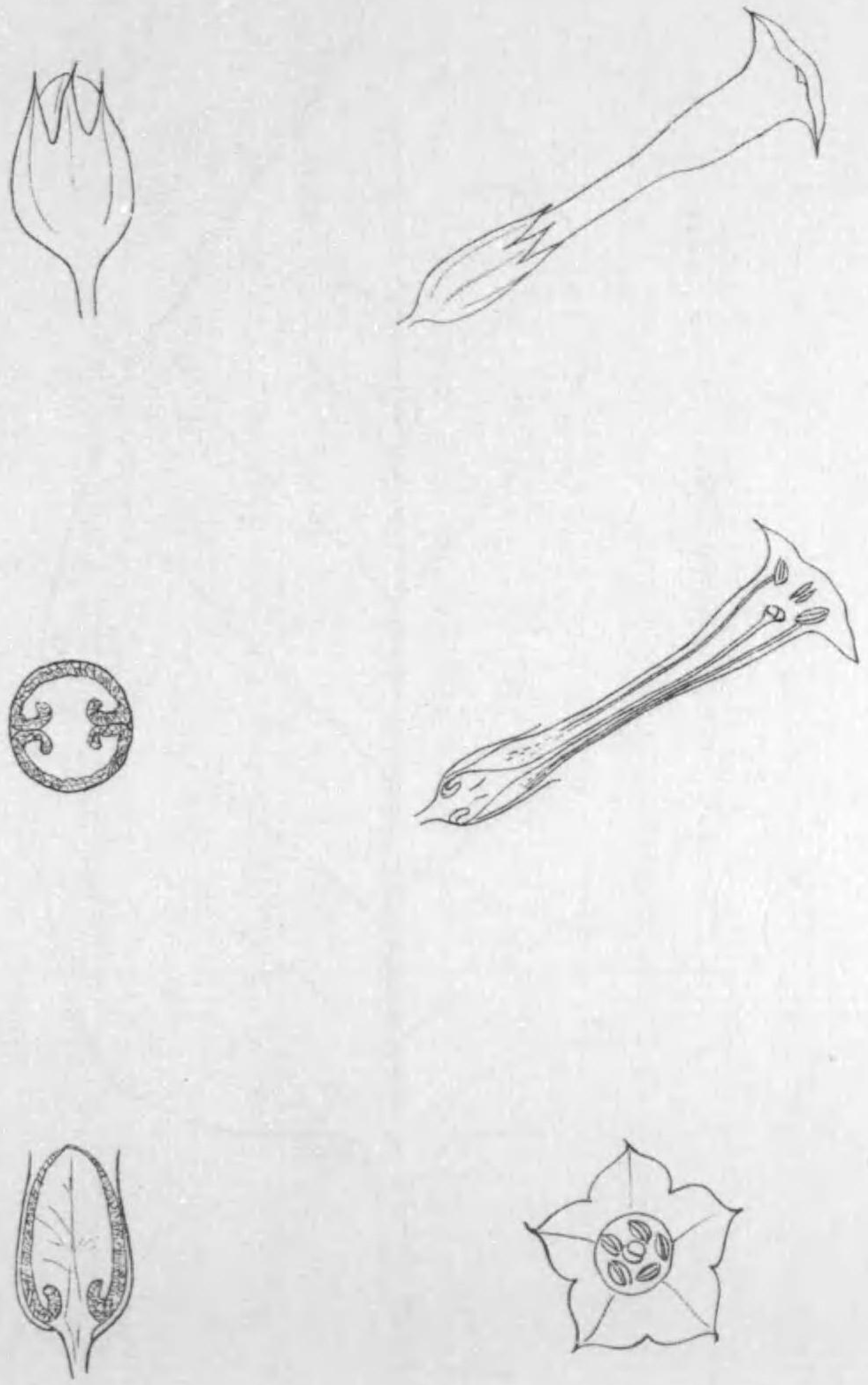
(内容種松川)

（ニ）蒴　果　普通卵圓形ニシテ長徑約七分短徑約三分六厘アリ内部ハ二箇ニ分裂シ夥多ノ種子ヲ包容ス



金津葉

(内容種松川)



(12) 大阪專賣支局管內産

(イ) 新田葉

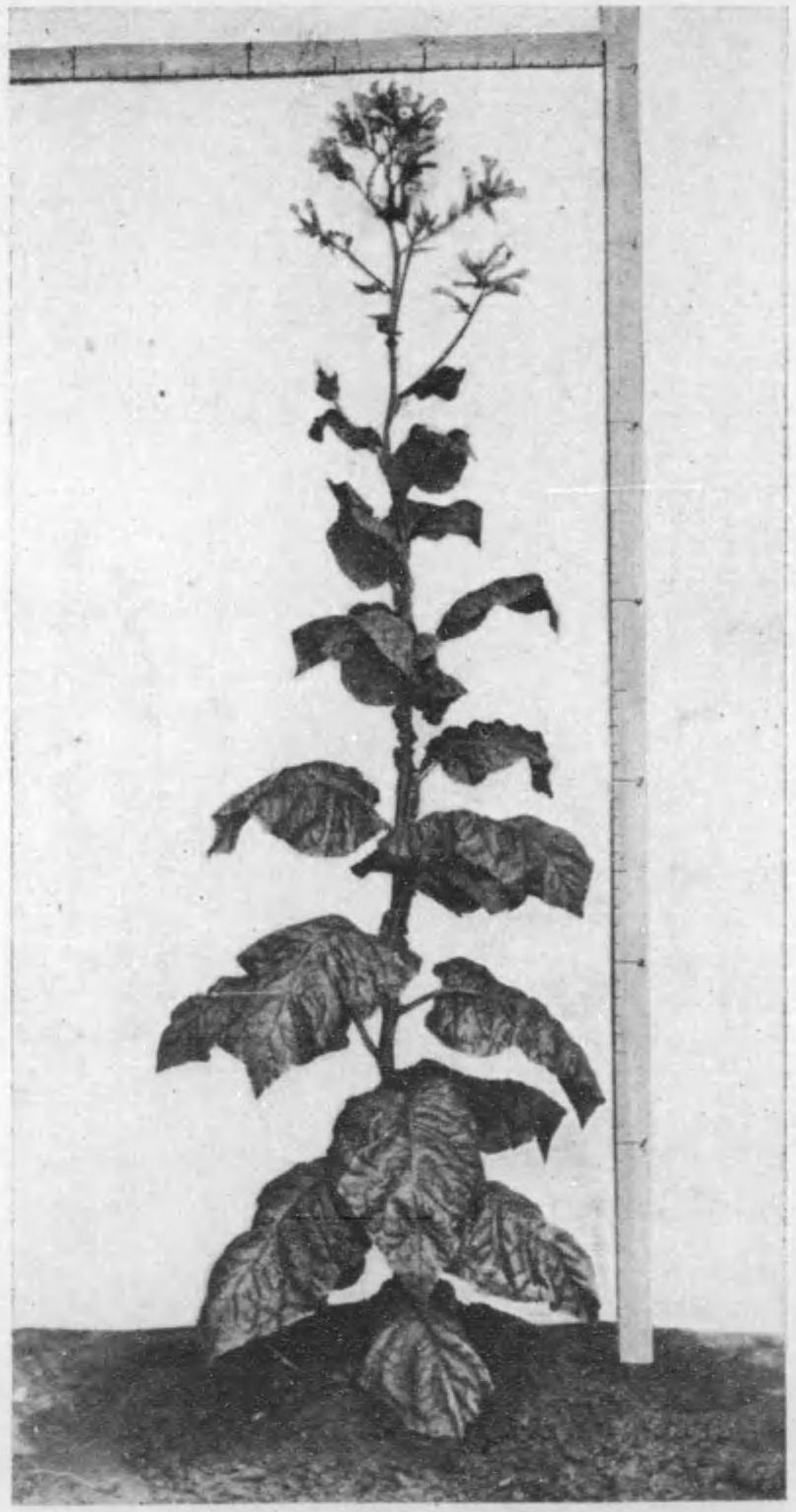
內容種　秦　野（秦野葉系）

學　名　Nicotiana Tabacum Var. Petiolata

主産地　大阪府泉北郡、南河內郡

起　源　確實ナル記錄ノ依ルヘキモノナキモ寛文年間初テ煙草ノ栽培ヲ試ミ爾來年ト共ニ其ノ反別ヲ增加シ遂ニ地方重要物產ノ一トナレリト云フ共ノ葉形ハ一般ニ國分葉形ノ大形ナルモノニシテ傳來地不明ナリ明治二十三年頃ヨリ輸出向トシテ葉肉厚ク褐黃色ノモノ歡迎セラレ價格頓ニ昇騰セルカ故ニ自然心止ヲ深止ト爲シ乾燥法又急劇ト成レリ然ルニ三十一年葉煙草專賣法施行セラルルヤ前記ノ品質ハ一般ニ排斥セラレ却テ葉肉薄ク黃褐色ノモノ賞用セラレシ爲價格ノ上ニ大打擊ヲ蒙リ三百町步內外ノ耕作反別ハ俄然百餘町步ニ減退セリ玆ニ於テカ俄ニ品質改良ノ必要ヲ認メ耕作改良組合ヲ組織シ三十三年ニ至リ秦野種ヲ移植シ且該地ヨリ耕作敎師ヲ聘シテ專ラ秦野地方ノ耕作法ニ則レルノ結果現今ニ於テハ全然秦野種ニ統一セラルルニ至レリ

解　說



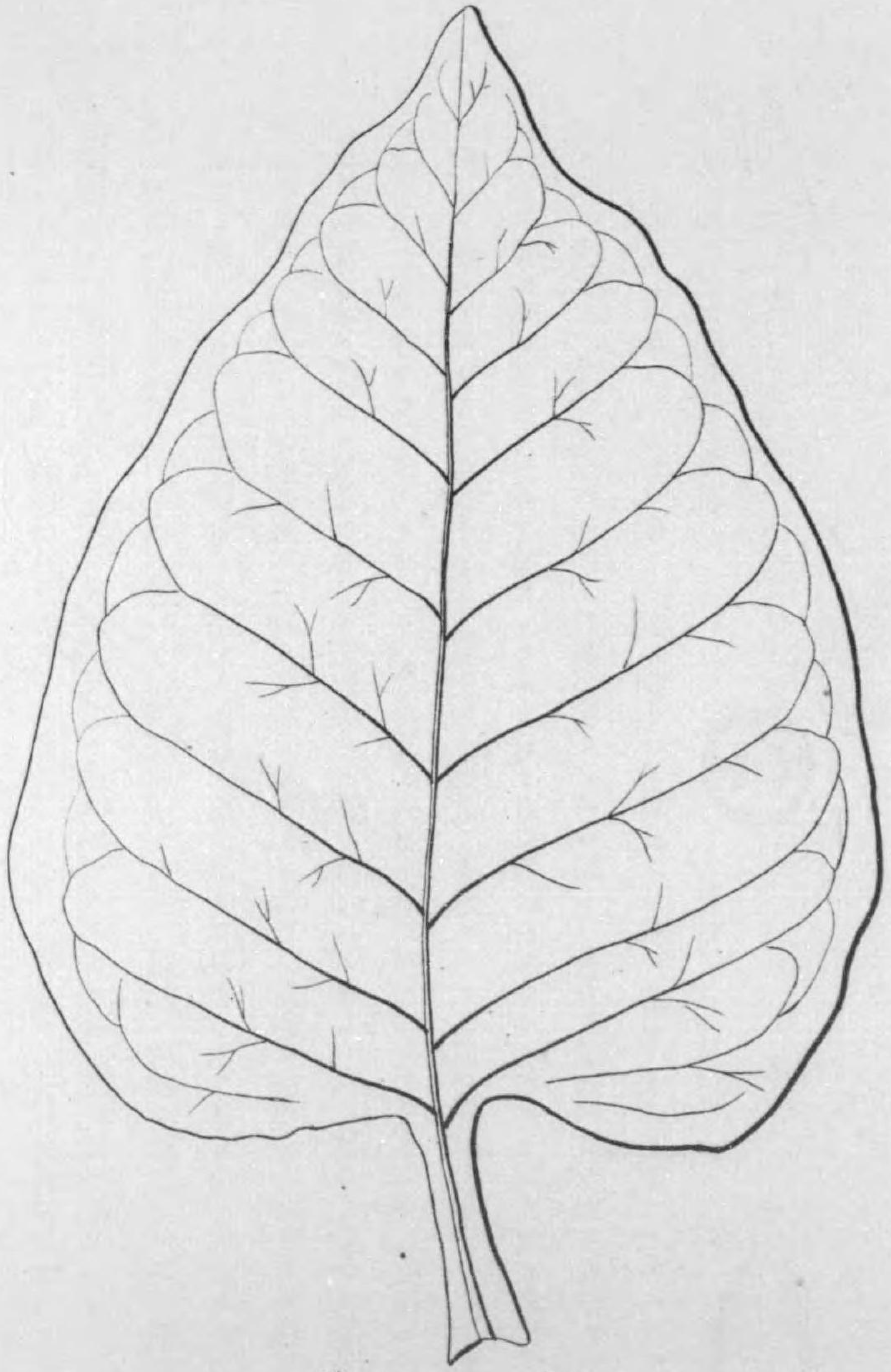
新田葉
（内容種秦野）

（イ）樹勢　莖幹ハ垂直ニシテ草丈凡ソ七尺ニ達シ葉ハ互生ニシテ平均葉間二寸四分位葉數約二十一枚ヲ算シ正角ヲ爲シテ莖ニ附著シ葉先少シク垂下ス莖ノ上部ハ分岐シ繖形ヲ爲シテ花實ヲ附著ス

（ロ）中位著葉　葉ハ稍長キ葉柄ヲ有シ尖心臟形ニシテ長サ約一尺六寸幅約一尺ニ達シ全縁ヲ爲シ中骨ニ對シ支骨一般ニ鋭正角ヲ爲シ葉面ハ凹凸稍多ク葉肉概シテ中庸ナリ

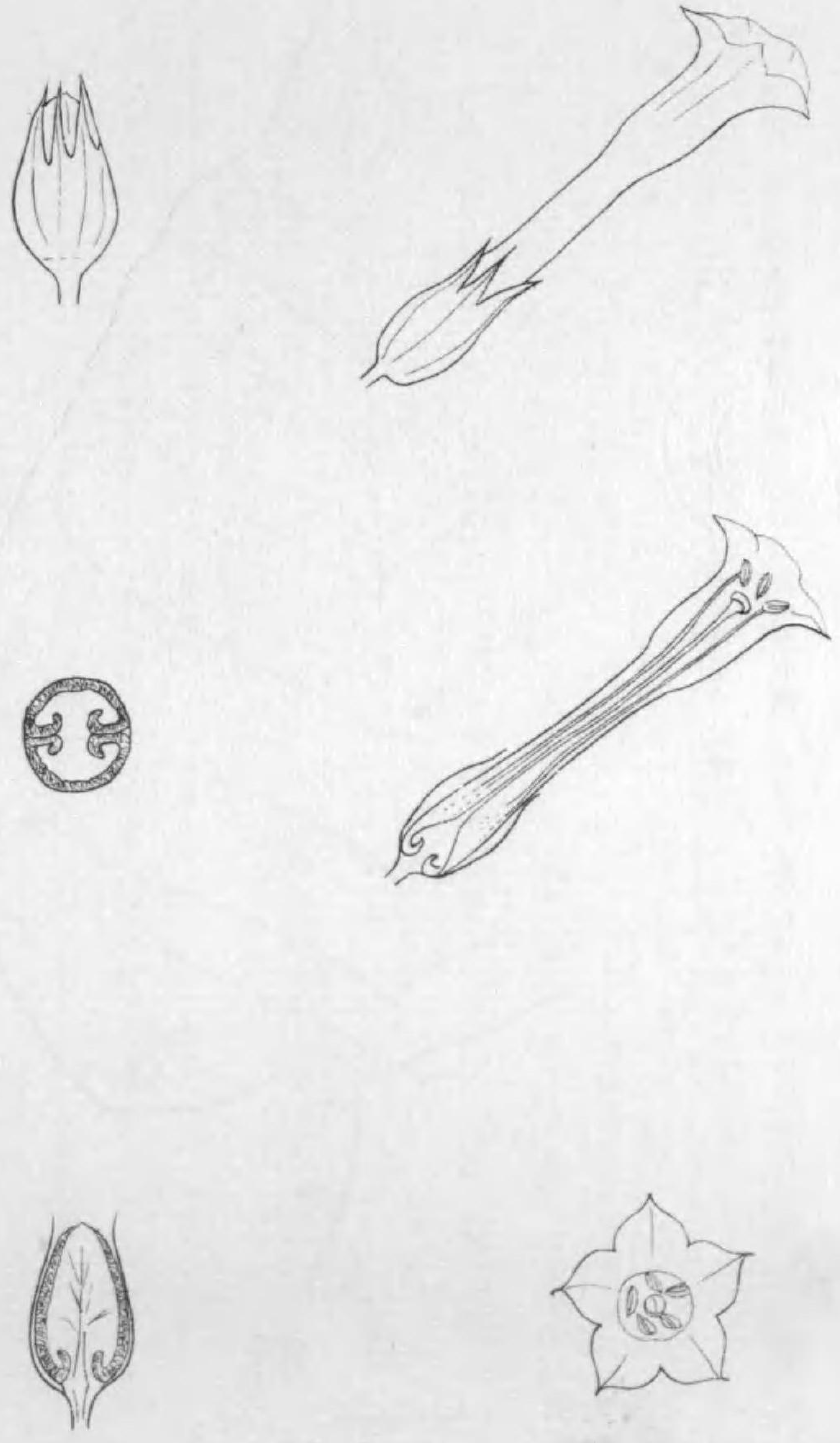
（ハ）花部　萼ハ鐘形ニシテ五分裂花冠ハ長漏斗狀ヲ呈シ短ク花瓣ハ淡紅色ニシテ内ニ雄蕊五箇雌蕊一箇ヲ含有ス

（ニ）蒴果　卵圓形ニシテ長徑九分短徑四分内部ニ二箇ノ區劃アリ



新田葉

（内容種秦野）



（ロ）吉野葉

內容種 撲 葉（達磨葉系）

學名 Nicotiana Tabacum Var. Virginica

主產地 奈良縣吉野郡

起源 其ノ由來頗ル遠ク一說ニ慶長年間和州ノ吉野ニ煙草ヲ植ヘタリトアルモ敢テ之ヲ詳悉スルニ由ナシ今或ル記錄ニ徵シ又口碑ノ傳フル所ニ依レハ寛永三年頃既ニ煙草ヲ栽培セルハ事實ナレトモ當時煙草栽培ノ禁令ヲ布カレタルヲ以テ自家用料ニ供センカ爲極テ密ニ之カ栽培ヲ爲シ僅ニ嗜好ヲ充シタルカ如シ延寳七年頃ニ至リテハ煙草ヲ栽培スルモノ次第ニ增加シ其ノ種子モ劍先種ト稱スルモノニ等シキ形狀ナリシコトハ或舊家ノ記錄ニ依リ信ヲ措クニ足ルヘシ又煙草ニ關スル諸法度中延寳三年八月更ニ天下ニ令シテ本田畑ニ煙草ヲ栽培スヘカラサルノ舊令ヲ復シ七年三月煙草ヲ栽培スレハ米穀ノ產出ヲ妨クルヲ以テ又更ニ本田畑ニ煙草ノ栽培ヲ禁シ新ニ山野ヲ開墾シテ煙草ノ栽培ヲ爲サシメ又煙草ノ賣買ヨリ出ツル訴訟ハ總テ裁許ヲ爲ササルノ旨ヲ令ス（武家嚴判錄）如上ノ法度ニ付テ案スルニ該地方ハ極メテ山間僻地ニシテ其ノ當時ハ米穀ヲ栽培スル本田畑少ク概ネ山野荒廢ノ土地ナルニ依リ漸次開墾シテ煙草ヲ耕作セシナルヘシ爾來該地方ニ於ケル煙草耕作ハ益隆盛ニ赴キ產葉ノ賣買又盛ニ行ハレ來リシニ偶々明治二十八九年頃ニ至リ北葛城郡地方ヨリ虫不喰